

# **建築工事積算基準等資料**

**令和8年1月版**

**静岡県**

---

## 建築工事積算基準等資料

### 目 次

第1編 総則 .....	1
第2編 工事費 .....	2
第3編 共通費 .....	4
第1章 共通事項 .....	4
第2章 共通仮設費 .....	7
第3章 現場管理費 .....	12
第4章 一般管理費等 .....	14
第4編 単価、価格等 .....	15
第1章 共通事項 .....	15
第2章 建築工事 .....	25
第1節 新営工事 .....	25
第1項 仮設 .....	25
第2項 土工 .....	28
第3項 地業 .....	30
第4項 鉄筋 .....	31
第5項 コンクリート .....	33
第6項 型枠 .....	34
第7項 鉄骨 .....	36
第8項 既製コンクリート .....	39
第9項 防水 .....	40
第10項 タイル .....	42
第11項 屋根及びとい .....	43
第12項 金属 .....	44
第13項 左官 .....	46
第14項 建具 .....	47
第15項 塗装 .....	49
第16項 内外装 .....	59

---

第17項 仕上ユニット	65
第18項 排水	66
第19項 構内舗装	67
第20項 植栽	68
第2節 改修工事	69
第1項 仮設（改修）	69
第2項 撤去	71
第3項 防水改修	73
第4項 外壁改修	74
第5項 建具改修	75
第6項 内装改修	76
第7項 塗装改修	77
第8項 耐震改修	78
第9項 環境配慮改修	79
第3章 電気設備工事	80
第1節 新営工事	80
第1項 共通工事	80
第2項 電力設備工事	84
第3項 通信・情報設備工事	86
第2節 改修工事	87
第1項 共通事項（改修）	87
第2項 電力設備工事（改修）	89
第3項 撤去工事	90
第4項 機器搬出	91
第5項 はつり工事	92
第4章 機械設備工事	93
第1節 新営工事	93
第1項 共通工事	93
第2項 空気調和設備工事	98
第3項 自動制御設備工事	100
第4項 給排水衛生設備工事	101

---

第 2 節 改修工事	102
第 1 項 共通工事（改修）	102
第 2 項 空氣調和設備工事（改修）	103
第 3 項 紙排水衛生設備工事（改修）	104
第 4 項 撤去工事	105
第 5 章 昇降機設備工事	106
第 1 節 新營工事	106
第 1 項 共通工事	106
第 2 節 改修工事	107
第 1 項 共通工事	107
第 2 項 撤去工事	108

附表 補正市場単価算出方法

---

## 附則

本資料（平成 26 年 6 月 27 日付け建技第 137 号）は、平成 26 年 7 月 1 日から適用する。  
本資料（平成 26 年 9 月 19 日付け建技第 263 号）は、平成 26 年 10 月 1 日から適用する。  
本資料（平成 27 年 6 月 22 日付け建技第 137 号）は、平成 27 年 7 月 1 日から適用する。  
本資料（平成 27 年 8 月 25 日付け建技第 234 号）は、平成 27 年 10 月 1 日から適用する。  
本資料（平成 28 年 3 月 23 日付け建技第 525 号）は、平成 28 年 4 月 1 日から適用する。  
本資料（平成 28 年 9 月 21 日付け建技第 207 号）は、平成 28 年 10 月 1 日から適用する。  
本資料（平成 29 年 3 月 2 日付け建技第 388 号）は、平成 29 年 4 月 1 日から適用する。  
本資料（平成 29 年 6 月 15 日付け建技第 134 号）は、平成 29 年 7 月 1 日から適用する。  
本資料（平成 30 年 3 月 23 日付け建技第 483 号）は、平成 30 年 4 月 1 日から適用する。  
本資料（平成 30 年 6 月 19 日付け建技第 187 号）は、平成 30 年 7 月 1 日から適用する。  
本資料（平成 31 年 3 月 27 日付け建技第 577 号）は、平成 31 年 4 月 1 日から適用する。  
本資料（令和元年 11 月 29 日付け建技第 385 号）は、令和 2 年 1 月 1 日から適用する。  
本資料（令和 2 年 3 月 19 日付け建技第 567 号）は、令和 2 年 4 月 1 日から適用する。  
本資料（令和 2 年 6 月 16 日付け建技第 120 号）は、令和 2 年 7 月 1 日から適用する。  
本資料（令和 2 年 9 月 28 日付け建技第 268 号）は、令和 2 年 10 月 1 日から適用する。  
本資料（令和 3 年 6 月 14 日付け建経技第 126 号）は、令和 3 年 7 月 1 日から適用する。  
本資料（令和 4 年 12 月 5 日付け建経技第 311 号）は、令和 5 年 1 月 1 日から適用する。  
本資料（令和 5 年 8 月 21 日付け建経技第 168 号）は、令和 5 年 10 月 1 日から適用する。  
本資料（令和 6 年 9 月 25 日付け建経技第 213 号）は、令和 6 年 10 月 1 日から適用する。  
本資料（令和 7 年 12 月 26 日付け建経技第 308 号）は、令和 8 年 1 月 1 日から適用する。

## 第 1 編 総 則

建築工事積算基準等資料（以下「本資料」という。）は、「建築工事積算基準」、「建築工事共通費積算基準」（以下「共通費基準」という。）、「建築工事標準単価積算基準」（以下「単価基準」という。）等を円滑かつ適切に運用するため必要な事項をとりまとめたものである。

## 第 2 編 工 事 費

### 1 新たな追加の工事等の取扱い

(1) 以下の場合の費用には、「当初請負代金額から消費税等相当額を減じた額を当初工事費内訳書記載の工事価格で除した比率」（以下「当初請負比率」という。）を乗じない。

#### イ. 新たな追加の工事

現に施工中の工事と一体で施工することが不可欠な場合において、設計図書で明示していない施工条件について受注者が予期することのできない特別な状態が生じ、以下の（イ）から（ホ）の新たな種類の工事を追加する場合の費用。

（イ）とりこわし（地下埋設物及び埋設配管に限る）

（ロ）地盤改良

（ハ）土壤汚染処理

（ニ）石綿含有吹付材及び保温材等の処理

（ホ）上記（イ）から（ニ）に伴う発生材処理

#### ロ. 公共料金等

以下の（イ）から（ホ）を追加する場合の費用。

（イ）現場発生による、湧水を公共下水道に流す場合の費用

（ロ）仮設建築物の行政手数料

（ハ）浄化槽の行政手数料

（ニ）昇降機の行政手数料

（ホ）水道の負担金（敷地内）

(2) (1) イ. の新たな追加の工事に関して、当該追加の工事に係る設計変更における工事費は、当該変更に係る直接工事費を積算し、これに当該変更に係る共通費を加えて得た額に、当該追加の工事が新たに追加された際の請負代金の変更額から消費税等相当額を減じた額を当該設計変更時の工事費内訳書記載の工事価格で除した比率（以下「当該追加の工事に係る請負比率」という。）を乗じ、さらに消費税等相当額を加えて得た額とする。

(3) (1) ロ. の公共料金等を新たに追加する場合は、これらの費用の共通費は算定せず、工事費に加算する。

### 2 工事の一時中止に伴う増加費用

(1) 工事の一時中止に伴う増加費用は、受注者が作成した中止期間中の工事現場の維持・管理に関する計画（以下「基本計画書」という。）に基づき、当該費用の内容（項目・数量）の必要性を受発注者で協議したうえで算定する。

(2) 工事の一時中止に伴う増加費用の計上は、工事再開以降の設計変更項目とは区別して計上する。

(3) 工事の一時中止に伴う増加費用の算定は以下による。

イ. 工事の一時中止に伴う増加費用は、工事現場の維持に要する費用、工事体制の縮小に要する費用及び工事の再開準備に要する費用（以下「中止期間中の現場維

持等の費用」という。) に工事の一時中止に伴う本支店における増加費用を加算したものとする。

(イ) 工事現場の維持に要する費用

工事現場の維持に要する費用とは、中止期間中において工事現場を維持し又は工事の続行に備えて機械器具、労務者又は技術職員（専門職種を含む。以下同じ）を保持するために必要とされる費用等とする。

(ロ) 工事体制の縮小に要する費用

工事体制の縮小に要する費用とは、中止時点における工事体制から中止した工事現場の維持体制にまで体制を縮小するため、不要となった機械器具、労務者又は技術職員の配置転換に要する費用等とする。

(ハ) 工事の再開準備に要する費用

工事の再開準備に要する費用とは、工事の再開予告後、工事を再開できる体制にするため、工事現場に再投入される機械器具、労務者、技術職員の転入に要する費用等とする。

ロ. 中止期間中の現場維持等の費用は、基本計画書に基づき実施された内容について、受注者から増加費用に係る見積りを求め、それを参考に積み上げ計上する。ただし、中止期間中の現場維持等の費用として積み上げる内容に、仮囲い等の仮設、交通誘導警備員等の当初契約の予定価格の作成時に積み上げで算定したものについては、当初契約時の積算の方法により積み上げ計上する。

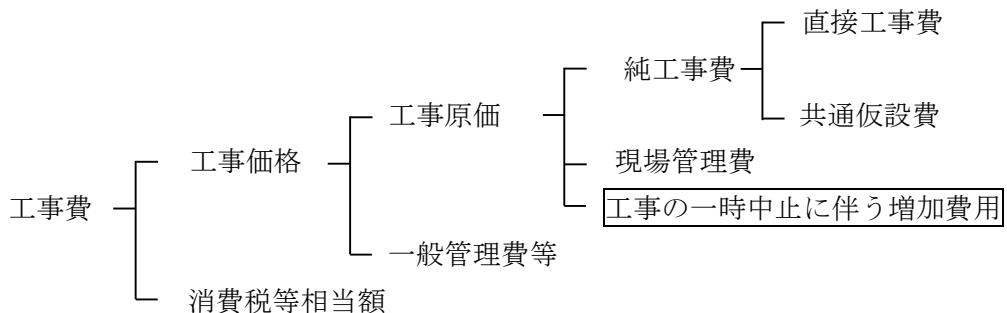
ハ. 工事の一時中止に伴う本支店における増加費用は、設計変更における一般管理費等の算定方法と同様に、中止期間中の現場維持等の費用を当初発注工事内に含めた場合の一般管理費等を求め、当初発注工事の一般管理費等を控除した額とする。なお、一般管理費等率は、工事原価に中止期間中の現場維持等の費用を加算した額に対する一般管理費等率とする。

ニ. 契約保証費にかかる補正を行わない。

(4) 中止期間中の現場維持等の費用は、中止した工事の内訳書の中に「工事の一時中止に伴う増加費用」として原契約の工事費とは別に計上するものとする。ただし、内訳書上では、原契約に係る工事費と増加費用の合計額を工事費とみなすものとする。

(5) 増加費用の計上箇所

工事の一時中止に伴う増加費用は、工事原価内で計上し、一般管理費等の対象とする。このため、当該費用には一般管理費等を含めない。



## 第 3 編 共 通 費

### 第 1 章 共通事項

#### 1 共通費算定に関する数値の取扱い

##### (1) 率による算定

共通費基準の率により算定した金額は、一円未満切捨てとする。

##### (2) 積み上げによる算定

積み上げによる算定は第4編第1章1に準ずる。

##### (3) 一般管理費等

イ. 算出された金額の範囲内で、工事価格が一万円単位となるように一般管理費等で調整する。

ロ. 設計変更及び随意契約をおこなう場合の工事において一般管理費等を算定するにあたり、控除する契約済みの工事の一般管理費等は、調整する前の金額を採用する。

#### 2 新営工事と改修工事を一括して発注する場合の算定

##### (1) 共通仮設費率、現場管理費率及び一般管理費等率は、それぞれ以下のとおりとする。

イ. 共通仮設費率は、新営工事と改修工事の直接工事費の合計額に対応する新営工事と改修工事それぞれの共通仮設費率とする。なお、積み上げによる共通仮設費は、新営工事と改修工事のうち主な工事の共通仮設費に計上する。

ロ. 現場管理費率は、新営工事と改修工事の純工事費の合計額に対応する新営工事と改修工事それぞれの現場管理費率とする。なお、積み上げによる現場管理費は、新営工事と改修工事のうち主な工事の現場管理費に計上する。

ハ. 一般管理費等は、新営工事と改修工事の工事原価の合計額に対する一般管理費等率により算定する。

##### (2) 共通仮設費及び現場管理費は、新営工事と改修工事に区分して算定する。

#### 3 建築工事、電気設備工事、機械設備工事及び昇降機設備工事のいずれかの主たる工事と主たる工事以外の工事を一括して発注する場合の算定

##### (1) 建築工事、電気設備工事、機械設備工事及び昇降機設備工事のいずれかの主たる工事と主たる工事以外の工事の場合

イ. 共通仮設費率、現場管理費率及び一般管理費等率は、それぞれ以下のとおりとする。なお、主たる工事とは発注時の工事種別をいう。

(イ) 共通仮設費は、それぞれの工事種別ごとの共通仮設費に関する定めにより算定し、それらの合計による。なお、積み上げによる共通仮設費は、それぞれの工事種別ごとに区分して計上する。

(ロ) 現場管理費は、それぞれの工事種別ごとの現場管理費に関する定めにより算定し、それらの合計による。なお、積み上げによる現場管理費は、それぞれの

工事種別ごとに区分して計上する。

(ハ) 一般管理費等は、それぞれの工事種別の工事原価の合計額に対する主たる工事の一般管理費等率により算定する。

ロ. 主たる工事以外のいずれかの工事が、工事内容及び工事費から適切と判断出来る場合は、当該工事を主たる工事に含め、主たる工事の定めにより共通仮設費及び現場管理費を算定することができる。

ハ. 共通費の算定方法は、設計図書の変更があった場合においても、原則として変更しない。

#### 4 敷地が異なる複数の工事を一括して発注する場合の算定

(1) 共通仮設費率、現場管理費率及び一般管理費等率は、それぞれ以下のとおりとする。

イ. 共通仮設費率は、それぞれの敷地の工事ごとの直接工事費及び工期に対応する共通仮設費率とする。なお、積み上げによる共通仮設費は、それぞれの敷地の工事ごとに計上する。

ロ. 現場管理費率は、それぞれの敷地の工事ごとの純工事費及び工期に対応する現場管理費率とする。なお、積み上げによる現場管理費は、それぞれの敷地の工事ごとに計上する。

ハ. 一般管理費等は、それぞれの敷地の工事ごとの工事原価の合計額に対する一般管理費等率により算定する。

(2) 共通仮設費及び現場管理費は、それぞれの敷地の工事ごとに算定する。

#### 5 営繕工事のいずれかと営繕工事以外の工事を一括して発注する場合の算定

共通費は、営繕工事と営繕工事以外の工事に分け、それぞれの工事ごとの共通費に関する定めにより算定する。

#### 6 とりこわし工事の取扱い

とりこわし工事とは、建築物解体工事共通仕様書 3.3.1 に基づき、建築物を解体する工事をいう。

建築物の解体に合わせ、建築物解体工事共通仕様書 3.3.1 に基づき、工作物等を解体する場合は、工作物等もとりこわし工事として取扱う。

#### 7 とりこわし工事等を単独で発注する場合の算定

以下の工事を単独で発注する場合の共通費は、製造業者・専門工事業者からの見積りを参考に計上する。

- ・とりこわし工事
- ・特殊な室内装備品（家具、書架及び実験台の類）工事
- ・造園工事
- ・舗装工事
- ・さく井設備工事、等

## 8 指定部分及び指定部分工期

原則として、指定部分の工期は、共通仮設費及び現場管理費における算定に用いる工期（T）に用いない。

なお、指定部分とは工事の完成に先立ち引渡しを受けるべきことを設計図書により指定した工事範囲をいい、その工事範囲の完了期限を指定部分工期という。

## 9 設計変更における共通費の算定

(1) 共通仮設費率、現場管理費率及び一般管理費等率は、それぞれ以下のとおりとする。

イ. 共通仮設費率は、当初請負比率を乗じる工事、当該追加の工事に係る請負比率を乗じる工事、そのどちらにも当てはまらない工事の直接工事費の合計額及び工期に対応する率とする。

ロ. 現場管理費率は、当初請負比率を乗じる工事、当該追加の工事に係る請負比率を乗じる工事、そのどちらにも当てはまらない工事の純工事費の合計額及び工期に対応する率とする。

ハ. 一般管理費等率は、当初請負比率を乗じる工事、当該追加の工事に係る請負比率を乗じる工事、そのどちらにも当てはまらない工事の工事原価の合計額に対応する率とする。

(2) 共通仮設費、現場管理費及び一般管理費等は、当初請負比率を乗じる工事、当該追加の工事に係る請負比率を乗じる工事、そのどちらにも当てはまらない工事に区分して算定する。

## 第2章 共通仮設費

### 1 共通仮設費の区分

共通仮設費は、建築工事、電気設備工事、機械設備工事及び昇降機設備工事のそれぞれと処分費に区分して算定する。

### 2 共通仮設費の算定方法

(1) 共通仮設費の算定は共通仮設費率により算定する。ただし、共通仮設費率に含まれないものは積み上げにより算定する。

#### イ. 共通仮設費率による算定

##### (イ) 共通仮設費率の算定に用いるT（工期）

①共通仮設費率の算定に用いるT（工期）は、入札公告等に示された開札予定期日から工期末までの日数を元に、開札から契約までを考慮し7日を減じた日数を30日／月にて除す。その値は小数点以下第2位を四捨五入して1位止めとする。なお、設計図書等に工期の始期が明示されている場合は、その始期から工期末までの日数を30日／月にて除し、この値をT（工期）として共通仮設費率を算出する。

②工事一時中止（一部一時中止の場合も含む）があった場合、共通仮設費率の算定に用いるT（工期）には、工事一時中止（一部一時中止の場合も含む）を理由とした工期延伸する期間を含まない。

##### (ロ) 監理事務所を設けない場合の補正

①建築工事において、共通費基準2（3）表-5に挙げる監理事務所（監督職員事務所）を設けない場合は、共通仮設費率（K<sub>r</sub>）に以下の補正值を乗じる。

直接工事費	1000万円未満	1000万円以上50億円以下	50億円を超える
補正值	0.887	0.738+0.0162×Log <sub>e</sub> P	0.988
Pは、建築工事共通費積算基準 別表におけるP：直接工事費（千円）			
注1) 補正式による値は小数点以下第4位を四捨五入して3位止めとする。			
注2) 設計変更においては、変更後のPに対応した値を変更後のK <sub>r</sub> に乗じる。			

##### (ハ) とりこわし工事を含めて発注する場合

とりこわし工事は新営建築工事に含めて算定する。

##### (ニ) リース料の取扱い

仮設庁舎等をリースで発注する場合は、処分費を除く直接工事費の合計額に対応する共通仮設費率により直接工事費からリース料及び処分費を除いた額の共通仮設費を算定する。

##### (ホ) 直接工事費が共通費基準 別表（注3）で定める範囲を外れる場合

原則として算定式により算定された率を採用する。

##### (ヘ) 共通仮設費率の留意事項

①道路占用料については、必要に応じて、費用を計上する。なお、道路法第39条において、「道路管理者は、道路の占用につき占用料を徴収することができる。ただし、道路の占用が国の行う事業及び地方公共団体の行う事業で地方財政法（昭和二十三年法律第百九号）第六条に規定する公営企業以外のものに係る場合においては、この限りでない。」とされており、公共発注の営繕工事においては道路占用料の徴収を行わないとされている。道路使用許可申請手数料については、必要に応じて、費用を計上する。なお、所轄警察署により道路使用許可申請手数料が免除される場合がある。

②環境安全費に含まれる台風等災害に備えた災害防止対策に要する費用のうち、一般的なものの費用については、以下の費用が含まれている。

- ・屋外に存置された資材等の移動、養生に要する費用
- ・外部足場の点検、補強、シート類の巻き上げ等に要する費用

③共通仮設費率に含まれる動力用水光熱費

- ・新営工事は引込費用及び使用料が該当する。（工事用）
- ・改修工事は既存施設からの引き込みが可能であるため、主にメータ設置費と使用料が該当する。（工事用）

ロ. 積み上げによる算定

以下の項目については、共通仮設費率に含まれないため、設計図書等に基づき積み上げにより算定する。

(イ) 準備費

敷地測量、仮設用借地料、既存施設内の家具、什器、機器等の移動・復旧、道路占用料等に関する費用

(ロ) 仮設建物費

- ①宿舎、設計図書による現場環境改善費用
- ②電気設備工事、機械設備工事及び昇降機設備工事における、監理事務所（監督職員事務所）、備品等の費用
- ③建築工事における、監理事務所（監督職員事務所）の備品等の費用のうち、設計図書に当該工事固有の事情により指定された内容

(ハ) 工事施設費

仮囲い、工事用道路、歩道構台、設計図書による現場環境改善費用

(ニ) 環境安全費

交通誘導・安全管理等の要員に要する費用（工事現場（施設）の警備に要する警備要員、機械警備及び交通誘導警備員に要する費用）、台風等災害に備えた災害防止対策に要する費用のうち、大規模な台風等の風災害対策として、足場の防護シートの全面掛け払い、防音パネルの全面掛け払い等、受発注者間の協議に基づき設計図書に記載される災害防止対策に要する費用

(ホ) 動力用水光熱費

本受電後の電力基本料金

(ヘ) 屋外整理清掃費

除雪に要する費用

(ト) 機械器具費

## ①新着工事における荷揚用揚重機械器具の費用

規格の選定及び存置日数は、表2-1～表2-5を参考とし、施工条件等により機種を選定する。

(共通事項) 1. 揚重機等の設置・移動の作業が支障なく行える敷地を条件としたものである。

2. R C 造の標準的な階高、スパン及び仕上げの建物として設定したものである。

3.  $A = \text{建築面積} / 750 \text{ m}^2$  (計算過程においてAの値を端数処理する場合は、小数点以下第三位を四捨五入し小数点以下第二位とする。)

4.  $N = \text{階数}$

5. 存置日数の端数処理は、小数点以下第一位を切上げ整数とする。

6. 各階の面積が著しく異なる場合は、実状に応じて適切に補正する。

7. 階数が2階以下かつ建築面積が $250 \text{ m}^2$ 未満の場合は、規格を16t以下とし、存置日数は実状に応じて適切に補正する。

8. 障害物等で揚重作業に支障がある場合は、実状に応じて適切に設定する。

9. 表2-1～2-5の存置日数には回送等に要する日数を含む。

表2-1 地上階の躯体用揚重機械存置日数 (鉄筋コンクリート造)

階数	規格	存置日数	備考
1	25t	$13.6 \times A + 5.2$	
2	25t	$18.0 \times A + 10.0$	
3	25t	$22.4 \times A + 14.8$	
4	25t	$26.8 \times A + 19.6$	
5	25t	$31.2 \times A + 24.4$	

表2-2 地下階の躯体用揚重機械存置日数 (鉄筋コンクリート造)

階数	規格	存置日数	備考
B 1	25t	$9.5 \times A$	

表2-3 塔屋階の躯体用揚重機械存置日数 (鉄筋コンクリート造)

階数	規格	存置日数			備考
		100 m <sup>2</sup> 未満	300 m <sup>2</sup> 未満	500 m <sup>2</sup> 未満	
P 1	25t	4	5	6	

表2-4 地上階の仕上用揚重機械存置日数 (鉄筋コンクリート造)

階数 (N)	規格	存置日数	備考
1	16t	$2.3 \times A$	
2	16t	$5.4 \times A$	
3	16t	$8.5 \times A$	
4	ロングスパン工事用 エレベーター1t未満	$18.5 \times N + 40.5$	建築面積 $1,000 \text{ m}^2$ ごとに1台
5	ロングスパン工事用 エレベーター1t未満	$18.5 \times N + 40.5$	建築面積 $1,000 \text{ m}^2$ ごとに1台

表 2-5 地下階の仕上用揚重機械存置日数（鉄筋コンクリート造）

階数	規 格	存 置 日 数	備 考
B 1	16 t	6.4×A	

## ②改修工事における荷揚用揚重機械器具の費用

機種の選定及び存置日数は、施工内容、施工条件等により選定する。

## (チ) 情報システム費

情報共有、遠隔臨場、BIM、その他情報通信技術等のシステム・アプリケーションに要する費用

## (リ) 試験費等

①建築工事において、公共建築工事標準仕様書、公共建築改修工事標準仕様書等に基づく試験費、レディーミクストコンクリートの単位水量試験費、特記仕様書にて定める試験のうち軽微な試験費を除き、積み上げにより算定する。

## (積み上げによる試験費の例)

- ・石綿粉じん濃度測定
- ・分析による石綿含有建材の調査
- ・化学物質の濃度測定
- ・六価クロム溶出試験
- ・PCB 含有シーリング材の調査
- ・路床土の支持力比（C B R）試験
- ・現場C B R試験
- ・放射線透過試験
- ・上記に類する各種試験費等

②電気設備工事、機械設備工事及び昇降機設備工事において、公共建築工事標準仕様書、公共建築改修工事標準仕様書等に定める機材の試験費及び施工の試験費を除き、積み上げにより算定する。

## (積み上げによる試験費の例)

- ・石綿粉じん濃度測定
- ・分析による石綿含有建材の調査
- ・PCB 含有調査
- ・放射線透過試験
- ・テレビ電波障害調査（事前・中間・事後）
- ・迷走電流測定調査
- ・上記に類する各種試験費等

(ヌ) 石綿含有建材の調査費（事前調査結果を貸与しない場合又は石綿等の使用の有無を設計図書へ明示しない場合は計上する）

## (2) 処分費の取扱い

建設発生土処分費及び発生材処分費を含めて発注する場合は、これらの費用の共通仮設費は算定しない。

## (3) 交通誘導警備員に要する費用の取扱い

警備会社が負担すべき法定福利費相当額及び会社経費を含めた費用については、以下のとおり算定する。

ア. 共通仮設費の積上げ項目において、設計書に明示する労務種別（交通誘導警備員Aまたは交通誘導警備員B）ごとに、「交通誘導に要する費用」（諸経費を含む交通誘導警備員1人あたり単価）に必要人数を乗じて計上する。

イ. 上記アの諸経費を含む単価は以下による。

（ア）交通誘導警備員の種別に応じた労務単価に、諸経費（当該労務単価に第4編1章4の仮設工事の率を乗じた金額）を加えて算定する。

（イ）摘要欄に「諸経費（警備会社が負担する法定福利費を含む）を含む」と記載する。

（4）工事着手日選択型工事における工期（日数）の取扱い

共通仮設費率の算定に用いるT（工期）は、入札公告等に示された工期（日数）を30日／月にて除す。その値は小数点以下第2位を四捨五入して1位止めとする。

## 第3章 現場管理費

### 1 現場管理費の区分

現場管理費は、共通仮設費で区分した項目ごとに算定する。

### 2 現場管理費の算定方法

(1) 現場管理費の算定は現場管理費率により算定する。ただし、現場管理費率に含まれないものは積み上げにより算定する。

#### イ. 現場管理費率による算定

##### (イ) 現場管理費率の算定に用いるT（工期）

①現場管理費率の算定に用いるT（工期）は、入札公告等に示された開札予定期から工期末までの日数を元に、開札から契約までを考慮し7日を減じた日数を30日／月にて除す。その値は小数点以下第2位を四捨五入して1位止めとする。なお、設計図書等に工期の始期が明示されている場合は、その始期から工期末までの日数を30日／月にて除し、この値をT（工期）として現場管理費率を算出する。

②工事一時中止（一部一時中止の場合も含む）があった場合、現場管理費率の算定に用いるT（工期）には、工事一時中止（一部一時中止の場合も含む）を理由とした工期延伸する期間を含まない。

##### (ロ) とりこわし工事を含めて発注する場合

とりこわし工事は新営建築工事に含めて算定する。

##### (ハ) リース料の取扱い

仮設庁舎等をリースで発注する場合は、処分費を除く純工事費の合計額に対応する現場管理費率により純工事費からリース料及び処分費を除いた額の現場管理費を算定する。

##### (二) 純工事費が共通費基準 別表（注3）で定める範囲を外れる場合

原則として算定式により算定された率を採用する。

##### (ホ) 現場管理費率の留意事項

###### ①現場管理費率内のその他の項目に含まれる費用

- ・本支店等から支援を受けた場合の原価性費用として、本支店等から支援を受けた以下の費用が含まれている。
  - ・検査、試験の支援に要する費用
  - ・施工図作成の支援に要する費用
  - ・その他、外注又は現場従業員が従事する代わりに、本支店等従業員が従事した場合に要する費用
  - ・各種調査に要する費用として、以下の費用が含まれている。
  - ・本支店等従業員が調査に伴う作業に要した費用
  - ・現場従業員が工事完了後に調査に伴う作業に要した費用

##### ロ. 積み上げによる算定

以下の項目については、現場管理費率に含まれないため、設計図書等に基づき積み上げにより算定する。

(イ) 要員等の費用

条件明示された要員等の費用（共通仮設費の費用以外、現場雇用労働者の給料等）

(2) 処分費の取扱い

建設発生土処分費及び発生材処分費を含めて発注する場合は、これらの費用の現場管理費は算定しない。

(3) 支給材を使用する場合

支給材（入居官署又は発注者側で購入・製作された資機材）を使用して工事を施工する場合は、支給材を購入すると仮定した評価額の2%を現場管理費に加算する。ただし、再利用資機材については現場管理費を加算しない。

(4) 工事着手日選択型工事における工期（日数）の取扱い

現場管理費率の算定に用いるT（工期）は、入札公告等に示された工期（日数）を30日／月にて除す。その値は小数点以下第2位を四捨五入して1位止めとする。

## 第4章 一般管理費等

### 1 一般管理費等の算定方法

(1) 一般管理費等の算定は一般管理費等率により算定する。ただし一般管理費等率に含まれないものは積み上げにより算定する。

#### イ. 一般管理費等率による算定

##### (イ) 前払金支出割合による補正

前払金支出割合が35%以下の場合の一般管理費等率は、表3-1の前払金支出割合区分ごとに定める補正係数を一般管理費等率に乗じて得た率とする。

なお、前払金の保証がない工事は、一般管理費等の補正の対象外とする。

表3-1 一般管理費等率補正係数

前払金支出割合区分 (%)	補正係数
0から5以下	1.05
5を超える15以下	1.04
15を超える25以下	1.03
25を超える35以下	1.01

#### (ロ) 契約保証費について

共通費基準 4 (1) による契約保証費については、工事原価に表3-2による契約保証費率を乗じ算出した金額を一般管理費等に加算する。

表3-2 契約保証費率

内 容	(%)
保証の方法1：発注者が金銭的保証を必要とする場合 (工事請負契約書第4条を採用する場合)	0.04
保証の方法2：上記以外の場合	補正しない
注) 契約保証のうち、保証の方法2の具体例は以下のとおり。	
① 静岡県建設工事執行規則第12条第1項ただし書きの規定により、請負代金額が300万円未満の工事	

#### ロ. 積み上げによる算定

住宅瑕疵担保履行法による資力確保措置のための費用については、「特定住宅瑕疵担保責任の履行の確保等に関する法律」(平成19年法律第66号)に該当する住宅の新築工事の場合は、資力確保措置のための費用を見積等により算出し、一般管理費等に加算する。ただし、設計変更においては対象としない。

## 第 4 編 単価、価格等

### 第 1 章 共通事項

#### 1 単価及び価格に関する数値の取扱い

予定価格のもととなる工事費を算出する過程における数値の取扱いは以下の通りとする。また、端数処理を行う場合は、原則として四捨五入とする。

##### (1) 物価資料に基づく材料単価、市場単価、単位施工単価等

- イ. 「建設資材等の価格決定に関する取扱い」により平均値を採用する場合の端数処理は、百円未満の場合は有効上位 2 衡・一円単位、十円未満の場合は有効上位 1 衡・一円単位、一円未満の場合は小数点以下第 2 位とする。なお、端数処理は切り捨てとする。
- ロ. イの処理をする前の物価資料掲載価格、物価資料掲載価格の合算単価及び物価資料掲載価格の単位換算単価の端数処理は行わない。ただし、単位換算を行った結果、小数点以下第 3 位以降がある場合は小数点以下第 2 位とする。

##### (2) 標準歩掛り等（市場単価及び単位施工単価の補正含む）に基づく単価

- イ. 標準歩掛り等で算定した単価を標準歩掛り等に用いる場合は、小数点以下第 2 位まで算定した単価を代入する。
- ロ. 単価算定時における金額（数量×単価）は、小数点以下第 2 位までとする。
- ハ. 単価算定に用いる数量に小数点以下第 6 位以降がある場合は、小数点以下第 5 位とする。
- 二. 5 市場単価（2）における補正、6 単位施工単価（1）における調整、（3）における補正、9 改修工事の取扱い（2）におけるシフト単価の割増しに使用する率は、小数点以下第 4 位を四捨五入して小数点以下第 3 位とする。

##### (3) 製造業者又は専門工事業者の見積価格等

採用する価格の端数処理については有効上位 3 衡とする。ただし、千円未満の場合は十円単位とし、百円未満の場合は一円単位とし、一円未満の場合は小数点以下第 2 位とする。

##### (4) 細目別内訳書及び別紙明細書における単価及び金額

- イ. 細目別内訳書及び別紙明細書に計上する単価の端数処理については有効上位 3 衡とする。ただし、千円未満の場合は十円単位とし、百円未満の場合は一円単位とする。
- ロ. 細目別内訳書に計上する金額は、円単位とし一円未満切捨てとする。
- ハ. 別紙明細にて算定した金額は、細目別内訳書に円単位として一式計上する。

#### 2 材料価格等

単価基準 第 1 編 2 (1) に定める材料価格等とは、杭、鉄筋、コンクリート、鉄骨等の価格変動が大きい資材並びに建物ごとに個別性が高い機器等の単価及び価格をいう。

### 3 歩掛り

単価の算定に用いる歩掛りは、単価基準第1編3で規定される標準歩掛りの他に「營繕積算システム等開発利用協議会歩掛り（以下「協議会歩掛り」という。）」による。

また、標準歩掛りの補足資料として、「公共建築工事積算研究会参考歩掛り（以下「参考歩掛り」という。）」並びに市場単価及び単位施工単価に類似の単価の作成や見積り単価の検討資料として、「營繕積算システム等開発利用協議会参考資料（以下「協議会参考」という。）」を参考とする。

### 4 「その他」の率

歩掛りの「その他」の率は中間値+1%を標準※とし、地域の特殊性等を考慮のうえ適切に定める。

※墜落制止用器具の費用を含めた環境安全費の計上分として1%を加算。対象は単価基準の表3-1-1～3に示された工種とする。

なお、交通誘導警備員等の率の設定がされていない工種等については、本来事業者が負担すべき法定福利費相当額、環境安全費及び会社経費を適切に反映した率を設定する。

### 5 市場単価

(1) 単価基準 第1編2(3)の規格・仕様が単価基準各編記載の細目工種の摘要と一部異なるため、単価（以下「補正市場単価」という。）を設定する細目工種については、各章による。

(2) 補正市場単価を算出するための補正方法については附表1による。

### 6 単位施工単価

(1) 工事場所が物価資料の掲載都市ではない場合は次式により、その単価を調整して算定する。

$$\text{工事場所のシフト単価} = \frac{\text{工事場所の材料単価、労務単価を用いて算定したベース単価} \times \frac{\text{都市のシフト単価}}{\text{都市のベース単価}}}{\text{物価資料掲載の同一規格・仕様、工事場所を包括する地区を代表する都市のシフト単価}} \times \frac{\text{物価資料掲載の同一規格・仕様、工事場所を包括する地区を代表する都市のベース単価}}{\text{物価資料掲載の同一規格・仕様、工事場所を包括する地区を代表する都市のシフト単価}}$$

(2) 単価基準 第1編2(4)の規格・仕様が物価資料に掲載されているものと一部異なるため、単価（以下「補正単位施工単価」という。）を設定する細目工種については、各章による。

(3) 補正単位施工単価を算出するための補正方法については附表2による。

## 7 製造業者又は専門工事業者の見積価格等

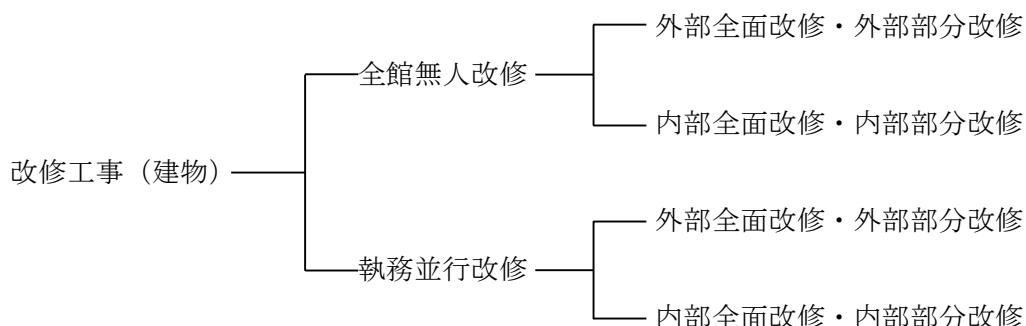
単価基準第1編2(4)による場合で、製造業者又は専門工事業者の見積価格等を参考にして単価及び価格を算定する場合は、「建築資材等の見積収に関する取扱い」による。

## 8 改修工事の取扱い

### (1) 改修工事の分類

改修工事は、執務状態、部位、方法等により、分類できる。

#### イ. 執務状態、部位、方法等による改修工事の分類



#### ロ. 執務状態の区分

改修工事は、工事期間における建物内の執務状況により、全館無人改修及び執務並行改修に積算上区分することができる。

- (イ) 全館無人改修：仮庁舎等が準備されている等、改修する建物全館が無人（執務者がいない）の状態で行う改修工事をいう。
- (ロ) 執務並行改修：建物に執務者がいる状態で行う改修工事をいい、施工場所と執務中の場所が区画されている状態の工事も含まれる。また、増築工事においても既存建物と取り合う部分の改修工事については、既存建物の執務者の有無の状態により分類する。

#### ハ. 部位・方法の区分

改修工事は、上記執務状態の区分による二つの区分を下記のとおりさらに細かく区分することができる。

- (イ) 外部全面改修：建物の屋根、外壁等の全面を改修する場合をいう。
- (ロ) 外部部分改修：建物の屋根、外壁等の小規模で部分的な改修及びそれらが点在する改修をいう。
- (ハ) 内部全面改修：建物の内部全面を改修する場合をいう。
- (ニ) 内部部分改修：部屋単位の床、壁、天井等の個別又は複合改修及びそれらが点在する改修をいう。

間仕切り等の撤去・新設、又は設備改修等による取り合い周辺部分の改修をいう。

## (2) 改修工事における労務の所要量の割増し、単価の補正

イ 全館無人改修の場合は、単価基準の第2編、第3編、第4編及び本資料に定められた複合単価、市場単価、補正市場単価、単位施工単価、補正単位施工単価のほか参考歩掛り等を使用する。改修を理由とした労務の所要量の割増し、単価の補正は行わない。

ロ 執務並行改修の場合は、施工業者が執務者に配慮等しながら施工を行う事を前提として、表A-1、表E-1及び表M-1のとおり、工種に応じて、複合単価、単位施工単価、補正単位施工単価については、労務の所要量の割増しを行い、市場単価及び補正市場単価は改修補正率を乗ずる。

著しく作業効率が悪い場合においては、表A-1、表E-1及び表M-1によらず、実状を考慮して、労務の所要量の割増し、単価の補正を行う。

単位施工単価については、ベース単価は複合単価の方法により算定することとなっており、この複合単価に含まれる労務の所要量の割増しを行う。シフト単価については、物価資料の掲載価格をもとに以下の式により算定する。

## [工事場所が物価資料の掲載都市の場合]

$$\text{改修割増し後のシフト単価} = \frac{\text{工事場所の材料単価、労務単価を用い、労務の所要量を割増しの上、算定したベース単価}}{\text{工事場所の都市のシフト単価}} \times \frac{\text{物価資料掲載の同一規格・仕様、工事場所の都市のベース単価}}{\text{物価資料掲載の同一規格・仕様、工事場所の都市のベース単価}}$$

## [工事場所が物価資料の掲載都市ではない場合]

$$\text{改修割増し後のシフト単価} = \frac{\text{工事場所の材料単価、労務単価を用い、労務の所要量を割増しの上、算定したベース単価}}{\text{都市のシフト単価}} \times \frac{\text{物価資料掲載の同一規格・仕様、工事場所を包括する地区を代表する都市のベース単価}}{\text{物価資料掲載の同一規格・仕様、工事場所を包括する地区を代表する都市のベース単価}}$$

表A-1 執務並行改修の場合の工種ごとの労務の所要量割増し、改修補正率

工種	複合単価、単位施工単価、 補正単位施工単価の 労務の所要量割増し	市場単価及び補正市場単価の 改修補正率	備考
仮設	—	—	—
土工	—	—	—
地業	—	—	—
鉄筋	—	—	—
コンクリート	—	—	—
型枠	—	—	—
鉄骨	—	—	—
既製コンクリート	15%増し	—	—
防水	15%増し	防水 防水(シーリング)	1.07 1.13
石	15%増し	—	—
タイル	15%増し	—	—
木工	15%増し	—	—
屋根及びとい	15%増し	—	—
金属	15%増し	金属	1.08
左官(仕上塗材仕上)	—	—	—
左官(仕上塗材仕上以外)	15%増し	左官(仕上塗材仕上以外)	1.14
建具	15%増し	建具(ガラス) 建具(シーリング)	1.09 1.14
塗装(改修標仕様)	15%増し	塗装(改修標仕様)	1.14
内外装	15%増し	内外装 内外装(ビニル床材)	1.11 1.08
仕上げユニット	15%増し	—	—
排水	—	—	—
構内舗装	—	—	—
植栽	—	—	—
仮設(改修)	—	—	—
撤去	—	—	—
外壁改修	—	—	—
とりこわし	—	—	—

注) ーは該当する種類の単価がない又は労務の所要量の割増し、単価の補正は行わないことを示す。

表E-1 執務並行改修の場合の工種ごとの労務の所要量割増し、改修補正率

工種	複合単価、単位施工単価、 補正単位施工単価の 労務の所要量割増し	市場単価及び補正市場単価の 改修補正率	備考
配管工事	20%増し	電線管、2種金属線び及び同ボックス	1.18
		ケーブルラック	1.14
		位置ボックス及び位置ボックス用ボンディング	1.17
		ブルボックス	1.12
		ブルボックス用接地端子	1.00
		防火区画貫通処理 ケーブル用(壁・床)	1.13
		防火区画貫通処理 金属管・丸型用	1.05
		(電動機その他接続材工事) 金属製可とう電線管	1.14
配線工事	20%増し	600V 絶縁電線及び 600V 絶縁ケーブル	1.16
接地工事(屋内)	20%増し	—	—
接地工事(屋外)	—	(接地極工事) 銅板式、銅覆鋼棒、接地極埋設(金属製)	—
塗装工事	20%増し	—	—
機器搬入	20%増し	—	—
電灯設備	20%増し	—	—
動力設備	20%増し	—	—
雷保護設備	20%増し	—	—
受変電設備	20%増し	—	—
電力貯蔵設備	20%増し	—	—
架空線路	—	—	—
地中線路	—	—	—
構内交換設備	20%増し	—	—
情報表示・拡声設備	20%増し	—	—
誘導支援設備	20%増し	—	—
テレビ共同受信設備	20%増し	—	—
監視カメラ設備	20%増し	—	—
火災報知設備	20%増し	—	—
撤去(再使用しない)	—	—	—
撤去(再使用する)	—	—	—
再取付け	20%増し	—	—
機器搬出	20%増し	—	—
はつり工事	20%増し	—	—

注) ーは該当する種類の単価がない又は労務の所要量の割増し、単価の補正は行わないことを示す。

屋外、共同溝等においては原則として労務の所要量割増しは行わない。

表M-1 執務並行改修の場合の工種ごとの労務の所要量割増し、改修補正率

工種	複合単価、単位施工単価、 補正単位施工単価の 労務の所要量割増し	市場単価及び補正市場単価の 改修補正率	備考
配管工事 (屋内一般、機械室・便所)	20%増し	—	— 屋上及び 外壁施工含む
配管工事 (屋外・共同溝)	—	—	—
配管工事(地中)	—	—	—
配管附属品	20%増し	—	—
保温工事	20%増し	配管用、ダクト外用及び消音内貼	1.14
塗装及び防錆工事	20%増し	—	—
機器搬入	20%増し	—	—
総合調整	20%増し	—	—
土工事	—	—	—
コンクリート工事	20%増し	—	— 屋内基礎等
機器類の据付	20%増し	—	—
ダクト設備	20%増し	低圧ダクト、排煙ダクト及び低圧チャンバー類	1.14
ダクト附属品	20%増し	既製品ボックス、制気口、ダンパー等の取付手間のみ	1.20
自動制御設備	20%増し	—	— 歩掛りによる場合
衛生器具設備 (ユニットを除く)	20%増し	取付手間のみ	1.20
柵類	—	—	—
消火設備 (特殊消火を除く)	20%増し	—	— 歩掛りによる場合
配管分岐・切断	20%増し	—	—
機器搬出	20%増し	—	—
はつり工事	20%増し	—	—
ダクト端部閉塞	20%増し	—	—
インバート改修	—	—	—
撤去(再使用する)	—	—	—
撤去(再使用しない)	—	—	—
再取付け	20%増し	—	—

注) ーは該当する種類の単価がない又は労務の所要量の割増し、単価の補正は行わないことを示す。

屋外、共同溝等においては原則として労務の所要量割増しは行わない。

### (3) 改修工事の積算にあたっての留意事項

改修工事の積算にあたっては、実状、施工条件明示事項等を考慮し、施工計画上必要となる仮設類の盛替え費用及び現場施工の制約を考慮した費用等を適切に積算する。また、製造業者又は専門工事業者の見積価格等を参考にする場合は、当該工事の施工条件を満たした内容であることを確認する。

なお、施工区分、施工手順等に応じた積算における留意事項は以下のとおり。

- イ. 荷揚用揚重機械器具は、設計図書に条件明示された施工区分及び施工手順にあたった回数等を十分検討し、適切に計上する。
- ロ. 荷揚用揚重機械器具による揚重ができない場合は、人力による小運搬等を現場状況に応じて適切に計上する。
- ハ. 直接仮設の墨出し、養生、整理清掃後片付け、足場等が、設計図書に条件明示された施工区分、施工手順等の現場状況により、複数回生じる場合は、適切に計上する。
- ニ. 発生材については、施工区分、施工手順等の現場状況によりストックすることができず、その都度搬出しなくてはならない場合、または運搬車の規格が通常とは異なる等の場合、現場状況に応じて適切に計上すること。

### 9 工事量が僅少等の取扱い

工事量が僅少の場合、施工場所が点在する場合、工程上連続作業が困難な場合等の単価及び価格は、施工に最低限必要な単位の材料、労務、機械器具等の費用を実状に応じて算定する。

### 10 時間外、深夜及び休日の労働についての労務単価

(1) 公共工事設計労務単価（以下「労務単価」という。）は、所定労働時間内8時間当たりの単価であり、時間外、深夜及び休日の労働についての割増賃金は含まれない。

(2) 時間外及び深夜の労働は、施工時期・施工時間が制限され、割増賃金を見込む必要が設計図書に明示された場合に、労務費を下記により算定する。ただし、時間外の労働は、変形労働時間制等を考慮し、実状に応じて積算する。

$$\text{労務費（総額）} = \text{労務単価} + \text{労務単価} \times K \times \text{割増すべき時間数}$$

ただし、K（割増賃金係数） = 割増対象賃金比  $\times 1 / 8 \times$  割増係数とする。

なお、K（割増賃金係数）は当該年度の「労務単価」の「割増対象賃金比及び1時間当たり割増賃金係数」による。

また、市場単価及び単位施工単価の細目工種において、時間外及び深夜の労働について割増賃金を見込む必要がある場合は、割増賃金に相当する割増し率を算定し市場単価及び単位施工単価を補正する。

(3) 休日の労働は、緊急時等、やむを得ず法定休日に作業を行い、割増賃金を見込む必要が設計図書に明示された場合に、労務費を下記により算定する。なお、法定休日とは、使用者の定める週一回以上、もしくは4週間のうちに4日以上の休日とす

る。（労働基準法 第35条）

$$\text{労務費（総額）} = \text{労務単価} \times K \times \text{割増すべき時間数}$$

なお、K（割増賃金係数）の取扱いは（2）による。

また、市場単価及び単位施工単価の細目工種において、休日の労働について割増賃金を見込む必要がある場合は、割増賃金に相当する割増し率を算定し市場単価及び単位施工単価を補正する。

ただし、緊急時等、やむを得ない場合に該当しない法定休日に作業を行い、別の日を振替休日とした場合は適用しない。

### 1.1 寒冷地、離島等の取扱い

- (1) 寒冷地における除雪に関する費用及び寒中養生のための費用等は、実状に応じて積算する。
- (2) 離島等における工事の積算にあたっては、材料・労務の調達、プラント・機械器具の有無、運搬方法等についての特殊事情を調査・検討し、実状に応じて積算する。

### 1.2 舗装版切断時の濁水の処理等に係る費用

アスファルトコンクリート舗装版、セメントコンクリート舗装版及びこれらの複合舗装版の切断作業に伴い生じる濁水の処理等（回収、運搬、処分）に係る費用は、以下により直接工事費として計上する。

#### (1) 数量積算

排水吸引機能及び自動回収機能を有する切断機械を使用した切断作業に伴い回収される濁水量として、次式により算出する。

$$V = 0.023 \times t \times L$$

V : 回収濁水量 (m<sup>3</sup>) t : 舗装版厚 (m) L : 切断延長 (m)

※端数処理、有効桁数及び工事費内訳書への計上は、建築数量積算基準による。

#### (2) 算定

##### ①回収費用

自動回収機能を有する切断機械を使用することを前提とするため、計上しない。

##### ②運搬費用

委託先処理施設を想定し、建設場所からの距離に応じた2t級ダンプトラックによる運搬費用を計上する。

##### ③処分費用

委託先処理施設を想定し、回収濁水量に応じた処分費を計上する。

### 1.3 有価物の処理について

撤去工事における発生材の中に有価物がある場合は、原則として発生処分費として減額計上する。

#### 1.4 設計変更時の取扱い

単価基準第1編5の場合の設計変更時の積算において、当初設計の工事費内訳書に對して種目が追加された場合の単価及び価格は、総括監督員の指示又は承諾した時点の単価及び価格とする。

#### 1.5 その他

- (1) 「建築数量積算基準」及び「建築設備数量積算基準」により算定した数量に対応する単価が一円単位の場合の数量は、整数とする。
- (2) 別紙明細書にて一式計上された金額に変更がある場合は、原則として、最終金額（原設計の数値処理前金額+設計変更の数値処理前金額）の数値処理を行った後、既契約計上金額（数値処理後金額）を減じたものとする。
- (3) 設計変更において、当初請負比率を乗じる前の価格は第3編第1章1に準じる。なお、当初請負比率を乗じた後の価格は、一万円単位（一万円未満切り捨て）とする。

## 第 2 章 建 築 工 事

### 第 1 節 新 営 工 事

#### 第 1 項 仮 設

##### 1 一般事項

(1) 仮設は、設計図書等に基づき工事内容や施工条件を確認し適切に算出する。  
なお、設計変更に伴う工事費の変更は、設計図書により記載内容が変更された場合とする。

(2) 施工条件が明示された場合は、その内容により算出する。

(3) 外部足場及び内部足場は、手すり先行方式枠組本足場を標準とする。

##### 2 単価、価格等

###### (1) 共通仮設

###### イ. 仮囲い

仮囲鋼板にイメージアップのための塗装等が設計図書に明示された場合は、必要な費用を計上する。

###### ロ. 仮設鉄板敷

仮設鉄板敷の整備費は、基本料に加え通常の使用で発生する反り等の復旧に係る費用を含む。

###### ハ. 移動式揚重機

(イ) 移動式揚重機に係る費用は、設置日数を別途算定し計上する。

(ロ) トラッククレーンを標準とする。ただし、4. 9 t 吊を超える 100 t 吊未満については、ラフテレンクレーンとする。

(ハ) トラッククレーン 100 t 吊以上に係る費用は、施工条件明示により専門工事業者からの見積価格等を参考に定める。

###### (2) 直接仮設

###### イ. 遣方、墨出し及び養生・整理清掃後片付け

(イ) 鉄骨造の地上部は、表 A 1-1 により単価の補正を行う。

(ロ) 鉄筋コンクリート造と鉄骨鉄筋コンクリート造を標準とし、鉄骨造の墨出し及び養生・整理清掃後片付けを地下部分及び付帯部分（ドライエリア、ピロティ、ピット、外部階段、吹き抜け、バルコニー、外部廊下等）で使用する場合の単価は、表 A 1-1 と表 A 1-2 により補正を行う。

###### ロ. 枠組本足場

(イ) 枠組本足場の設置の標準は、表 A 1-3 を参考に選定する。

(ロ) 一般的な事務庁舎等の外部足場の設計供用日数は、表A1-4の足場平均存置日数（建築面積750m<sup>2</sup>程度）による。ただし、建築面積の大小による補正を表A1-5により行う。

(ハ) 屋根工事を伴う場合は、勾配ごとに、開口部での作業及び滑落並びに踏抜きのおそれのある屋根面積相当分を屋根足場として計上する。

#### ハ. 内部躯体足場

内部躯体足場（鉄筋・型枠足場 階高5.0m未満）を単独階のみで使用する場合の設計供用日数は、30日とする。

#### ニ. 内部仕上足場

(イ) 内部仕上足場（脚立足場 階高4.0m以下）を単独階のみで使用する場合の設計供用日数は、30日とする。

(ロ) 内部仕上足場を設置するにあたり、階高が4.0mを超える場合は、設置面の形状等により枠組棚足場（階高4.0m超）又は簡易型移動式足場を選択する。

#### ホ. 災害防止

(イ) 外部足場等に架設される災害防止（金網、シート等）の存置期間は、足場平均存置日数から10日を減じた期間とする。

(ロ) 安全手すりの存置期間は、表A1-4「足場平均存置日数」の階数1の日数とする。

#### ヘ. 仮設材運搬

仮設材運搬用トラックの規格は4t積を標準とする。ただし、規模や敷地条件等により2t積を考慮する。

#### ト. その他

単価基準 第2編第1章第1節 表A1-1-19の転用階数とは、足場を転用しながら設置する延べ階数をいう。

表 A1-1

#### 墨出し及び養生・整理清掃後片付けの建物構造による単価補正

名称	鉄骨造（地上階）	備考
墨出し	80%	
養生・整理清掃後片付け	80%	

表 A1-2

#### 墨出し及び養生・整理清掃後片付けの地下階及び付帯部分に使用する単価補正

名 称	一般	複雑	小規模
地下階	110%	110%	110%
トライエリア、ピロティ、大規模ピット	80%	80%	80%（大規模ピットを除く）
外部階段、吹抜け（柱・梁あり）	70%	70%	70%
バルコニー、外部廊下、吹抜け（その他）、ピット	50%	50%	50%

表 A1 - 3

## 枠組本足場の設置の標準

建柱寸法	板付布柱	規模・仕上げ
1200柱	500布柱×2枚	鉄筋コンクリート造外壁タイル等(6階建て以上)
900柱	500+240布柱	鉄筋コンクリート造外壁タイル等(5階建て以下) 鉄筋コンクリート造外壁吹付け仕上げ程度(2階建て以上) 鉄骨造外壁パネル・スレート張り(2階建て以上)
600柱	500布柱×1枚	鉄筋コンクリート造外壁吹付け仕上げ程度(平家建て) 鉄骨造外壁パネル・スレート張り(平家建て)

(注) 1. 階高は、4m程度とする。  
2. 建柱及び板付布柱の寸法単位は、mmとする。  
3. 地下階の外部足場は、建柱600柱、板付布柱500柱×1枚とする。

表 A1 - 4

足場平均存置日数(建築面積 750 m<sup>2</sup>程度)

階数	平均存置日数及び算定式	備考
1	109	
2	131	
3	153	
4	175	
5	197	
6	219	
7	241	
8	263	
算定式(RC造)	22N+87	

(注) 1. Nは階数を示す。  
2. 特殊な建物等(階高が著しく高く、コンクリート打設が2回以上になる等)の場合は、別途考慮する。

表 A1 - 5

## 建築面積の大小による補正係数

建築面積(m <sup>2</sup> )	300	450	750	1000
対象範囲(m <sup>2</sup> )	~ 375 未満	375 ~ 575 未満	575 ~ 925 未満	925 ~ 1,250 未満
補正係数	0.90	0.95	1.00	1.05

建築面積(m <sup>2</sup> )	1500	2000	3000
対象範囲(m <sup>2</sup> )	1,250 ~ 1,875 未満	1,875 ~ 2,500 未満	2,500 ~ 3,750 程度
補正係数	1.10	1.20	1.30

(注) 補正係数は足場平均存置日数に乗じる。

## 第2項 土工

### 1 一般事項

細目工種は、単価基準によるほか表A 2-1による。

### 2 単価、価格等

#### (1) 根切り

施工範囲が狭隘な部位で標準的な土工機械が搬入できない場合は、小規模土工を適用する。

#### (2) 埋戻し

- イ. 機械による施工が困難な場合は、人力土工を適用する。
- ロ. 施工範囲が狭隘な部位で標準的な土工機械が搬入できない場合は、小規模土工を適用する。

#### (3) 盛土

- イ. 盛土が人力による場合は、単価基準 第2編第1章第2節表A 1-2-2を適用する。
- ロ. 盛土には、標準仕様書による300mm程度ごとの転圧（水締め共）を含む。

#### (4) 床付け

根切りが機械施工の場合に計上する。なお、人力土工及び小規模土工による根切りには床付けが含まれているので計上しない。

#### (5) 杭間ざらい

根切りを機械施工で行う場合に計上する。なお、人力土工の場合は根切りに含まれているので計上しない。

#### (6) 積込み

- イ. 人力土工（積込み）は2tダンプトラック程度までとする。
- ロ. 積込みは、仮置き場に堆積した土をダンプトラックに積込む場合に適用する。

#### (7) 山留め

山留めは、施工条件明示により物価資料の掲載価格、専門工事業者からの見積価格等を参考に定める。

#### (8) 排水（水替え）

排水（水替え）は、施工条件明示により物価資料の掲載価格、専門工事業者からの見積価格等を参考に定める。

#### (9) 建設発生土運搬

- イ. 敷地内の指定された場所に仮置きする場合は、場内運搬を計上する。
- ロ. 運搬経路におけるDID区間の有無は、設計図書に明記された処分先の確認又は設計担当者との協議により判断し計上する。

ハ. 有料道路料金は、運搬経路に有料道路が設計図書に明記された場合に計上する。

(10) 建設発生土処理

受入地で養生等を行う場合は、必要に応じて土工機械の運転及び運搬に係る費用を計上する。

(11) 軽油の価格

土工事における掘削等のために使用する建設機械（ブルドーザー、トラクターショベル、パワーショベル、バックホウ、ドラグライン、クラムシェル等。）の軽油の価格は、軽油引取税を除いた価格を計上する。

(12) その他

埋戻し及び盛土で搬入土を使用する場合は、必要に応じて積込み及び運搬に係る費用を計上する。

表 A2 - 1 補正市場単価

細目	摘要	単位
根切り	山留め内 切梁あり	m <sup>3</sup>
根切り	山留め内 切梁あり (クラムシェルによる積込み)	m <sup>3</sup>
根切り	山留め内 グランドアンカー (クラムシェルによる積込み)	m <sup>3</sup>
根切り	小規模土工	m <sup>3</sup>
埋戻し	小規模土工 発生土	m <sup>3</sup>
盛土	発生土	m <sup>3</sup>
敷き均し	発生土 締固め共	m <sup>3</sup>
積込み	発生土	m <sup>3</sup>
機械運搬費	片道30km以内 バックホウ+クラムシェル (分解組立共)	往復
機械運搬費	小規模土工 片道30km以内 バックホウ	往復

## 第3項 地 業

### 1 単価、価格等

#### (1) 場所打ちコンクリート杭地業材料

- イ. コンクリート材料単価は、単価基準によるほか、第5項による。
- ロ. 鉄筋材料単価、鉄筋屑等のスクラップ単価は、単価基準によるほか、第4項による。
- ハ. 鋼材単価、鋼材屑等のスクラップ単価は、単価基準によるほか、第7項による。

#### (2) 杭頭処理

- イ. 杭径が 600mm を超える既製コンクリート杭の杭頭処理費は、標準歩掛りを補正する。
- ロ. 場所打ちコンクリート杭の杭頭処理費は、人力施工及び人力積込みとする。  
ただし、杭本数が多い場合は機械積込みを考慮する。
- ハ. 特定埋込杭の杭頭処理において、杭頭を切断する場合は、単価基準 第2編 第1章第3節 表A1-3-1による。

#### (3) 既製コンクリート杭杭頭補強

専門工事業者の見積価格等を参考にする。

#### (4) 発生材処理

建設汚泥を含む建設発生土は、ほかの建設発生土と区別して計上する。

#### (5) 捨コンクリート

コンクリート材料単価は、単価基準 第2編第1章第5節によるほか、第5項による。ただし、構造体強度補正值によるコンクリート強度の補正を行わない。

## 第4項 鉄筋

### 1 一般事項

細目工種は、単価基準によるほか表A4-1による。

### 2 単価、価格等

#### (1) 鉄筋資材単価

スクラップ単価は、物価資料の掲載価格のうち規格「鉄屑 ヘビー H2」とする。

なお、鉄筋屑等のスクラップ数量は、所要数量から設計数量を差し引いた数量の70%とする。

#### (2) 鉄筋加工組立

イ. 工場管理費は、中間値を標準とする。なお、地域性などにより実状が異なる場合は、この限りでない。

ロ. RCラーメン構造 階高3.5~4.0m程度 形状単純の加工及び組立において細物とはD16以下、太物とはD19以上とする。また、太物と細物の構成比は40:60程度を標準とする。

ハ. 鉄筋現場加工は、鉄筋工場加工のベース歩掛りを用い、労務歩掛りに1.20を乗じるとともに、工場管理費は含めないで算定する。なお、これによりがたい場合は専門工事業者の見積価格等による。

ニ. 梁貫通孔補強鉄筋現場加工は、梁貫通孔補強鉄筋工場加工の標準歩掛りを用い、労務歩掛りに太物は1.58、細物は1.38を乗じるとともに、工場管理費は含めないで算定する。なお、これによりがたい場合は専門工事業者の見積価格等による。

ホ. 表A4-1 鉄筋加工組立 S造床版は、鉄骨造で床版がデッキプレート等を使用したコンクリート床版の場合に使用する。

ヘ. 表A4-1 鉄筋加工組立 小型構造物は、雑工作物の擁壁、囲障基礎、門等に使用する。ただし、連続する擁壁等を施工する場合は、単位施工単価の鉄筋コンクリート造壁式構造を適用する。

#### (3) 鉄筋運搬

鉄筋運搬用トラックの規格は10t車を標準とする。

ただし、建築構造物の規模や敷地条件等により4t車を考慮する。

表A4-1 補正単位施工単価

細目	摘要	単位	備考
鉄筋加工組立	S造床版	t	
鉄筋加工組立	小型構造物	t	

(4) ガス圧接

アセチレン及び酸素について、物価資料に掲載されている都市以外の単価の把握が困難な場合においては、工事場所を包括する地区を代表する都市の単価を準用することができる（離島や遠方等で実態が異なる場合は除く）。

## 第5項 コンクリート

### 1 一般事項

(1) 細目工種は、単価基準によるほか表A5-1による。  
 (2) 細目工種は、第4編第1章3によるほか表A5-2による。

### 2 単価、価格等

#### (1) コンクリート材料単価

設計基準強度 (F<sub>c</sub>) に対応した材料単価とする。

#### (2) 構造体強度補正

補正の対象となるコンクリート数量に、調合管理強度による材料単価と設計基準強度 (F<sub>c</sub>) による材料単価の差額との積で算出した価格を計上する。

なお、調合管理強度とは、設計基準強度 (F<sub>c</sub>) にセメントの種類及びコンクリートの打ち込みから材齢28日までの期間の予想平均気温に応じて定められた構造体強度補正值 (S) を加えた強度をいう。

表 A5-1 補正市場単価

細目	摘要	単位	備考
コンクリート打設手間	基礎コンクリート ポンプ打設 施工規模50~100m <sup>3</sup> /回 程度	m <sup>3</sup>	
コンクリート打設手間	基礎コンクリート ポンプ打設 施工規模50m <sup>3</sup> /回 程度	m <sup>3</sup>	
コンクリート打設手間	躯体コンクリート ポンプ打設 施工規模50~100m <sup>3</sup> /回 程度	m <sup>3</sup>	
コンクリート打設手間	躯体コンクリート ポンプ打設 施工規模50m <sup>3</sup> /回 程度	m <sup>3</sup>	
コンクリート打設手間	S造スラブコンクリート ポンプ打設 施工規模50m <sup>3</sup> /回 程度	m <sup>3</sup>	
コンクリート打設手間	小型構造物コンクリート 人力打設 工作物の基礎等	m <sup>3</sup>	
コンクリート打設手間	小型構造物コンクリート人力打設 擁壁、囲障の基礎等	m <sup>3</sup>	

表 A5-2 補正市場単価

細目	摘要	単位	備考
コンクリート打設手間	均しコンクリート 人力打設	m <sup>3</sup>	
コンクリート打設手間	防水保護コンクリート 人力打設	m <sup>3</sup>	

## 第 6 項 型 枠

### 1 一般事項

- (1) 細目工種は、単価基準によるほか表A 6-1による。
- (2) 細目工種は、第4編第1章3によるほか、表A 6-2による。
- (3) 型枠材（丸パイプ及びパイプサポート類も含む）は型枠業者が回収する。
- (4) 型枠組立解体時に発生した鉄線、釘類及び端材の処理費は、共通仮設費の屋外整理清掃費に含まれる。

### 2 単価、価格等

#### (1) 合板型枠

- イ. 埋め殺しの場合は、単位施工単価及び補正単位施工単価を適用しない。
- ロ. 型枠の転用率が低い場合等は、小型構造物用型枠を使用する。
- なお、連続する擁壁等を施工する場合は、単位施工単価及び補正単位施工単価の壁式構造（基礎部または地上軸部）を適用する。
- ハ. 普通型枠にコーンを使用する場合、普通型枠にコーンを加算する。また、コーン処理を別途計上する。

#### (2) 型枠運搬

型枠運搬用トラックの規格は4t車を標準とする。

ただし、建築構造物の規模や敷地条件等により10t車を考慮する。

#### (3) その他

特殊な型枠を使用する場合は物価資料による掲載価格、専門工事業者の見積価格等により算出する。

表 A6-1 補正単位施工単価

細 目	摘 要	単位	備 考
打放し合板型枠	ラーメ構造・壁式構造 基礎部B種	m <sup>2</sup>	
打放し合板型枠	ラーメ構造・壁式構造 基礎部C種	m <sup>2</sup>	
打放し合板型枠	ラーメ構造 地下軸部 A種 階高 5.0m程度	m <sup>2</sup>	
打放し合板型枠	ラーメ構造 地下軸部 B種 階高 5.0m程度	m <sup>2</sup>	
打放し合板型枠	ラーメ構造 地下軸部 C種 階高 5.0m程度	m <sup>2</sup>	
打放し合板型枠	ラーメ構造 地上軸部 A種 階高 3.5～4.0m程度	m <sup>2</sup>	
打放し合板型枠	壁式構造 地上軸部 A種 階高 2.8m程度	m <sup>2</sup>	
小型構造物用型枠	擁壁、囲障の基礎等	m <sup>2</sup>	

表 A6 - 2 補正市場単価

細 目	摘 要	単位	備 考
普通合板型枠	壁式構造 基礎部	m <sup>2</sup>	

## 第 7 項 鉄 骨

### 1 一般事項

現場建方における低層とは平屋建とし、中層とは6階建程度とする。

### 2 単価、価格等

#### (1) 鋼材単価

イ. 鋼材単価は、製造業者の直接販売価格、又はその他の取引価格（市中価格）による。

なお、製造業者の直接販売価格については規格等に応じた費用（エキストラ価格）を加算する。

##### 【鋼材単価算出例】

S N 4 0 0 A C T - 2 0 0 × 2 0 0 × 8 × 1 2 長さ 1 8. 5 m の場合

ベース価格 H形鋼製造業者の直接販売価格

(無規格 2 0 0 以下)

エキストラ価格 規格エキストラ (S N 4 0 0 A 加算)

寸法エキストラ (長さ加算)

加工エキストラ (C T 形鋼加算) 等

上記のベース価格とエキストラ価格を加算する

ロ. ベース価格の区分は、表A 7-1 による。

ハ. エキストラ価格は表A 7-2 により区分し、物価資料の掲載価格による。

ニ. スクラップ単価は、物価資料の掲載価格のうち規格「鉄屑 ヘビー H 2」とする。

なお、鋼材屑等のスクラップ数量は、所要数量から設計数量を差し引いた数量の 7 0 % とする。

#### (2) 工場加工組立

軽微な建物等の場合は、施工規模を勘案して物価資料の掲載価格によることができる。

#### (3) 揚重機械器具

イ. 第1項により、共通仮設費に計上する。

ロ. 機種選定は作業エリアからの最大作業半径と吊上荷重（最上階の1ピース最大質量）により決定する。

#### (4) 工場塗装

専門工事業者の見積価格等を参考にする。ただし、これによりがたい場合は第4編第1章3による。

## (5) 現場建方

軽微な建物等の場合は、施工規模を勘案して物価資料の掲載価格等によることができる。

## (6) 高力ボルト・普通ボルト類

締め付け費は、軽微な建物等の場合は、施工規模を勘案して物価資料の掲載価格等によることができる。

## (7) 現場溶接

イ. 軽微な建物等の場合は、施工規模を勘案して物価資料の掲載価格等によることができる。

ロ. 参考歩掛り 表 RA-7-4 現場溶接の溶接器具は、半自動アーク溶接機 定格電流 500A を標準とし、機械損料 1.50 とする。

表 A7 - 1

ベース価格区分表

鋼材種別	適用条件	市中価格	製造業者の直接販売価格
H形鋼		SS400規格品	左記以外の規格品
溝形鋼			
I形鋼	数量にかかわらず		
等辺山形鋼			
外法H形鋼		—	全ての規格品
不等辺山形鋼		全ての規格品	—
平鋼	数量にかかわらず		
軽量形鋼		SSC400相当品	
鋼板（切板）	数量にかかわらず	SS400規格品	左記以外の規格品
一般構造用炭素鋼鋼管	—	STK400の規格品	左記以外の規格品

表 A7 - 2

エキストラ価格区分表

鋼材種別	対象エキストラ
H形鋼	1. 規格エキストラ
外法H形鋼	2. 寸法エキストラ (長さ・サイズ・極厚) 3. 加工エキストラ (C T形鋼・ショット)
溝形鋼	1. 規格エキストラ
I形鋼	2. 寸法エキストラ
等辺山形鋼	1. 規格エキストラ
一般構造用炭素鋼鋼管	1. 規格エキストラ 2. 外径エキストラ 3. 寸法エキストラ
鋼板 (切板)	1. 規格エキストラ 2. 板厚エキストラ 3. 単質別、形状別エキストラ 4. 切断エキストラ 5. 孔あけ加工エキストラ 6. 面取り加工エキストラ 7. 開先加工エキストラ 8. マーキングエキストラ 9. スニップ・スカラップエキストラ 10. 材料検査エキストラ

## 第 8 項 既製コンクリート

### 1 単価、価格等

単価基準の内壁コンクリートブロック帳壁及び外壁コンクリートブロック帳壁は、縦遣方、モルタル充填、鉄筋等も含む。

## 第9項 防 水

### 1 一般事項

細目工種は、単価基準によるほか表A 9-1、表A 9-2による。

### 2 単価、価格等

#### アスファルト防水

イ. 防水押え金物は、市場単価に含まれていないため、別途計上する。

ロ. AI-2（密着断熱工法）の市場単価に含まれる断熱材の厚みは、札幌 50mm、その他都市 25mm とする。

表 A9-1 補正市場単価

細 目	摘 要	単位	備 考
屋根アスファルト防水	A-1 密着工法 平部	m <sup>2</sup>	
屋根アスファルト防水	A-1 密着工法 立上り	m <sup>2</sup>	
屋根アスファルト防水	AI-1 密着断熱工法 平部	m <sup>2</sup>	
屋根アスファルト防水	AI-1 密着断熱工法 立上り	m <sup>2</sup>	
屋根アスファルト防水	AI-2 密着断熱工法 立上り	m <sup>2</sup>	
屋根アスファルト防水	B-2 絶縁工法 平部	m <sup>2</sup>	
屋根アスファルト防水	B-2 絶縁工法 立上り	m <sup>2</sup>	
屋根アスファルト防水	BI-1 絶縁工法 平部	m <sup>2</sup>	
屋根アスファルト防水	BI-1 絶縁工法 立上り	m <sup>2</sup>	
屋根アスファルト防水	BI-2 絶縁工法 平部	m <sup>2</sup>	
屋根アスファルト防水	BI-2 絶縁工法 立上り	m <sup>2</sup>	
屋根アスファルト防水	D-2 絶縁工法 平部	m <sup>2</sup>	
屋根アスファルト防水	D-2 絶縁工法 立上り	m <sup>2</sup>	
屋内アスファルト防水	E-2 密着工法 平部	m <sup>2</sup>	
屋内アスファルト防水	E-2 密着工法 立上り	m <sup>2</sup>	

表 A9-2 補正市場単価

細 目	摘 要	単位	備 考
シーリング	PS-2ホリサルファイト <sup>®</sup> (2成分形) 幅25×深さ10	m	
シーリング	PS-2ホリサルファイト <sup>®</sup> (2成分形) 幅30×深さ10	m	
シーリング	PU-2ホリウレタン (2成分形) 幅25×深さ10	m	
シーリング	PU-2ホリウレタン (2成分形) 幅30×深さ10	m	
シーリング	MS-2変成シリコーン (2成分形) 幅25×深さ10	m	
シーリング	MS-2変成シリコーン (2成分形) 幅30×深さ10	m	
シーリング	SR-1シリコーン (1成分形) 幅20×深さ10	m	
シーリング	SR-1シリコーン (1成分形) 幅25×深さ10	m	
シーリング	SR-1シリコーン (1成分形) 幅30×深さ10	m	
シーリング	SR-1シリコーン (1成分形) 防かびタイプ <sup>®</sup> 幅10×深さ10	m	
シーリング	SR-1シリコーン (1成分形) 防かびタイプ <sup>®</sup> 幅15×深さ10	m	
シーリング	SR-1シリコーン (1成分形) 防かびタイプ <sup>®</sup> 幅20×深さ10	m	
シーリング	SR-1シリコーン (1成分形) 防かびタイプ <sup>®</sup> 幅25×深さ10	m	
シーリング	SR-1シリコーン (1成分形) 防かびタイプ <sup>®</sup> 幅30×深さ10	m	
シーリング	SR-2シリコーン (2成分形) 幅20×深さ10	m	
シーリング	SR-2シリコーン (2成分形) 幅25×深さ10	m	
シーリング	SR-2シリコーン (2成分形) 幅30×深さ10	m	

## 第 10 項 タイル

### 1 単価、価格等

#### (1) 外装壁タイル張り

外装壁タイル張りは、専門工事業者の見積価格等を参考にする。ただし、施工規模等を勘案して参考歩掛り 表RA-11-1～表RA-11-5によることができる。

#### (2) 壁タイル先付け

PC版にタイルを先付けする場合は、科目別内訳書のタイルにタイル材のみを計上し張り手間はPC版にて計上する。

## 第 11 項 屋根及びとい

### 1 単価、価格等

長尺金属板葺については、専門工事業者の見積価格等を参考にする。ただし、施工規模等を勘案して参考歩掛り 表RA-13-1によることができる。

## 第 12 項 金 属

## 1 一般事項

細目工種は、単価基準によるほか表A 12-1 及び表A 12-2 による。

## 2 単価、価格等

屋内天井下地補強については、天井のふところ高さが1.5m以上 の場合は、特記に応じた補強の費用を単価基準 第2編第1章第14節 表A 1-14-5 軽量鉄骨天井下地に加算する。

表 A12-1 補正市場単価

細 目	摘 要	単位	備 考
屋内軽量鉄骨天井下地	野縁19形 @360 ふところ高 1.5m未満 金属成形板用	m <sup>2</sup>	
屋外軽量鉄骨天井下地	野縁25形 @225 ふところ高 1.0m未満 直張り用	m <sup>2</sup>	
屋外軽量鉄骨天井下地	野縁25形 @360 ふところ高 1.0m未満 下地張りあり	m <sup>2</sup>	
屋外軽量鉄骨天井下地	野縁25形 @360 ふところ高 1.0m未満 金属成形板用	m <sup>2</sup>	

表 A12 - 2 補正市場単価

細 目	摘 要	単位	備 考
壁下地開口部補強	扉等三方補強 スタット <sup>△</sup> 65形 1200×2000mm程度	か所	
壁下地開口部補強	扉等三方補強 スタット <sup>△</sup> 90形 1200×2000mm程度	か所	
壁下地開口部補強	扉等三方補強 スタット <sup>△</sup> 100形 900×2000mm程度	か所	
壁下地開口部補強	扉等三方補強 スタット <sup>△</sup> 100形 1200×2000mm程度	か所	
壁下地開口部補強	扉等三方補強 スタット <sup>△</sup> 100形 1800×2000mm程度	か所	
壁下地開口部補強	ダ <sup>△</sup> 外等四方補強 スタット <sup>△</sup> 65形 200×400mm程度	か所	
壁下地開口部補強	ダ <sup>△</sup> 外等四方補強 スタット <sup>△</sup> 90形 200×400mm程度	か所	
壁下地開口部補強	ダ <sup>△</sup> 外等四方補強 スタット <sup>△</sup> 100形 200×400mm程度	か所	
壁下地開口部補強	ダ <sup>△</sup> 外等四方補強 スタット <sup>△</sup> 100形 300×600mm程度	か所	
壁下地開口部補強	ダ <sup>△</sup> 外等四方補強 スタット <sup>△</sup> 100形 450×900mm程度	か所	
屋内天井下地開口部補強	ボ <sup>△</sup> ト <sup>△</sup> 等切込み共 野縁19形 150×150mm程度	か所	
屋内天井下地開口部補強	ボ <sup>△</sup> ト <sup>△</sup> 等切込み共 野縁19形 900×900mm程度	か所	
屋内天井下地開口部補強	ボ <sup>△</sup> ト <sup>△</sup> 等切込み共 野縁19形 1300×1300mm程度	か所	
屋内天井下地開口部補強	ボ <sup>△</sup> ト <sup>△</sup> 等切込み共 野縁19形 300×2500mm程度	か所	
屋外天井下地開口部補強	ボ <sup>△</sup> ト <sup>△</sup> 等切込み共 野縁25形 150×150mm程度	か所	
屋外天井下地開口部補強	ボ <sup>△</sup> ト <sup>△</sup> 等切込み共 野縁25形 300×300mm程度	か所	
屋外天井下地開口部補強	ボ <sup>△</sup> ト <sup>△</sup> 等切込み共 野縁25形 900×900mm程度	か所	
屋外天井下地開口部補強	ボ <sup>△</sup> ト <sup>△</sup> 等切込み共 野縁25形 1300×1300mm程度	か所	
屋外天井下地開口部補強	ボ <sup>△</sup> ト <sup>△</sup> 等切込み共 野縁25形 300×1200mm程度	か所	
屋外天井下地開口部補強	ボ <sup>△</sup> ト <sup>△</sup> 等切込み共 野縁25形 300×2500mm程度	か所	
屋外天井下地開口部補強	ボ <sup>△</sup> ト <sup>△</sup> 等切込み共 野縁25形 300×3600mm程度	か所	

## 第13項 左官

## 1 一般事項

細目工種は、単価基準によるほか表A13-1による。

## 2 単価、価格等

## (1) モルタル塗り

各種モルタル塗りについては、塗り厚さや塗り幅及び、塗り高さが著しく異なる場合は、材料及び塗り回数による補正を行う。

## (2) 下地調整塗材

下地調整塗材C-2の市場単価は、壁面に用いる。また、見上げ面に用いる場合は補正を行う。

表 A13-1 補正市場単価

細目	摘要	単位	備考
床モルタル塗り	金ごて 厚30 モルタル仕上げ	m <sup>2</sup>	
床モルタル塗り	金ごて 厚30 塗り仕上げ下地	m <sup>2</sup>	
床モルタル塗り	木ごて 厚22 ニットタイル下地	m <sup>2</sup>	
階段モルタル塗り	金ごて 厚30 モルタル仕上げ	m <sup>2</sup>	
階段モルタル塗り	金ごて 厚30 塗り仕上げ下地	m <sup>2</sup>	
幅木モルタル塗り	金ごて H300 出幅木	m	
くつずりモルタル塗り	金ごて 幅100 戸当り無し	m	
くつずりモルタル塗り	金ごて 幅100 戸当り有り	m	
ボーダーモルタル塗り	金ごて 幅150 平部	m	
ボーダーモルタル塗り	金ごて 幅150 階段部	m	
壁モルタル塗り	金ごて 厚25 外壁 3回塗り	m <sup>2</sup>	
壁モルタル塗り	金ごて 内装タイル接着張り下地	m <sup>2</sup>	
壁モルタル塗り	木ごて 内装タイル改良積上張り下地	m <sup>2</sup>	
壁モルタル塗り	刷毛引き 厚20 内壁	m <sup>2</sup>	
壁モルタル塗り	刷毛引き 厚25 外壁	m <sup>2</sup>	
笠木モルタル塗り	パラペット 金ごて 糸幅500程度	m	
笠木モルタル塗り	金ごて 糸幅340程度	m	
窓台モルタル塗り	金ごて 糸幅150程度	m	
膳板モルタル塗り	金ごて 糸幅150程度	m	

## 第 14 項 建 具

### 1 一般事項

細目工種は、単価基準によるほか表A 1 4 - 1～表A 1 4 - 3による。

### 2 単価、価格等

#### (1) 金属製建具

製品代をカタログ又は物価資料の掲載価格による場合は、取付手間は、参考歩掛り 表RA-16-1～表RA-16-5によることができる。

#### (2) ガラス

イ. ガラスとめ材にガスケットを使用する場合は、参考歩掛り 表RA-16-19によることができる。

ロ. ガラスのとめ材の数量は、個々のガラスの周長とする。ただし、ガラスの形状が正方形又は長方形の場合は、表A 1 4 - 2による。

表 A14 - 1 補正市場単価

細 目	摘 要	単位	備 考
型板ガラス	厚6mm 特寸2.18m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	
網入型板ガラス	厚6.8mm 特寸4.45m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	
フロート板ガラス	厚3mm 特寸2.18m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	
フロート板ガラス	厚8mm 特寸2.18m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	
フロート板ガラス	厚8mm 特寸4.45m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	
フロート板ガラス	厚8mm 特寸6.81m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	
網入磨き板ガラス	厚6.8mm 特寸4.45m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	
複層ガラス	FL3+A6+FL3 特寸2.0m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	
複層ガラス	FL3+A6+FL3 特寸4.0m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	
複層ガラス	FL5+A6+FL5 特寸4.0m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	
複層ガラス	FL6+A6+FL6 特寸2.0m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	
複層ガラス	FL6+A6+FL6 特寸4.0m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	
複層ガラス	FL5+A6+PW6.8 特寸4.0m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	
複層ガラス	FL6+A6+PW6.8 特寸2.0m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	
複層ガラス	FL6+A6+PW6.8 特寸4.0m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	
強化ガラス	厚5mm 特寸2.0m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	
強化ガラス	厚5mm 特寸4.0m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	
強化ガラス	厚6mm 特寸2.0m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	
強化ガラス	厚6mm 特寸4.0m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	
強化ガラス	厚8mm 特寸4.0m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	
強化ガラス	厚10mm 特寸4.0m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	
強化ガラス	厚12mm 特寸4.0m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	

表 A14 - 2

ガラスの大きさとm<sup>2</sup>当たり周長

ガラスの規格 (m <sup>2</sup> 以下)	0.74	2.18	4.45	6.81	9.09	11.36
平均周長 (m/m <sup>2</sup> )	4.65	3.38	2.23	1.71	1.43	1.25

表 A14 - 3 補正市場単価

細 目	摘 要	単位	備 考
フロート板ガラス	厚10mm 特寸4.45m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	
フロート板ガラス	厚10mm 特寸6.81m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	
網入磨き板ガラス	厚10mm 特寸4.45m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	
網入磨き板ガラス	厚10mm 特寸6.81m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	

## 第 15 項 塗 装

### 1 一般事項

細目工種は、単価基準によるほか表A 15-1～表15-10による。

### 2 単価、価格等

#### (1) 細幅物

仕上げ塗料塗りについては、単価基準及び本資料に定めのない細幅物（糸幅300mm以下）の単価を作成する際は、m<sup>2</sup>単価に「0.4（係数）」を乗じて算定する。

#### (2) 下地調整塗材 C-2

コンクリート面の素地ごしらえに用いる下地調整塗材 C-2 が設計図書で明示された場合は、単価基準 第15節 左官 2 市場単価の下地調整塗材 C-2 を基に必要な費用を計上する。

表 A15-1 補正市場単価（標準仕様）

細目	摘要			単位
	下地種類等	塗装種別	作業工程	
鋸止め塗り	現場1回 鉄鋼面屋内（仕様：第8節）	鉛クロム 2種	B種	m <sup>2</sup>
鋸止め塗り	現場1回 鉄鋼面屋外 素地ごしらえ別途 (仕様：第4節)	鉛クロム 1種	B種	m <sup>2</sup>
鋸止め塗り	工場1回 鉄鋼面屋外 素地ごしらえ別途 (仕様：第4節)	鉛クロム 1種	B種	m <sup>2</sup>
SOP塗り（合成樹脂調合ペイント塗り）	木部 素地ごしらえ別途	1種	A種	m <sup>2</sup>
SOP塗り（合成樹脂調合ペイント塗り）	木部 素地ごしらえ別途	1種	B種	m <sup>2</sup>
SOP塗り（合成樹脂調合ペイント塗り）	鉄鋼面 鋸止め別途	1種	A種	m <sup>2</sup>
EP塗り（合成樹脂エマルションペイント塗り）	せっこうボード面 一般面 素地ごしらえ別途		A種	m <sup>2</sup>
EP塗り（合成樹脂エマルションペイント塗り）	せっこうボード面 見上げ面 素地ごしらえ別途		A種	m <sup>2</sup>
EP塗り（合成樹脂エマルションペイント塗り）	せっこうボード面 一般面 素地ごしらえ別途		B種	m <sup>2</sup>
EP塗り（合成樹脂エマルションペイント塗り）	せっこうボード面 見上げ面 素地ごしらえ別途		B種	m <sup>2</sup>
EP塗り（合成樹脂エマルションペイント塗り）	けい酸カルム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 一般面 素地ごしらえ別途		A種	m <sup>2</sup>
EP塗り（合成樹脂エマルションペイント塗り）	けい酸カルム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 見上げ面 素地ごしらえ別途		A種	m <sup>2</sup>
EP塗り（合成樹脂エマルションペイント塗り）	けい酸カルム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 一般面 素地ごしらえ別途		B種	m <sup>2</sup>
EP塗り（合成樹脂エマルションペイント塗り）	けい酸カルム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 見上げ面 素地ごしらえ別途		B種	m <sup>2</sup>
EP-G塗り（つや有合成樹脂エマルションペイント塗り）	せっこうボード面 一般面 素地ごしらえ別途		A種	m <sup>2</sup>
EP-G塗り（つや有合成樹脂エマルションペイント塗り）	せっこうボード面 見上げ面 素地ごしらえ別途		A種	m <sup>2</sup>
EP-G塗り（つや有合成樹脂エマルションペイント塗り）	せっこうボード面 一般面 素地ごしらえ別途		B種	m <sup>2</sup>
EP-G塗り（つや有合成樹脂エマルションペイント塗り）	せっこうボード面 見上げ面 素地ごしらえ別途		B種	m <sup>2</sup>
EP-G塗り（つや有合成樹脂エマルションペイント塗り）	けい酸カルム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 一般面 素地ごしらえ別途		A種	m <sup>2</sup>

表 A15-2 補正市場単価（標仕仕様）

表 A15-3 補正市場単価（標準仕様）

細目	摘要			単位
	下地種類等	塗装種別	作業工程	
素地ごしらえ	木部		A種(屋外)	m <sup>2</sup>
素地ごしらえ	木部 セラックニス		A種(屋内)	m <sup>2</sup>
素地ごしらえ	木部		B種	m <sup>2</sup>
素地ごしらえ	鉄鋼面		B種	m <sup>2</sup>
素地ごしらえ	鉄鋼面		C種	m <sup>2</sup>
素地ごしらえ	モルタル面及びせっこうプラスター面		A種	m <sup>2</sup>
素地ごしらえ	モルタル面及びせっこうプラスチック面（付着物の除去）			m <sup>2</sup>
素地ごしらえ	コンクリート面		A種	m <sup>2</sup>
素地ごしらえ	コンクリート面		B種	m <sup>2</sup>
素地ごしらえ	せっこうボード面及びその他ボード面		A種	m <sup>2</sup>
素地ごしらえ	けい酸カルシウム板面		A種	m <sup>2</sup>
素地ごしらえ	押出成形セメント板面		A種	m <sup>2</sup>

表 A15-4 補正市場単価（改修標準仕様）

細目	摘要			単位
	下地種類等	塗装種別	作業工程	
鋸止め塗り	現場1回 鉄鋼面（屋内外）新規面 (仕様：第5節)	鉛クロム 1種	A種	m <sup>2</sup>
鋸止め塗り	現場1回 鉄鋼面（屋内外）新規面 (仕様：第5節)	鉛クロム 1種	B種	m <sup>2</sup>
鋸止め塗り	現場2回 鉄鋼面（屋内外）塗替え面 (仕様：第5節)	鉛クロム 1種	C種	m <sup>2</sup>
鋸止め塗り	工場1回 鉄鋼面（屋内外）新規面 (仕様：第5節)	鉛クロム 1種	A、B種	m <sup>2</sup>
鋸止め塗り	現場1回 鉄鋼面（屋内）新規面 (仕様：第9節)	鉛クロム 2種	A種	m <sup>2</sup>
鋸止め塗り	現場1回 鉄鋼面（屋内）新規面 (仕様：第9節)	鉛クロム 2種	B種	m <sup>2</sup>
鋸止め塗り	現場2回 鉄鋼面（屋内）塗替え面 (仕様：第9節)	鉛クロム 2種	C種	m <sup>2</sup>
鋸止め塗り	工場1回 鉄鋼面（屋内）新規面 (仕様：第9節)	鉛クロム 2種	A、B種	m <sup>2</sup>

表 A15-5 補正市場単価（改修標仕仕様）

細目	摘要			単位
	下地種類等	塗装種別	作業工程	
SOP塗り（合成樹脂調合ペイント塗り）	木部 下地調整別途	1種	A種	m <sup>2</sup>
SOP塗り（合成樹脂調合ペイント塗り）	木部 下地調整別途	1種	B種	m <sup>2</sup>
SOP塗り（合成樹脂調合ペイント塗り）	木部 下地調整別途	1種	C種	m <sup>2</sup>
SOP塗り（合成樹脂調合ペイント塗り）	鉄鋼面（新規面） 鋸止別途 下地調整別途	1種	A種	m <sup>2</sup>
SOP塗り（合成樹脂調合ペイント塗り）	鉄鋼面（塗替え面） 鋸止別途 下地調整別途	1種	A種	m <sup>2</sup>
SOP塗り（合成樹脂調合ペイント塗り）	鉄鋼面（新規面） 鋸止別途 下地調整別途	1種	B種	m <sup>2</sup>
SOP塗り（合成樹脂調合ペイント塗り）	鉄鋼面（塗替え面） 鋸止別途 下地調整別途	1種	B種	m <sup>2</sup>
SOP塗り（合成樹脂調合ペイント塗り）	鉄鋼面（塗替え面） 鋸止別途 下地調整別途	1種	C種	m <sup>2</sup>
アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り	モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 下地調整別途		A種	m <sup>2</sup>
アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り	モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 下地調整別途		B種	m <sup>2</sup>
CL塗り（クリヤラッカ塗り）	木部 下地調整別途(R4改修標仕仕様)		A種	m <sup>2</sup>
CL塗り（クリヤラッカ塗り）	木部 下地調整別途(R4改修標仕仕様)		B種	m <sup>2</sup>
LE塗り（ラッカーエナメル塗り）	木部 下地調整別途		A種	m <sup>2</sup>
LE塗り（ラッカーエナメル塗り）	木部 下地調整別途		B種	m <sup>2</sup>
OS塗り（オイルステイン塗り）	木部 下地調整RB種共（塗替え面）			m <sup>2</sup>
EP塗り（合成樹脂エマルションペイント塗り）	せっこうボード面 一般面 下地調整別途		A種	m <sup>2</sup>
EP塗り（合成樹脂エマルションペイント塗り）	せっこうボード面 見上げ面 下地調整別途		A種	m <sup>2</sup>
EP塗り（合成樹脂エマルションペイント塗り）	せっこうボード面 一般面 下地調整別途		B種	m <sup>2</sup>
EP塗り（合成樹脂エマルションペイント塗り）	せっこうボード面 見上げ面 下地調整別途		B種	m <sup>2</sup>
EP塗り（合成樹脂エマルションペイント塗り）	せっこうボード面 一般面 下地調整別途		C種	m <sup>2</sup>
EP塗り（合成樹脂エマルションペイント塗り）	せっこうボード面 見上げ面 下地調整別途		C種	m <sup>2</sup>
EP塗り（合成樹脂エマルションペイント塗り）	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 一般面 下地調整別途		A種	m <sup>2</sup>
EP塗り（合成樹脂エマルションペイント塗り）	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 見上げ面 下地調整別途		A種	m <sup>2</sup>
EP塗り（合成樹脂エマルションペイント塗り）	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 一般面 下地調整別途		B種	m <sup>2</sup>
EP塗り（合成樹脂エマルションペイント塗り）	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 見上げ面 下地調整別途		B種	m <sup>2</sup>
EP塗り（合成樹脂エマルションペイント塗り）	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 一般面 下地調整別途		C種	m <sup>2</sup>
EP塗り（合成樹脂エマルションペイント塗り）	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 見上げ面 下地調整別途		C種	m <sup>2</sup>

表 A15-6 補正市場単価（改修標仕仕様）

細目	摘要			単位
	下地種類等	塗装種別	作業工程	
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルションペイント塗り)	せっこうボード面 一般面 下地調整別途		A種	m <sup>2</sup>
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルションペイント塗り)	せっこうボード面 見上げ面 下地調整別途		A種	m <sup>2</sup>
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルションペイント塗り)	せっこうボード面 一般面 下地調整別途		B種	m <sup>2</sup>
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルションペイント塗り)	せっこうボード面 見上げ面 下地調整別途		B種	m <sup>2</sup>
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルションペイント塗り)	せっこうボード面 一般面 下地調整別途		C種	m <sup>2</sup>
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルションペイント塗り)	せっこうボード面 見上げ面 下地調整別途		C種	m <sup>2</sup>
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルションペイント塗り)	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 一般面 下地調整別途		A種	m <sup>2</sup>
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルションペイント塗り)	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 見上げ面 下地調整別途		A種	m <sup>2</sup>
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルションペイント塗り)	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 一般面 下地調整別途		B種	m <sup>2</sup>
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルションペイント塗り)	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 見上げ面 下地調整別途		B種	m <sup>2</sup>
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルションペイント塗り)	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 一般面 下地調整別途		C種	m <sup>2</sup>
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルションペイント塗り)	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 見上げ面 下地調整別途		C種	m <sup>2</sup>
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルションペイント塗り)	屋内木部 下地調整別途		A種	m <sup>2</sup>
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルションペイント塗り)	屋内木部 下地調整別途		B種	m <sup>2</sup>
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルションペイント塗り)	屋内木部 下地調整別途		C種	m <sup>2</sup>
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルションペイント塗り)	屋内鉄鋼面 下地調整別途		A種	m <sup>2</sup>
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルションペイント塗り)	屋内鉄鋼面 下地調整別途		B種	m <sup>2</sup>
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルションペイント塗り)	屋内鉄鋼面 下地調整別途		C種	m <sup>2</sup>
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルションペイント塗り)	屋内亜鉛めっき鋼面 下地調整別途		A種	m <sup>2</sup>
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルションペイント塗り)	屋内亜鉛めっき鋼面 下地調整別途		B種	m <sup>2</sup>

表 A15 - 7 補正市場単価（改修標仕仕様）

細目	摘要			単位
	下地種類等	塗装種別	作業工程	
SOP塗り（合成樹脂調合ペイント塗り）	細幅物糸幅300mm以下（下地RA種 新規面）木部	1種	B種	m
SOP塗り（合成樹脂調合ペイント塗り）	細幅物糸幅300mm以下（下地RB種 塗替え面）木部	1種	B種	m
SOP塗り（合成樹脂調合ペイント塗り）	細幅物糸幅300mm以下（下地RC種 塗替え面）木部	1種	C種	m
EP-G塗り（つや有合成樹脂エマルションペイント塗り）	細幅物糸幅300mm以下（下地RA種 新規面）木部		A種	m
EP-G塗り（つや有合成樹脂エマルションペイント塗り）	細幅物糸幅300mm以下（下地RB種 塗替え面）木部		B種	m
EP-G塗り（つや有合成樹脂エマルションペイント塗り）	細幅物糸幅300mm以下（下地RC種 塗替え面）木部		B種	m
CL塗り（クリヤッカーラッカーペイント塗り）	細幅物糸幅300mm以下（下地RB種 塗替え面）木部 (R4改修標仕仕様)		A種	m
CL塗り（クリヤッカーラッカーペイント塗り）	細幅物糸幅300mm以下（下地RB種 塗替え面）木部 (R4改修標仕仕様)		B種	m
LE塗り（ラッカーエナメル塗り）	細幅物糸幅300mm以下（下地RA種 塗替え面）木部		A種	m
LE塗り（ラッカーエナメル塗り）	細幅物糸幅300mm以下（下地RA種 塗替え面）木部		B種	m
OS塗り（オイルステイン塗り）	細幅物糸幅300mm以下（下地RB種 塗替え面）木部			m

表 A15-8 補正市場単価（改修標仕様）

細目	摘要			単位
	下地種類等	塗装種別	作業工程	
下地調整	木部（塗替え面）		RA種(屋内)	m <sup>2</sup>
下地調整	木部（塗替え面）セラックニス		RA種(屋内)	m <sup>2</sup>
下地調整	木部（塗替え面）		RA種(屋外)	m <sup>2</sup>
下地調整	木部（塗替え面）		RB種	m <sup>2</sup>
下地調整	木部（塗替え面）		RC種	m <sup>2</sup>
下地調整	モルタル面（塗替え面）		RA種	m <sup>2</sup>
下地調整	モルタル面（塗替え面）		RB種	m <sup>2</sup>
下地調整	モルタル面（塗替え面）		RC種	m <sup>2</sup>
下地調整	モルタル面 付着物除去			m <sup>2</sup>
下地調整	コンクリート面（塗替え面）		RA種	m <sup>2</sup>
下地調整	コンクリート面（塗替え面）		RB種	m <sup>2</sup>
下地調整	コンクリート面（塗替え面）		RC種	m <sup>2</sup>
下地調整	押出成形セメント板面（塗替え面）		RA種	m <sup>2</sup>
下地調整	押出成形セメント板面（塗替え面）		RB種	m <sup>2</sup>
下地調整	押出成形セメント板面（塗替え面）		RC種	m <sup>2</sup>

表 A15-9 補正市場単価（改修標仕仕様）

細目	摘要			単位
	下地種類等	塗装種別	作業工程 (塗り回数)	
下地調整	ホート面（塗替え面）		RA種	m <sup>2</sup>
下地調整	ホート面（塗替え面）		RB種	m <sup>2</sup>
下地調整	ホート面（塗替え面）		RC種	m <sup>2</sup>
下地調整	けい酸カルシウム板面（塗替え面）		RA種	m <sup>2</sup>
下地調整	けい酸カルシウム板面（塗替え面）		RB種	m <sup>2</sup>
下地調整	けい酸カルシウム板面（塗替え面）		RC種	m <sup>2</sup>
下地調整	鉄鋼面（塗替え面）		RA種	m <sup>2</sup>
下地調整	鉄鋼面（塗替え面）		RB種	m <sup>2</sup>
下地調整	鉄鋼面（塗替え面）		RC種	m <sup>2</sup>

表 A15 - 10 補正市場単価（改修標仕仕様）

細目	摘要			単位
	下地種類等	塗装種別	作業工程	
素地ごしらえ	木部		A種(屋外)	m <sup>2</sup>
素地ごしらえ	木部 セラックニス		A種(屋内)	m <sup>2</sup>
素地ごしらえ	木部(屋内)		A種	m <sup>2</sup>
素地ごしらえ	木部		B種	m <sup>2</sup>
素地ごしらえ	鉄鋼面		B種	m <sup>2</sup>
素地ごしらえ	鉄鋼面		C種	m <sup>2</sup>
素地ごしらえ	モルタル面及びせっこうプラスター面		A種	m <sup>2</sup>
素地ごしらえ	モルタル面及びせっこうプラスター面 (付着物の除去)			m <sup>2</sup>
素地ごしらえ	コンクリート面		A種	m <sup>2</sup>
素地ごしらえ	コンクリート面		B種	m <sup>2</sup>
素地ごしらえ	せっこうボード面及びその他ボード面		A種	m <sup>2</sup>
素地ごしらえ	せっこうボード面		B種	m <sup>2</sup>
素地ごしらえ	けい酸カルシウム板面		A種	m <sup>2</sup>
素地ごしらえ	けい酸カルシウム板面及びモルタル面		B種	m <sup>2</sup>
素地ごしらえ	押出成形セメント板面		A種	m <sup>2</sup>
素地ごしらえ	押出成形セメント板面		B種	m <sup>2</sup>

## 第16項 内 外 装

### 1 一般事項

細目工種は、単価基準によるほか表A16-1～表16-6による。

### 2 単価、価格等

#### (1) 床仕上げ材張り

完成時の清掃及び樹脂ワックス掛けは直接仮設の整理清掃後片付けに含む。

#### (2) 壁せっこうボード張り

継目処理工法による施工の場合は、突付け工法に対して単価基準 第2編 第1章第18節 表A1-18-8のせっこうボード継目処理の単価を加算する。

#### (3) 壁紙張り

壁紙張りの壁紙の所要量は、無地又はリピートサイズの小さい模様を標準としている。リピートサイズの大きな模様の場合は適宜補正する。

#### (4) 天井壁紙張り

天井壁紙張りの壁紙の所要量は、無地又はリピートサイズの小さい模様を標準としている。リピートサイズの大きな模様の場合は適宜補正する。

表 A16-1 補正市場単価 (内装床材類)

細 目	摘 要	単位	備 考
階段ビニル床シート張り	厚2.0mm 複層ビニル床シート マーブル FS	m <sup>2</sup>	
階段ビニル床シート張り	厚2.5mm 複層ビニル床シート マーブル FS	m <sup>2</sup>	
床ビニル床タイル張り	厚2.0mm コボーションビニル床タイル KT 多湿部	m <sup>2</sup>	
床ビニル床タイル張り	厚2.0mm コボーションビニル床タイル KT 带電防止	m <sup>2</sup>	
ビニル幅木 (ソフト幅木)	H=75mm	m	
ビニル幅木 (ソフト幅木)	H=100mm	m	

表 A16-2 補正市場単価 (内装床材類)

細目	摘要	単位	備考
床ビニル床シート張り	厚2.0mm 複層ビニル床シート マーブル FS 熱溶接工法	m <sup>2</sup>	
床ビニル床シート張り	厚2.0mm 複層ビニル床シート 無地 FS 突付工法	m <sup>2</sup>	
床ビニル床シート張り	厚2.0mm 複層ビニル床シート マーブル FS 突付工法	m <sup>2</sup>	
床ビニル床シート張り	厚2.0mm 複層ビニル床シート 無地 FS 突付工法 帯電防止	m <sup>2</sup>	
床ビニル床シート張り	厚2.0mm 複層ビニル床シート 無地 FS 熱溶接工法 帯電防止	m <sup>2</sup>	
床ビニル床シート張り	厚2.0mm 複層ビニル床シート 無地 FS 突付工法 防滑仕様	m <sup>2</sup>	
床ビニル床シート張り	厚2.0mm 複層ビニル床シート 無地 FS 熱溶接工法 防滑仕様	m <sup>2</sup>	
床ビニル床シート張り	厚2.0mm 複層ビニル床シート 無地 FS 熱溶接工法 多湿部	m <sup>2</sup>	
床ビニル床シート張り	厚2.0mm 複層ビニル床シート マーブル FS 熱溶接工法 多湿部	m <sup>2</sup>	
床ビニル床シート張り	厚2.0mm 複層ビニル床シート 無地 FS 突付工法 多湿部	m <sup>2</sup>	
床ビニル床シート張り	厚2.0mm 複層ビニル床シート マーブル FS 突付工法 多湿部	m <sup>2</sup>	
床ビニル床シート張り	厚2.5mm 複層ビニル床シート マーブル FS 熱溶接工法	m <sup>2</sup>	
床ビニル床シート張り	厚2.5mm 複層ビニル床シート 無地 FS 突付工法	m <sup>2</sup>	
床ビニル床シート張り	厚2.5mm 複層ビニル床シート マーブル FS 突付工法	m <sup>2</sup>	
床ビニル床シート張り	厚2.5mm 複層ビニル床シート 無地 FS 熱溶接工法 多湿部	m <sup>2</sup>	
床ビニル床シート張り	厚2.5mm 複層ビニル床シート マーブル FS 熱溶接工法 多湿部	m <sup>2</sup>	
床ビニル床シート張り	厚2.5mm 複層ビニル床シート 無地 FS 突付工法 多湿部	m <sup>2</sup>	
床ビニル床シート張り	厚2.5mm 複層ビニル床シート マーブル FS 突付工法 多湿部	m <sup>2</sup>	
床ビニル床シート張り	厚2.5mm 複層ビニル床シート 無地 FS 熱溶接工法 帯電防止	m <sup>2</sup>	
床ビニル床シート張り	厚2.5mm 複層ビニル床シート 無地 FS 突付工法 帯電防止	m <sup>2</sup>	
床ビニル床シート張り	厚2.5mm 複層ビニル床シート 柄 FS 熱溶接工法 防滑仕様	m <sup>2</sup>	
床ビニル床シート張り	厚2.5mm 複層ビニル床シート 柄 FS 突付工法 防滑仕様	m <sup>2</sup>	
稻妻ビニル幅木 (ソト幅木)	H=60mm	m	
稻妻ビニル幅木 (ソト幅木)	H=75mm	m	
稻妻ビニル幅木 (ソト幅木)	H=100mm	m	

表 A16-3 補正市場単価（壁せっこうボード張り）

細目	摘要	単位	備考
壁せっこうボード張り	厚9.5mm 準不燃 突付け	m <sup>2</sup>	
壁せっこうボード張り	厚9.5mm 準不燃 突付けV目地	m <sup>2</sup>	
壁せっこうボード張り	厚9.5mm 準不燃 目透かし	m <sup>2</sup>	
壁せっこうボード張り	厚9.5mm 準不燃 繼目処理	m <sup>2</sup>	
壁せっこうボード張り	厚9.5mm 準不燃 下地張り	m <sup>2</sup>	
壁せっこうボード張り	厚9.5mm 準不燃 突付けGL工法	m <sup>2</sup>	
壁せっこうボード張り	厚9.5mm 準不燃 突付けV目地 GL工法	m <sup>2</sup>	
壁せっこうボード張り	厚9.5mm 準不燃 繼目処理 GL工法	m <sup>2</sup>	
壁せっこうボード張り	厚9.5mm 準不燃 下地張り GL工法	m <sup>2</sup>	
壁せっこうボード張り	厚12.5mm 不燃 突付けV目地	m <sup>2</sup>	
壁せっこうボード張り	厚12.5mm 不燃 目透かし	m <sup>2</sup>	
壁せっこうボード張り	厚12.5mm 不燃 繼目処理	m <sup>2</sup>	
壁せっこうボード張り	厚12.5mm 不燃 下地張り	m <sup>2</sup>	
壁せっこうボード張り	厚12.5mm 不燃 突付けV目地 GL工法	m <sup>2</sup>	
壁せっこうボード張り	厚12.5mm 不燃 繼目処理 GL工法	m <sup>2</sup>	
壁せっこうボード張り	厚12.5mm 不燃 下地張り GL工法	m <sup>2</sup>	
壁せっこうボード張り	厚15.0mm 不燃 突付け	m <sup>2</sup>	
壁せっこうボード張り	厚15.0mm 不燃 突付けV目地	m <sup>2</sup>	
壁せっこうボード張り	厚15.0mm 不燃 目透かし	m <sup>2</sup>	
壁せっこうボード張り	厚15.0mm 不燃 繼目処理	m <sup>2</sup>	
壁せっこうボード張り	厚15.0mm 不燃 下地張り	m <sup>2</sup>	
壁せっこうボード張り	厚15.0mm 不燃 突付けGL工法	m <sup>2</sup>	
壁せっこうボード張り	厚15.0mm 不燃 突付けV目地 GL工法	m <sup>2</sup>	
壁せっこうボード張り	厚15.0mm 不燃 下地張り GL工法	m <sup>2</sup>	
壁不燃積層せっこうボード張り	厚9.5mm 不燃 突付け	m <sup>2</sup>	
壁不燃積層せっこうボード張り	厚9.5mm 不燃 突付けV目地	m <sup>2</sup>	
壁不燃積層せっこうボード張り	厚9.5mm 不燃 目透かし	m <sup>2</sup>	
壁不燃積層せっこうボード張り	厚9.5mm 不燃 繼目処理	m <sup>2</sup>	
壁不燃積層せっこうボード張り	厚9.5mm 不燃 下地張り	m <sup>2</sup>	
壁不燃積層せっこうボード張り	厚9.5mm 不燃 突付けGL工法	m <sup>2</sup>	
壁不燃積層せっこうボード張り	厚9.5mm 不燃 突付けV目地 GL工法	m <sup>2</sup>	
壁不燃積層せっこうボード張り	厚9.5mm 不燃 繼目処理 GL工法	m <sup>2</sup>	
壁不燃積層せっこうボード張り	厚9.5mm 不燃 下地張り GL工法	m <sup>2</sup>	
壁シージングせっこうボード張り	厚9.5mm 準不燃 突付け	m <sup>2</sup>	
壁シージングせっこうボード張り	厚9.5mm 準不燃 突付けV目地	m <sup>2</sup>	

細目	摘要	単位	備考
壁 シジングせっこうボード張り	厚9.5mm 準不燃 目透かし	m <sup>2</sup>	
壁 シジングせっこうボード張り	厚9.5mm 準不燃 繼目処理	m <sup>2</sup>	
壁 シジングせっこうボード張り	厚9.5mm 準不燃 下地張り	m <sup>2</sup>	
壁 シジングせっこうボード張り	厚9.5mm 準不燃 突付け GL工法	m <sup>2</sup>	
壁 シジングせっこうボード張り	厚9.5mm 準不燃 突付けV目地 GL工法	m <sup>2</sup>	
壁 シジングせっこうボード張り	厚9.5mm 準不燃 繼目処理 GL工法	m <sup>2</sup>	
壁 シジングせっこうボード張り	厚9.5mm 準不燃 下地張り GL工法	m <sup>2</sup>	
壁 シジングせっこうボード張り	厚12.5mm 不燃 突付け	m <sup>2</sup>	
壁 シジングせっこうボード張り	厚12.5mm 不燃 突付けV目地	m <sup>2</sup>	
壁 シジングせっこうボード張り	厚12.5mm 不燃 目透かし	m <sup>2</sup>	
壁 シジングせっこうボード張り	厚12.5mm 不燃 繼目処理	m <sup>2</sup>	
壁 シジングせっこうボード張り	厚12.5mm 不燃 下地張り	m <sup>2</sup>	
壁 シジングせっこうボード張り	厚12.5mm 不燃 下地張り GL工法	m <sup>2</sup>	
壁 強化せっこうボード張り	厚15.0mm 不燃 突付け	m <sup>2</sup>	
壁 強化せっこうボード張り	厚15.0mm 不燃 繼目処理	m <sup>2</sup>	
壁 強化せっこうボード張り	厚15.0mm 不燃 下地張り	m <sup>2</sup>	
壁 強化せっこうボード張り	厚21.0mm 不燃 突付け	m <sup>2</sup>	
壁 強化せっこうボード張り	厚21.0mm 不燃 繼目処理	m <sup>2</sup>	
壁 強化せっこうボード張り	厚21.0mm 不燃 下地張り	m <sup>2</sup>	
壁 吸音用穴あきせっこうボード張り	厚9.5mm 準不燃(不燃紙裏打ち) 突付け 穴φ6-22	m <sup>2</sup>	
壁 せっこうラスボート張り	厚9.5mm 下地張り	m <sup>2</sup>	

表 A16-4 補正市場単価(壁けい酸カルシウム板張り)

細目	摘要	単位	備考
壁 けい酸カルシウム板張り	厚5.0mm 不燃 突付け (タイプ2, 無石綿, 0.8FK)	m <sup>2</sup>	
壁 けい酸カルシウム板張り	厚5.0mm 不燃 目透かし (タイプ2, 無石綿, 0.8FK)	m <sup>2</sup>	
壁 けい酸カルシウム板張り	厚5.0mm 不燃 下地張り (タイプ2, 無石綿, 0.8FK)	m <sup>2</sup>	
壁 けい酸カルシウム板張り	厚6.0mm 不燃 突付け (タイプ2, 無石綿, 0.8FK)	m <sup>2</sup>	
壁 けい酸カルシウム板張り	厚6.0mm 不燃 目透かし (タイプ2, 無石綿, 0.8FK)	m <sup>2</sup>	
壁 けい酸カルシウム板張り	厚6.0mm 不燃 下地張り (タイプ2, 無石綿, 0.8FK)	m <sup>2</sup>	
壁 けい酸カルシウム板張り	厚8.0mm 不燃 下地張り (タイプ2, 無石綿, 0.8FK)	m <sup>2</sup>	
壁 けい酸カルシウム板張り	厚10.0mm 不燃 突付け (タイプ2, 無石綿, 0.8FK)	m <sup>2</sup>	
壁 けい酸カルシウム板張り	厚10.0mm 不燃 目透かし (タイプ2, 無石綿, 0.8FK)	m <sup>2</sup>	
壁 けい酸カルシウム板張り	厚10.0mm 不燃 下地張り (タイプ2, 無石綿, 0.8FK)	m <sup>2</sup>	
壁 けい酸カルシウム板張り	厚12.0mm 不燃 突付け (タイプ2, 無石綿, 0.8FK)	m <sup>2</sup>	
壁 けい酸カルシウム板張り	厚12.0mm 不燃 目透かし (タイプ2, 無石綿, 0.8FK)	m <sup>2</sup>	
壁 けい酸カルシウム板張り	厚12.0mm 不燃 下地張り (タイプ2, 無石綿, 0.8FK)	m <sup>2</sup>	

表 A16-5 補正市場単価（天井せっこうボード張り）

細目	摘要	単位	備考
天井せっこうボード張り	厚9.5mm 準不燃 突付け	m <sup>2</sup>	
天井せっこうボード張り	厚9.5mm 準不燃 目透かし	m <sup>2</sup>	
天井せっこうボード張り	厚9.5mm 準不燃 繼目処理	m <sup>2</sup>	
天井せっこうボード張り	厚9.5mm 準不燃 下地張り	m <sup>2</sup>	
天井せっこうボード張り	厚12.5mm 不燃 突付け	m <sup>2</sup>	
天井せっこうボード張り	厚12.5mm 不燃 目透かし	m <sup>2</sup>	
天井せっこうボード張り	厚12.5mm 不燃 繼目処理	m <sup>2</sup>	
天井せっこうボード張り	厚12.5mm 不燃 下地張り	m <sup>2</sup>	
天井不燃積層せっこうボード張り	厚9.5mm 不燃 目透かし	m <sup>2</sup>	
天井不燃積層せっこうボード張り	厚9.5mm 不燃 繼目処理	m <sup>2</sup>	
天井不燃積層せっこうボード張り	厚9.5mm 不燃 下地張り	m <sup>2</sup>	
天井吸音用穴あきせっこうボード張り	厚9.5mm 準不燃（不燃紙裏打ち）突付け 穴Φ6-22	m <sup>2</sup>	
天井化粧せっこうボード張り	厚9.5mm 準不燃 突付け	m <sup>2</sup>	
天井化粧せっこうボード張り	厚9.5mm 準不燃 目透かし	m <sup>2</sup>	
天井化粧せっこうボード張り	厚9.5mm 準不燃 繼目処理	m <sup>2</sup>	
天井化粧せっこうボード張り	厚9.5mm 準不燃 下地張り	m <sup>2</sup>	
天井化粧せっこうボード張り	厚12.5mm 不燃 突付け	m <sup>2</sup>	
天井化粧せっこうボード張り	厚12.5mm 不燃 目透かし	m <sup>2</sup>	
天井化粧せっこうボード張り	厚12.5mm 不燃 繼目処理	m <sup>2</sup>	
天井化粧せっこうボード張り	厚12.5mm 不燃 下地張り	m <sup>2</sup>	
天井化粧せっこうボード張り	厚9.5mm 準不燃 突付け トライアン	m <sup>2</sup>	

表 A16-6 補正市場単価（天井ボード張り）

細目	摘要	単位	備考
天井 けい酸カルシウム板張り	厚5.0mm 不燃 突付け (タイプ2, 無石綿, 0.8FK)	m <sup>2</sup>	
天井 けい酸カルシウム板張り	厚5.0mm 不燃 目透かし (タイプ2, 無石綿, 0.8FK)	m <sup>2</sup>	
天井 けい酸カルシウム板張り	厚5.0mm 不燃 下地張り (タイプ2, 無石綿, 0.8FK)	m <sup>2</sup>	
天井 けい酸カルシウム板張り	厚6.0mm 不燃 下地張り (タイプ2, 無石綿, 0.8FK)	m <sup>2</sup>	
天井 けい酸カルシウム板張り	厚8.0mm 不燃 突付け (タイプ2, 無石綿, 0.8FK)	m <sup>2</sup>	
天井 けい酸カルシウム板張り	厚8.0mm 不燃 目透かし (タイプ2, 無石綿, 0.8FK)	m <sup>2</sup>	
天井 けい酸カルシウム板張り	厚8.0mm 不燃 下地張り (タイプ2, 無石綿, 0.8FK)	m <sup>2</sup>	
天井 けい酸カルシウム板張り	厚10.0mm 不燃 突付け (タイプ2, 無石綿, 0.8FK)	m <sup>2</sup>	
天井 けい酸カルシウム板張り	厚10.0mm 不燃 目透かし (タイプ2, 無石綿, 0.8FK)	m <sup>2</sup>	
天井 けい酸カルシウム板張り	厚10.0mm 不燃 下地張り (タイプ2, 無石綿, 0.8FK)	m <sup>2</sup>	
天井 けい酸カルシウム板張り	厚12.0mm 不燃 突付け (タイプ2, 無石綿, 0.8FK)	m <sup>2</sup>	
天井 けい酸カルシウム板張り	厚12.0mm 不燃 目透かし (タイプ2, 無石綿, 0.8FK)	m <sup>2</sup>	
天井 けい酸カルシウム板張り	厚12.0mm 不燃 下地張り (タイプ2, 無石綿, 0.8FK)	m <sup>2</sup>	
天井 ロックウール吸音板張り(内部用)	厚9.0mm 不燃 ブラットタイプ 下地せっこうボード厚12.5mm共	m <sup>2</sup>	
天井 ロックウール吸音板張り(内部用)	厚12.0mm 不燃 ブラットタイプ 下地不燃積層せっこうボード厚9.5mm共	m <sup>2</sup>	
天井 ロックウール吸音板張り(内部用)	厚12.0mm 不燃 ブラットタイプ 下地せっこうボード厚12.5mm共	m <sup>2</sup>	
天井 ロックウール吸音板張り(内部用)	厚9.0mm 不燃 ブラットタイプ 軽鉄直貼り	m <sup>2</sup>	
天井 ロックウール吸音板張り(内部用)	厚12.0mm 不燃 ブラットタイプ 軽鉄直貼り	m <sup>2</sup>	
天井 ロックウール吸音板張り(外部用)	厚9.0mm 不燃 ブラットタイプ 下地シーリングせっこうボード厚12.5mm共	m <sup>2</sup>	
天井 ロックウール吸音板張り(外部用)	厚12.0mm 不燃 ブラットタイプ 下地シーリングせっこうボード厚12.5mm共	m <sup>2</sup>	
天井 ロックウール吸音板張り(内部用)	厚12.0mm 不燃 凹凸タイプ 下地せっこうボード厚12.5mm共	m <sup>2</sup>	
天井 ロックウール吸音板張り(内部用)	厚15.0mm 不燃 凹凸タイプ 下地不燃積層せっこうボード厚9.5mm共	m <sup>2</sup>	
天井 ロックウール吸音板張り(内部用)	厚15.0mm 不燃 凹凸タイプ 下地せっこうボード厚12.5mm共	m <sup>2</sup>	
天井 ロックウール吸音板張り(内部用)	厚19.0mm 不燃 凹凸タイプ 下地不燃積層せっこうボード厚9.5mm共	m <sup>2</sup>	
天井 ロックウール吸音板張り(内部用)	厚19.0mm 不燃 凹凸タイプ 下地せっこうボード厚12.5mm共	m <sup>2</sup>	
天井 ロックウール吸音板張り(外部用)	厚12.0mm 不燃 凹凸タイプ 下地シーリングせっこうボード厚12.5mm共	m <sup>2</sup>	
天井 ロックウール吸音板張り(外部用)	厚15.0mm 不燃 凹凸タイプ 下地シーリングせっこうボード厚12.5mm共	m <sup>2</sup>	

## 第 17 項 仕上ユニット

### 1 単価、価格等

#### (1) 床目地棒

単価基準 第2編第1章第19節 表A1-19-1は、建築工事標準詳細  
図4-31-2（目地棒）に対応している。

#### (2) 室名札

単価基準 第2編第1章第19節 表A1-19-3は、建築工事標準詳細  
図8-43-1（室名札（平付け型））に対応している。

#### (3) 廚房器具

単価基準 第2編第1章第19節 表A1-19-4は、建築工事標準詳細  
図6-11-1（湯沸室器具配置）に対応している。

## 第 18 項 排水

### 1 一般事項

建物周囲の構内通路、前庭まわり、駐車場、歩道等の排水工事に適用する。

### 2 単価、価格等

#### 排水工事

- イ. 縁石及びL形側溝は、参考歩掛り 表RA-20-1 及び表RA-20-2 による。また、歩掛りには土工事及び建設発生土処理（敷き均し）を含む。
- ロ. U形側溝の協議会歩掛りを参考にする場合は、歩掛りに蓋は含まれていないため、別途加算する。また、歩掛りには土工事及び建設発生土処理（敷き均し）を含む。

## 第19項 構内舗装

### 1 一般事項

建物周囲の構内通路、前庭まわり、駐車場、歩道等の1施工区画の面積が2,500m<sup>2</sup>未満の場合に適用する。

### 2 単価、価格等

#### (1) アスファルト舗装

単価は1区画の施工規模とする。(舗装部分が建物等によって分離している場合や縁石等によって区分されている場合は、それぞれ1区画の施工規模とする。)

なお、幅の狭い歩道等で人力施工となる場合は、「特に狭い場所」を適用する。

#### (2) 舗装機械運搬

機械の機種の組合せは、表A19-1による。

表 A19-1

施工規模別舗装機械運搬組合せ

機械名	規格	施工規模			
		特に狭い場所	500m <sup>2</sup> 未満	500m <sup>2</sup> 以上 1,000m <sup>2</sup> 未満	1,000m <sup>2</sup> 以上 2,500m <sup>2</sup> 未満
モータグレーダ	油圧式3.1m級		○	○	○
振動ローラ	2.4~2.8t	○	○	○	○
タイヤローラ	8~20t			○	○
ロートローラ	マガム10t			○	○
アスファルトフィニッシャ	2.0~4.5m		○	○	○

## 第 20 項 植 栽

### 1 一般事項

- (1) 建築工事における構内植栽工事に適用する。また、屋上緑化に関しては植栽工事と区別して計上する。
- (2) 屋上緑化のうち「屋上緑化システム」の樹木費、植付け及び支柱に関する費用は、単価基準により計上する。
- (3) 屋上緑化のうち「屋上緑化軽量システム」に関しては、樹木費を含めたユニットとして計上する。

### 2 単価、価格等

#### (1) 樹木費

物価資料の掲載価格を使用する場合の新植樹木の枯補償費等は、単価基準 第1編3 表3-1-1 (注) 2による。

#### (2) 植付け

単価基準 第2編第1章第22節による植付けには、植穴堀り、植付け、埋戻し及び養生までを含む。

## 第2節 改修工事

### 第1項 仮設（改修）

#### 1 一般事項

- (1) 仮設は、設計図書等に基づき工事内容や施工条件を確認し適切に算出する。  
なお、設計変更に伴う工事費の変更は、設計図書により記載内容が変更された場合とする。
- (2) 施工条件が明示された場合は、その内容により算出する。
- (3) 外部足場は、設計図書による。

#### 2 単価、価格等

- (1) 養生・整理清掃後片付け
  - 塗装塗り替え程度は、単価基準のほかに既存仕上げ材（モルタルやボード等）を撤去せずに塗装材の改修をする場合も適用する。
- (2) 外部足場
  - イ. 外壁改修等で枠組本足場を使用する場合には、単価基準 第2編第1章第1節による。
  - ロ. 枠組本足場の設置の標準は、表A 2 0-1を参考に選定する。
  - ハ. 枠組本足場の設計供用日数は、施工条件明示により算定する。
- (3) 内部仕上足場
  - 内部仕上足場は、「脚立足場 階高4.0m以下」を標準とする。ただし、階高が高い（階高4.0m超）部位の改修等の場合は、単価基準 第2編第1章第1節による。
- (4) 災害防止
  - イ. 外部足場に、災害防止が必要な場合は単価基準 第2編第1章第1節による。
  - ロ. 災害防止の設計供用日数は、施工条件明示により算定する。

表 A 20 - 1

## 枠組本足場の設置の標準

建柱寸法	板付布柱	規模・仕上げ
1200柱	500布柱×2枚	外部改修（タイル、モルタルはつり補修程度）（3階建て以上）
900柱	500+240布柱	外壁改修（吹付け、ピンニング程度）（3階建て以上）
		外部改修（タイル、モルタルはつり補修程度）（2階建て以下）
600柱	500布柱×1枚	外壁改修（吹付け、ピンニング程度）（2階建て以下） 防水改修等で昇降用に設置する足場

（注）1. 階高は、4 m程度とする。

2. 建柱及び板付布柱の寸法単位は、mmとする。

## 第 2 項 撤去

### 1 一般事項

建設発生材の有価物を管理者へ引き渡す場合は、場内集積までを計上する。

### 2 単価、価格等

#### (1) コンクリート撤去

- イ. 既存との取り合い部におけるカッター入れの有無に留意する。
- ロ. 施工条件によっては、人力も考慮する。
- ハ. 防水押えコンクリート撤去の場合は、撤去後の下地に付着しているコンクリート残存物等のケレン及び清掃を含む。

#### (2) れんが撤去

- イ. コンクリートブレーカによる撤去を標準とする。既存との取り合い部におけるカッター入れの有無に留意する。
- ロ. 施工条件によっては、人力も考慮する。

#### (3) C B 撤去

- イ. コンクリートブレーカによる撤去を標準とする。既存との取り合い部におけるカッター入れの有無に留意する。
- ロ. 施工条件によっては、人力も考慮する。

#### (4) 金属製建具撤去

- イ. 建具周囲のはつり及びカッター入れの計上に留意する。
- ロ. 単価基準 第2編第2章第2節 表A 2-2-37には、建具周囲はつり及びカッター入れは含まれていない。

#### (5) ガラス撤去

単価基準 第2編第2章第2節 表A 2-2-39には、ガラス廻りシーリングの撤去を含む。

#### (6) 天井合板・ボード撤去

せっこうボードと他のボードを分けて撤去する場合は、1重張りを2回計上する。

#### (7) 既存防水層撤去

単価基準 第2編第2章第2節 表A 2-2-45は、既存防水層撤去後の下地に付着している防水層残存物等のケレン及び清掃を含む。

#### (8) 空気圧縮機運搬

単価基準 第2編第2章第2節の撤去に空気圧縮機が必要な場合は、運搬費が含まれていないので、空気圧縮機運搬を計上する。

(9) 建設発生材運搬

運搬経路におけるDID区間の有無は、設計図書に明記された処分先の確認  
又は設計担当者との協議により判断し計上する。

(10) 建設発生材処分

建設発生材処分は、建設資材等価格実態調査によるものとするが、これによ  
り難い場合は、産業廃棄物処理業者の見積価格等を参考とすることができます。

### 第 3 項 防水改修

#### 1 単価、価格等

##### (1) 防水層の新設

単価基準 第2編第1章第9節によるほか、第4編第2章第1節第9項による。

##### (2) 防水保護層新設

コンクリート打設は、単価基準 第2編第1章第5節によるほか、第4編第2章第1節第5項による。

## 第4項 外壁改修

### 1 単価、価格等

#### (1) 施工数量調査

調査内容は、足場等を使い壁面の直近で行う目視及び打診調査をいい、その報告書の作成を含む。

#### (2) 既存塗膜除去

既存塗膜除去は、単価基準 第2編第2章第2節 表A2-2-44による。

#### (3) 各種外装材新設

タイル及び下地材については単価基準 第2編第1章第8節から第15節及び第17節から第19節によるほか、第4編第2章第1節第12項、第13項及び第15項、第16項による。

## 第5項 建具改修

### 1 単価、価格等

#### (1) 木製建具、金属製建具及びガラス

単価基準 第2編第1章第16節によるほか、第4編第2章第1節第14項による。

#### (2) 建具廻りシーリング

単価基準 第2編第1章第9節によるほか、第4編第2章第1節第9項による。

## 第6項 内装改修

### 1 単価、価格等

各種ボード及び下地材の新設については単価基準 第2編第1章第8節から第15節及び第17節から第19節によるほか、第4編第2章第1節第12項、第13項及び第15項、第16項による。

## 第7項 塗装改修

### 1 単価、価格等

#### (1) 既存塗膜除去

既存塗膜除去は、単価基準 第2編第2章第2節 表A2-2-44による。

#### (2) 下地調整

下地調整は、第4編第2章第1節第15項 表A15-8及び表A15-9による。

なお、既存塗膜除去したとの下地調整の単価である。

#### (3) 素地ごしらえ

素地ごしらえは、第4編第2章第1節第15項 表A15-10による。

#### (4) 鑄止め塗装

鑄止め塗装は、第4編第2章第1節第15項 表A15-4による。

#### (5) 仕上げ塗料塗り

イ. 仕上げ塗料塗りは、第4編第2章第1節第15項 表A15-5～表15-7による。

ロ. 単価基準及び本資料に定めのない細幅物（糸幅300mm以下）の単価を作成する際は、 $m^2$ 単価に「0.4（係数）」を乗じて算定する。

## 第8項 耐震改修

### 1 一般事項

細目工種は、表A21-1及び表A21-2による。

### 2 単価、価格等

#### (1) 鉄筋工事

第4編第2章第1節第4項による。ただし、鉄筋加工組立の細目工種は、耐震改修で使用する場合に標準的な鉄筋と構成比が異なるため本項による。

なお、鉄筋運搬用トラックの規格は4t車を標準とする。

#### (2) コンクリート工事

第4編第2章第1節第5項による。

#### (3) 型枠工事

イ. 型枠の細目工種は、耐震改修で使用する場合に標準的な型枠と構成比が異なるため本項による。

ロ. 型枠運搬の細目工種は、第4編第2章第1節第6項による。

#### (4) 鉄骨工事

第4編第2章第1節第7項による。

表A21-1 補正単位施工単価

細目	摘要	単位	備考
鉄筋加工組立	耐震改修用	t	

表A21-2 補正単位施工単価

細目	摘要	単位	備考
普通合板型枠	壁式構造 基礎部	m <sup>2</sup>	
普通合板型枠	耐震改修用 地下軸部	m <sup>2</sup>	
普通合板型枠	耐震改修用 地上軸部	m <sup>2</sup>	
打放し合板型枠	耐震改修用 地下軸部 A種	m <sup>2</sup>	
打放し合板型枠	耐震改修用 地下軸部 B種	m <sup>2</sup>	
打放し合板型枠	耐震改修用 地下軸部 C種	m <sup>2</sup>	
打放し合板型枠	耐震改修用 地上軸部 A種	m <sup>2</sup>	
打放し合板型枠	耐震改修用 地上軸部 B種	m <sup>2</sup>	
打放し合板型枠	耐震改修用 地上軸部 C種	m <sup>2</sup>	

## 第 9 項 環境配慮改修

### 1 単価、価格等

屋上緑化については、第4編第2章第1節第20項による。

## 第3章 電気設備工事

### 第1節 新設工事

#### 第1項 共通工事

##### 1 一般事項

補正市場単価は、第4編第1章5により算出し、その算定式は附表E1～附表E25による。

##### 2 単価、価格等

###### (1) 配管工事

- イ. 配管工事の細目工種は、単価基準によるほか表E1—1による。
- ロ. 複合単価、市場単価及び補正市場単価は、作業上の切り無駄、支持材、消耗品、附属品、雑材料、配管等の施工上の迂回等を含む。
- ハ. ボンディングは電力用の場合に計上し、鋼製電線管、金属製位置ボックス（金属管用露出を除く。）及び金属製可とう電線管（接地線を使用しない場合。）に適用する。
- ニ. 耐震支持など特別な支持を行う場合は、支持材を加算する。
- ホ. BS形ケーブルラック（立上り配線専用両面形）の所要量は、割増しを行わない。
- ヘ. 1種金属線びの附属品及びボックス類は、別途計上する。
- ト. 金属ダクトのつり金具等の支持材は、別途計上する。
- チ. 電力用ブルボックスは、ブルボックス用接地端子を計上する。
- リ. 位置ボックスは、代表的なボックスに置換えて計上する。

###### (2) 配線工事

- イ. 配線工事の細目工種は、単価基準によるほか表E1—2による。
- ロ. 複合単価、市場単価及び補正市場単価は、作業上の切り無駄、支持材、消耗品、雑材料、電線等の施工上の迂回等を含む。
- ハ. 金属線びに収容する配線工事の所要量は、各細目工種の管内配線を適用する。
- ニ. 長さ1m以上の通線を行わない配管には、導入線を計上する。
- ホ. 波付硬質合成樹脂管及び線び類については、導入線を計上しない。
- ヘ. 600Vポリエチレンケーブルで、デュプレックス形は2C、トリプレックス形は3C、カドラプレックス形は4Cの所要量を適用する。
- ト. 光ファイバケーブル敷設のためのクロージャー及び成端箱の材料費並びに施工費は、別途計上する。
- チ. 光ファイバケーブル及びLAN用ケーブル（UTP）の端部にコネクタ・プラグユニッ

ト等を現場で取付ける必要がある場合は、別途計上する。

リ. 着色識別ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル（EM-FCPEE）の1P～3Pの歩掛りは、単価基準 第3編第1章第1節 表E1-1-14の2C～6Cの所要量を準用する。

ヌ. 同軸ケーブルの端部にF型接栓等を現場で取付ける必要がある場合は、別途計上する。

ル. ライティングダクトの支持材料及び附属品は、別途計上する。

### （3）接地工事

電柱及び屋外灯の場合並びにマンホール及びハンドホールの接地極は、単価基準 第3編第1章第2節 表E1-2-41 接地抵抗測定を計上し、接地極埋設標は計上しない。

### （4）塗装工事

外灯用ポール等を現地塗装する場合は、特記のある場合のみ計上する。

### （5）機器搬入

イ. 搬入機器の質量及び容積は、原則として図面特記又は機器見積りを参考とし算定する。  
ロ. 分割搬入する機器は、分割時の各部材を単体機器とし、質量及び容積を算定する。

### （6）土工事等

イ. 土工及び舗装等において建設機械を使用する場合は、当該機械の運搬費を参考歩掛り別表RA-2-39-1により計上する。  
ロ. 根切り及び埋戻しは、施工範囲の状態（規模や狭隘）を考慮して算出する。

### （7）コンクリート工事

キュービクル等の機器用基礎は、単価基準 第4編第1章第1節による。

### （8）現場打ちマンホール・ハンドホール

現場打ちマンホール及びハンドホール等の単価の作成については、土工事は単価基準 第4編第1章第1節の表M1-1-71、土工機械運転は単価基準 第4編第1章第1節の表M1-1-73、ハンドホール等は単価基準 第4編第1章第4節 棚類により算出する。

表 E1-1 補正市場単価 【配管工事】

細 目	摘 要	単位	備考
ケーブルラック	トレー形 ZT 200～600 (1段目及び2段積の2段目)	m	
ケーブルラック	はしご形 ZM 400～1000BS	m	
ケーブルラック	はしご形 ZM 200～1000A、400～1000B 支持材別途 (共同溝内敷設)	m	
ケーブルラック	はしご形 ZA 200～1000A、400～1000B 支持材別途 (共同溝内敷設)	m	
ケーブルラック	はしご形 AL 200～1000A、400～1000B 支持材別途 (共同溝内敷設)	m	

表 E1-2 補正市場単価 【配線工事】

細目	摘要	単位	備考
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 1.0～1.2mm、2.6mm	m	
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 2～3.5mm <sup>2</sup> 、150～325mm <sup>2</sup>	m	
600V絶縁電線	600V二種ビニル絶縁電線 (HIV) 管内配線 1.2～325mm <sup>2</sup>	m	
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) PF及びCD管内配線 1.0～325mm <sup>2</sup>	m	
600V絶縁電線	600V二種ビニル絶縁電線 (HIV) PF及びCD管内配線 1.2～325mm <sup>2</sup>	m	
600V絶縁ケーブル	600Vポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル (EM-EEF) ころがし配線 2.6mm-2C・3C	m	
600V絶縁ケーブル	600Vポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル (EM-EEF) 木造部分にサドル止め又はステープル止め 1.6～2.6mm-2C・3C	m	
600V絶縁ケーブル	600Vポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル (EM-EEF) コンクリート部分にサドル止め (カーブ <sup>°</sup> ラグ <sup>°</sup> 含む) 1.6～2.6mm-2C・3C	m	
600V絶縁ケーブル	600Vポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル (EM-EEF) ケーブルラック内配線 1.6～2.6mm-2C・3C	m	
600V絶縁ケーブル	600Vポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル (EM-EEF) 管内配線 1.6～2.6mm-2C・3C	m	
600V絶縁ケーブル	600Vポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル (EM-EEF) PF及びCD管内配線 1.6～2.6mm-2C・3C	m	
アース線付600V絶縁ケーブル	アース線付600Vポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル (EM-EEFG) ころがし配線 2.0～2.6mm-2C+1.6mm-1C	m	
アース線付600V絶縁ケーブル	アース線付600Vポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル (EM-EEFG) 木造部分にサドル止め又はステープル止め 2.0～2.6mm-2C+1.6mm-1C	m	
アース線付600V絶縁ケーブル	アース線付600Vポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル (EM-EEFG) コンクリート部分にサドル止め (カーブ <sup>°</sup> ラグ <sup>°</sup> 含む) 2.0～2.6mm-2C+1.6mm-1C	m	
アース線付600V絶縁ケーブル	アース線付600Vポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル (EM-EEFG) ケーブルラック内配線 2.0～2.6mm-2C+1.6mm-1C	m	
アース線付600V絶縁ケーブル	アース線付600Vポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル (EM-EEFG) 管内配線 2.0～2.6mm-2C+1.6mm-1C	m	
アース線付600V絶縁ケーブル	アース線付600Vポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル (EM-EEFG) PF及びCD管内配線 2.0～2.6mm-2C+1.6mm-1C	m	

## 第2項 電力設備工事

### 1 単価、価格等

#### (1) 電灯設備

- イ. 耐熱形分電盤は、単価基準 第3編第1章第2節 表E 1-2-15を適用する。
- ロ. OA盤は、単価基準 第3編第1章第2節 表E 1-2-15で算出した人員を、修正表を用いて算定した適用人員と、単価基準 第3編第1章第3節 表E 1-3-1で算出した労務の所要量を加算する。
- ハ. 分電盤等の予備回路及び予備スペースに対する労務の所要量は、当該労務の所要量の50%とする。
- ニ. リモコンリレー、ターミナルユニット等を壁面及び天井内に取付ける場合は、単価基準 第3編第1章第2節 表E 1-2-4を適用し、分電盤等に組込む場合は、単価基準第3編第1章第2節 表E 1-2-16を適用する。
- ホ. 直管形LED照明器具は参考歩掛り 第3編第2節 表RE 2-8、電球形LED照明器具は、単価基準 第3編第1章第2節 表E 1-2-7及び表E 1-2-8を適用する。
- ヘ. 防爆器具及びクリーンルーム用器具は、労務の所要量の割増しを考慮する。

#### (2) 動力設備

- イ. 制御盤に単位装置がない回路は、単価基準 第3編第1章第2節 表E 1-2-15の労務の所要量を適用する。
- ロ. 負荷が接続されない回路（警報用・操作用含む。）に対する労務の所要量は、当該労務の所要量の50%とする。
- ハ. 警報盤は、単価基準 第3編第1章第3節 表E 1-3-7を適用する。

#### (3) 受変電設備

- イ. スコット変圧器は、三相変圧器の労務の所要量を適用する。
- ロ. 前面保守形配電盤（薄形）は、単価基準 第3編第1章第2節 表E 1-2-21の労務の所要量を補正して適用する。  
なお、受配電盤及びコンデンサ盤は、普通作業員の70%、低圧盤及び変圧器盤は、電工及び普通作業員の50%を労務の所要量とする。
- ハ. 油入変圧器500kVA以上、モールド変圧器150kVA以上の場合は、ダイヤル温度計を加算する。また、必要に応じて移動車輪及び防振ゴムを加算する。
- ニ. 高圧コンデンサの労務の所要量は、放電コイルが附属している場合も適用する。
- ホ. 高圧機器は1個の労務の所要量を示すので、計器用変流器（CT）など2個1組の場合は歩掛りを2倍する。

(4) 地中線路

掘削、埋戻し及び埋設シートは、別途計上する。

## 第3項 通信・情報設備工事

### 1 単価、価格等

#### (1) 構内交換設備

集合保安器箱に保安器本体を取付ける場合は、別途計上する。

#### (2) 情報表示・拡声設備

アナログ子時計及びデジタル子時計が天井つり下げ形又はブラケット形の場合は、壁掛け形の所要量を適用する。

#### (3) 誘導支援設備

イ. トイレ呼出表示器及びトイレ呼出ボタンは、単価基準 第3編第1章第3節 表E 1-3-7を適用する。

ロ. テレビインターホン子機は、インターホン子機の所要量を適用する。

#### (4) 火災報知設備

防火シャッター、防煙ダンパー、防煙たれ壁、排煙口等への接続は、結線費を計上する。

#### (5) テレビ電波障害防除設備

対象戸数及び地域の電波状況に応じた方式であることを確認し、施工条件を明示した見積書の価格を参考に、機器・材料単価、据付費、試験調整費等の工事費を算定する。

なお、工事期間中に仮設アンテナを使用する方式にあっては、別途計上する。

## 第2節 改修工事

### 第1項 共通工事（改修）

#### 1 単価、価格等

##### （1）単価の適用

外構関連（架空線路、地中線路、接地工事）及び撤去に関しては改修工事の分類に関係なく原則として割増しを行わない。

##### （2）仮設

高所作業の足場、仮設間仕切り、養生及び清掃が図面特記されている場合は、その費用を計上する。

##### （3）調査

非破壊検査、絶縁油分析調査、既設配管・配線等の敷設状況の現況調査が図面特記されている場合は、その費用を計上する。

##### （4）配線工事

配線引抜き後、空配管となった場合は、図面特記により導入線を計上する。

##### （5）結線

イ. 分電盤・制御盤等の既存ブレーカに電線及びケーブルを接続する場合は、結線費を計上する。

なお、結線費は単価基準 第3編第1章第2節 表E 1-2-15の労務の所要量の50%とする。

ロ. 通信機器等の既存端子に電線及びケーブルを接続する場合は、結線費を計上する。

ハ. スイッチ等の既存機器に光ファイバケーブル及びLAN用ケーブル（UTP）を接続する場合は、コネクタ・プラグユニット等を計上する。

二. 分配器等の既存機器に同軸ケーブルを接続する場合は、F型接栓を計上する。

##### （6）取外し再取付け

イ. 取外し再取付けの労務の所要量は、取外し品を破損することなく再使用できる状態を保って丁寧に取外すものであり、取外し品の簡単な清掃も含まれている。

ロ. 主要機器の取外し再取付けを行う際に、全体的なシステム調整を要する場合は、総合試験調整費を別途計上する。

## (7) 仮設備

イ. 停電、設備システムの機能停止等が困難な場合に、既存の設備機能等を維持させるための設備が必要な場合は、図面特記により仮設備を計上する。

ロ. 仮設備に使用する仮設材費の単価については、「単価基準 第1編 2 単価及び価格の算定 (2) 複合単価 二. 仮設材費」に『仮設材費は、物価資料の掲載価格等による賃料又は材料の基礎価格に損料率を乗じて算定する。』と規定されており、原則として損料率を算出して仮設材費を適切に算定し、労務費を計上する。

ハ. 短期間（3ヶ月程度）で同一業者が撤去する場合には、新品の材料で施工するとは限らないため、配管、ボックス類、幹線ケーブル等の複合単価、市場単価及び補正市場単価を70%\*に低減して適用することができる。ただし、転用する事が困難な分岐電線・ケーブル及び合成樹脂管等の材料については全損扱いとし、計上することができる。

※【公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編） 第1編第2章第14節仮設備工事2. 14. 2 仮設備に使用する機材等】で、「電線、配管等の材料は、使用上差支えのない程度の電気的性能、機械的強度を有するものとする。」と規定されており、新品ではなくてもよいとされている。よって、材料に対して損耗、転用回数等を考慮した低減を行い、労務（労務は、図面特記がないかぎり低減等はおこなわない。）を加算した単価を採用することとした。また、複合単価、市場単価及び補正市場単価にこの率を乗じて算出することで、積算の省力化を目的にしている。

ニ. 原則として見積等による賃借料をもって仮設材費とするものは次による。

(イ) 変圧器類

(ロ) 発電機類

(ハ) 配電盤類

(二) 通信・情報機器類

(ホ) その他の仮設備機器

ホ. 仮設備を運転するに当たって、燃料が必要な場合は別途計上する。

## 第2項 電力設備工事（改修）

### 1 単価、価格等

#### 電灯設備

照明器具の一時的な取外し再取付け又は照明器具の改修工事において、既設位置へ取付け時の墨出しの軽減、既存つりボルトの活用が可能の場合は、雑材料及び労務の所要量を実状に応じて低減することができる。

### 第3項 撤去工事

#### 1 単価、価格等

##### 発生材処理

発生材処分品は引渡しを要するもの以外とし、再生資源化を図るものとそれ以外で分類し計上する。

## 第4項 機器搬出

### 1 単価、価格等

- (1) 分割搬出する機器は、分割時の各部材を単体の機器とし、質量及び容積を算定する。
- (2) 大型機器の撤去において一体で搬出できない場合は、分割するための切断費又は分解費を計上する。

## 第5項 はつり工事

### 1 単価、価格等

単価基準のはつり工の労務の所要量は、コンクリート壁貫通口、コンクリート壁貫通面積及び溝はつりの幅×深さの各項目の直近上位の値を採用する。

## 第4章 機械設備工事

### 第1節 新営工事

#### 第1項 共通工事

##### 1 一般事項

補正市場単価は、第4編第1章5市場単価の補正により算出し、その算定式は附表M2～附表M9による。

##### 2 単価、価格等

###### (1) 配管工事

- イ. 外壁や屋上の配管は、「屋内一般配管」として扱い、配管支持架台は別途計上する。
- ロ. 屋内の地中埋設配管は、施工場所により「屋内一般配管」又は「機械室・便所配管」として扱う。
- ハ. 配管の基準単価は、定尺の管単価を定尺長さで除したものとする。
- ニ. 次の配管の歩掛りは、協議会歩掛りによる。
  - ・給水 塩ビライニング鋼管 (SGP-VD)  
(単価基準 表M1-1-9以外の施工箇所)
  - ・給水 ポリ粉体ライニング鋼管 (SGP-PD)  
(単価基準 表M1-1-3以外の施工箇所)
  - ・給湯 耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管 (HTVP)  
(給水 耐熱性硬質塩化ビニル管 (HTVP) を準用)
  - ・プロパン・消火・排水 ポリエチレン被覆鋼管
  - ・水道用ポリエチレン管
- ホ. 特記仕様書等にて、ねじ込み及びMDジョイント等、複数の施工方法が併記された場合は、口径毎に安価な単価を用いる。
- ヘ. 外壁から第一軒までの排水管は屋内扱いとし、上流部の施工場所により「屋内一般配管」又は「機械室・便所配管」として扱う。

###### (2) 配管附属品

- イ. 耐火二層管において、特記により伸縮管継手を設置する場合はその伸縮管継手（材工共）を別途計上する。また、必要に応じ、配管固定金物を別途計上する。  
なお、伸縮管継手の歩掛りは同一呼び径のバタフライ弁に準ずる。
- ロ. メカニカル形ステンレス鋼弁の歩掛りは、仕切弁の歩掛りの配管工の所要数を80%として準用する。

###### (3) 保温工事

- イ. 保温工事の細目工種は、参考歩掛り及び表M1-1～表M1-3による。
- ロ. 冷媒用断熱材被覆鋼管用保温外装は、協議会歩掛りによる。
- ハ. 弁類保温（表M1-1-59）に用いる材料のグラスウール保温帶は、アルミガラスクロス化粧付きグラスウール保温帶を代用することができる。
- ニ. 弁類保温に用いる材料のステンレス鋼板の板厚は、0.3mmを代用することができる。

#### （4）塗装及び防錆工事

単価基準の「文字標識等」において「建物延べ面積」は、事務庁舎に対する数値であり、研究所等のように空調及び衛生等の機器が事務庁舎に比較して多いときは、割増しを考慮する。

#### （5）機器搬入

- イ. 分割して搬入する機器は、分割時の各部材を1個の機器として扱い、質量及び容積の算定を行う。
- ロ. 機器の質量及び容積は、価格算定時に参考とした製造業者の値とする。
- ハ. 契約図書で単価基準 表M 1－1－6 8に設定される揚重機16tでは不足する条件が明示される場合、搬入基準単価から揚重機分を差引き、適切な揚重機の所要量を別途に計上する。

#### （6）総合調整

- イ. パッケージ形空気調和機、マルチパッケージ形空気調和機及びガスエンジンヒートポンプ式空気調和機は、総合調整費の算定対象としない。
- ロ. 主機械室が無く、熱源機器を屋上露出にて設置する場合も、主機械室内機器として扱う。
- ハ. 総合調整費の算定対象としない配管系統は、直接暖房用蒸気管、空気抜管、排水通気管、油管、冷媒管、ドレン管、水抜管、膨張管、弁装置のバイパス管、水道直結部の給水管及び局所式給湯管とする。  
なお、エネルギーセンター等で発生させた蒸気を一般空調系統、直暖系統等で共に供する場合で、これらの蒸気管を系統ごとに選別し難い場合は総合調整の対象としてもよい。

#### （7）ポンプ類

- イ. 深井戸用水中ポンプの揚水管は、標準仕様書では附属品となっているが標準歩掛りに含まれていないため、別途加算する。
- ロ. 小型給水ポンプユニットの据付け歩掛りには、2台のポンプ、加圧タンク及び制御盤を含んでいるものとする。

#### （8）土工事

機械土工を使用する場合は、バックホウ等の運搬費を参考歩掛り 別表RA－2－39－1により計上する。

#### （9）コンクリート工事・その他

機器用基礎、枠類以外のコンクリート工事は、参考歩掛り 表RA－5－8による。

表M1-1 補正市場単価 保温工事（配管）【グラスウール】

項目	施工箇所	仕様	単位	備考
給水管、排水管、給湯管及び温水管（膨張管を含む。）	機械室、書庫、倉庫	アルミガラス化粧原紙	m	
	天井内、パイプシャフト内及び空隙壁中	アルミガラスクロス	m	
	屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。）、浴室及び厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない。）	カラ一亜鉛鉄板	m	
		溶融アルミニウム一亜鉛鉄板	m	
冷水・冷温水管（膨張管を含む。）	機械室、書庫、倉庫	アルミガラス化粧原紙	m	
	屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。）、浴室及び厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない。）	カラ一亜鉛鉄板	m	
		溶融アルミニウム一亜鉛鉄板	m	
蒸気管（低圧（0.1MPa未満）の蒸気）	機械室、書庫、倉庫	アルミガラス化粧原紙	m	
	天井内、パイプシャフト内及び空隙壁中	アルミガラスクロス	m	
	屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。）、浴室及び厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない。）	カラ一亜鉛鉄板	m	
		溶融アルミニウム一亜鉛鉄板	m	
冷媒管	屋内露出（一般居室、廊下）	合成樹脂製カバー1	m	
		合成樹脂製カバー2	m	
	機械室、書庫、倉庫	アルミガラスクロス	m	
		アルミガラス化粧原紙	m	
	天井内、パイプシャフト内及び空隙壁中	アルミガラスクロス	m	
	暗渠内（ピット内を含む。）	着色アルミガラスクロス	m	
	屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。）、浴室及び厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない。）	カラ一亜鉛鉄板	m	
		溶融アルミニウム一亜鉛鉄板	m	
		ステンレス鋼板	m	

表M1-2 補正市場単価 保温工事（配管）【ロックウール】

項目	施工箇所	仕様	単位	備考
給水管、排水管、給湯管及び温水管 (膨張管を含む。)	屋内露出(一般居室、廊下)	合成樹脂製カバー1	m	
		合成樹脂製カバー2	m	
	機械室、書庫、倉庫	アルミガラスクロス	m	
		アルミガラス化粧原紙	m	
	天井内、パイプシャフト内及び空隙壁中	アルミガラスクロス	m	
		アルミガラス化粧保温筒	m	
	暗渠内(ピット内を含む。)	着色アルミガラスクロス	m	
	屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む。)、浴室及び厨房等の多湿箇所(厨房の天井内は含まない。)	カラ一亜鉛鉄板	m	
		溶融アルミニウム一亜鉛鉄板	m	
		ステンレス鋼板	m	
冷水・冷温水管 (膨張管を含む。)	屋内露出(一般居室、廊下)	合成樹脂製カバー1	m	
		合成樹脂製カバー2	m	
	機械室、書庫、倉庫	アルミガラスクロス	m	
		アルミガラス化粧原紙	m	
	天井内、パイプシャフト内及び空隙壁中	アルミガラスクロス	m	
		着色アルミガラスクロス	m	
	屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む。)、浴室及び厨房等の多湿箇所(厨房の天井内は含まない。)	カラ一亜鉛鉄板	m	
		溶融アルミニウム一亜鉛鉄板	m	
		ステンレス鋼板	m	
蒸気管 (低圧(0.1MPa未満)の蒸気)	屋内露出(一般居室、廊下)	合成樹脂製カバー1	m	
		合成樹脂製カバー2	m	
	機械室、書庫、倉庫	アルミガラスクロス	m	
		アルミガラス化粧原紙	m	
	天井内、パイプシャフト内及び空隙壁中	アルミガラスクロス	m	
		アルミガラス化粧保温筒	m	
	暗渠内(ピット内を含む。)	着色アルミガラスクロス	m	
	屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む。)、浴室及び厨房等の多湿箇所(厨房の天井内は含まない。)	カラ一亜鉛鉄板	m	
		溶融アルミニウム一亜鉛鉄板	m	
		ステンレス鋼板	m	
冷媒管	屋内露出(一般居室、廊下)	合成樹脂製カバー1	m	
		合成樹脂製カバー2	m	
	機械室、書庫、倉庫	アルミガラスクロス	m	
		アルミガラス化粧原紙	m	
	天井内、パイプシャフト内及び空隙壁中	アルミガラスクロス	m	
		着色アルミガラスクロス	m	
	屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む。)、浴室及び厨房等の多湿箇所(厨房の天井内は含まない。)	カラ一亜鉛鉄板	m	
		溶融アルミニウム一亜鉛鉄板	m	
		ステンレス鋼板	m	

表M1-3 補正市場単価 保温工事（配管）【ポリスチレンフォーム】

項目	施工箇所	仕様	単位	備考
給水管、排水管	屋内露出（一般居室、廊下）	合成樹脂製カバー1	m	
		合成樹脂製カバー2	m	
	機械室、書庫、倉庫	アルミガラスクロス	m	
		アルミガラスクロス	m	
	天井内、パイプシャフト内及び空隙壁中	アルミガラスクロス化粧保温筒	m	
		着色アルミガラスクロス	m	
	暗渠内（ピット内を含む。）	カラ一亜鉛鉄板	m	
		溶融アルミニウム一亜鉛鉄板	m	
		ステンレス鋼板	m	
冷水・冷温水管 (膨張管を含む。)	屋内露出（一般居室、廊下）	合成樹脂製カバー1	m	
		合成樹脂製カバー2	m	
	機械室、書庫、倉庫	アルミガラスクロス	m	
		アルミガラスクロス	m	
	暗渠内（ピット内を含む。）	着色アルミガラスクロス	m	
		カラ一亜鉛鉄板	m	
	屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。）、浴室及び厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない。）	溶融アルミニウム一亜鉛鉄板	m	
		ステンレス鋼板	m	
		アルミガラスクロス	m	
ブライン管	機械室、書庫、倉庫	アルミガラスクロス	m	
		合成樹脂製カバー1	m	
	屋内露出（一般居室、廊下）	合成樹脂製カバー2	m	
		アルミガラスクロス	m	
	天井内、パイプシャフト内及び空隙壁中	アルミガラスクロス	m	
		着色アルミガラスクロス	m	
	暗渠内（ピット内を含む。）	カラ一亜鉛鉄板	m	
		溶融アルミニウム一亜鉛鉄板	m	
		ステンレス鋼板	m	

## 第2項 空気調和設備工事

### 1 単価、価格等

#### (1) 機器設備

- イ. 吸收冷凍機、吸收冷温水機及び吸收冷温水機ユニットの保温は、製造業者の見積価格等を参考にする。
- ロ. 冷却塔のうち冷却能力が334kWを超えるものの据付は、協議会歩掛りによる。
- ハ. パッケージ形空気調和機、マルチパッケージ形空気調和機及びガスエンジンヒートポンプ式空気調和機の冷媒管は、特記がなければ価格を算出するにあたって参考とした製造業者の口径を基に、単価基準 第4編第1章第1節1配管工事により計上する。ただし、分岐ユニットは、製造業者の見積価格等を参考にする。
- 二. 地下オイルタンク附属品は、協議会歩掛りによる。
- ホ. 空気熱源ヒートポンプユニット（モジュール形）の据付は、モジュール毎に加算して計上する。
- ヘ. 軸流送風機及び斜流送風機の歩掛りは、消音ボックス付送風機に準ずる。
- ト. 全熱交換ユニット（カセット形）の歩掛りは、協議会歩掛りによる。

#### (2) ダクト設備

- イ. ダクト設備の細目工種は、単価基準及び表M1-4による。
- ロ. ステンレス製ダクト及び硬質塩化ビニル製ダクトは、協議会歩掛りによる。
- ハ. ウエザーカバーは、協議会歩掛りによる。
- ニ. チャンバー等の吊り用インサート取付費は、必要箇所数を別途計上する。  
なお、シーリングディフューザー用既製品ボックスのインサートの必要箇所数は、1箇所とする。
- ホ. 400φ以上のスパイラルダクトは、参考歩掛り 表RM-2-4による。
- ヘ. スライドオンフランジ工法に用いる材料のコーナー金具の板厚は、2.3mmを代用することができる。
- ト. 鋼板製ダクト（1.6mm）は、参考歩掛り 表RM-2-2による。
- チ. ダクトに用いるフランジ用ガスケットの厚みは、3mmのものは4mmを、5mmのものは6mmをそれぞれ代用することができる。

#### (3) 弁装置類

本歩掛りは、該当する歩掛りが無い場合は、類似の歩掛りを組み合わせて作成する。

表M 1 - 4 補正市場単価【ダクト工事】

細 目	摘 要	単 位	備 考
アングル法兰ジ工法ダクト	低圧ダクト(インサート取付費含む、A+Bシール無し)	m <sup>2</sup>	
アングル法兰ジ工法ダクト	排煙ダクト(インサート取付費含む、A+Bシール無し)	m <sup>2</sup>	
共板法兰ジ工法ダクト	(インサート取付費含む、A+Bシール無し)	m <sup>2</sup>	
スパイラルダクト	低圧ダクト(インサート取付費含む)	m	
アングル法兰ジ工法ダクト	低圧ダクト(インサート取付費含む、A+Bシール共)	m <sup>2</sup>	
共板法兰ジ工法ダクト	(インサート取付費含む、A+Bシール共)	m <sup>2</sup>	
チャンバー	低圧用(インサート取付費別途、シール共)	m <sup>2</sup>	
チャンバー	高圧1ダクト用及び高圧2ダクト用、排煙ダクト用 (インサート取付費別途、シール無し)	m <sup>2</sup>	
組立チャンバー	低圧用(インサート取付費別途、シール共)	m <sup>2</sup>	
ボックス	低圧用(インサート取付費別途、シール共)	m <sup>2</sup>	
線状吹出口用ボックス	低圧用(インサート取付費別途、シール共)	m <sup>2</sup>	

## 第3項 自動制御設備工事

### 1 一般事項

自動制御設備は、空気調和設備や衛生設備等の設備システムと密接に関連し高度な専門性を有することから、専門工事業者の見積価格等を参考にする。

### 2 単価、価格等

#### （1）自動制御設備

- イ. 専門工事業者の見積りによる場合は、専門工事業者の諸経費を計上する。
- ロ. 中央監視制御装置の形式がⅡ形（簡易形監視制御装置）及びⅢ形（監視制御装置）の中央監視システムは、機器価格等に含まれないソフトウェアの仕様決定を行なうための事前打合せに関する費用として、専門工事業者のエンジニアリング費の見積価格等を参考に計上する。

なお、事前打合せを行なう項目は下記による。

- ・設備機器の動作条件の設定
- ・D D C（ダイレクトデジタルコントローラー）の構成
- ・サマリーグラフの構成等
- ・作表印字の構成等

## 第4項 給排水衛生設備工事

### 1 単価、価格等

#### (1) 衛生器具設備

イ. 衛生器具設備の細目工種は、単価基準及び表M 1－5による。

また、壁掛形汚物流しユニットの取付けは、協議会歩掛りによる。

なお、左記によれない場合は、参考歩掛り又はその組み合わせによる。

ロ. 大便器・小便器ユニット等は、ユニットの構成、配管の種類、ケーシングの寸法等を考慮のうえ、製造業者からの材料費及び労務費等の見積価格等を参考にする。

#### (2) 排水設備

ディスポーザーの歩掛りは、ドラムトラップ（鋳鉄製）80Aに準ずる。

#### (3) 給湯設備

イ. ヒートポンプ式給湯器の据付けは、原則として製造業者の見積価格等を参考にする。見積に依れない場合は、単価基準 表M 1－2－1 2パッケージ形空調機（圧縮機屋外形）の屋外機に、単価基準 表M 1－2－5 タンク類の密閉形隔膜式膨張タンクの歩掛りを加算した歩掛りで代用する。

ロ. 電気温水器の据付けは、協議会歩掛りによる。

#### (4) 消火設備

イ. 専門工事業者の見積りによる場合は、専門工事業者の諸経費を計上する。

ロ. 複数の消火システムが存在する工事は、原則としてシステム毎に安価な専門工事業者の見積価格等を参考にする。

#### (5) 廉房機器設備

専門工事業者の見積りによる場合は、専門工事業者の諸経費を計上する。

表M 1－5 補正市場単価【衛生器具設備工事】

細 目	摘要	要	単位	備 考
和風便器	洗浄弁式		組	
和風便器	タンク式(ロータンク)		組	
和風便器耐火カバー			個	

## 第2節 改修工事

### 第1項 共通工事（改修）

#### 1 単価、価格等

##### （1）仮設工事

仮設配管等を本工事とする場合、拾い数量は図面からの実数量を計上する。

原則として全損扱いとし、単価の100%を計上する。

ただし、仮設期間が短期間（3ヶ月未満程度）で同一業者が撤去する場合など、新品の材料で施工するとは限らないと判断されるときは、計上する配管等（保温は除く）の材料単価を70%に低減し適用することができる。

##### （2）配管工事

単価基準の「配管分岐」及び「配管切断」は、既設配管の保温材の撤去を含んだ単価となっている。ただし、閉塞用のプラグは含まれていないので別途計上する。

##### （3）はつり工事

単価基準のはつり工の所要量は、コンクリート壁貫通口、コンクリート壁貫通面積、溝はつりの幅×深さの各項目毎の直近上位の値を採用する。

## 第2項 空気調和設備工事（改修）

### 1 単価、価格等

#### （1）ダクト工事

- イ. 保温を行うダクト端部閉塞は、保温を別途計上する。
- ロ. 長方形ダクトの歩掛り表中の鋼材防錆塗装は工場塗りとしているため、執務並行改修工事であっても、塗装工所要量は基準補正単価の対象としない。

### 第3項 給排水衛生設備工事（改修）

#### 1 単価、価格等

##### （1）枠類

既設コンクリート枠への接続は、単価基準のインバート改修のほか、手はつり（配管貫通口）を計上する。

## 第4項 撤去工事

### 1 単価、価格等

#### （1）機器撤去

- イ. 冷凍機、パッケージ形空調機等の冷媒、オイル等の抜取り費・処分費（フロン破壊処理を含む）は、専門工事業者の見積価格等を参考にする。
- ロ. 大型機器の撤去費は、製造業者、専門工事業者等からの見積価格等を参考にする。
- ハ. 標準歩掛りを用いて撤去する機器の搬出費を算出する場合は、機器搬入費の90%を機器搬出費相当とする。なお、再使用するための取外しにおいては、機器搬入費の100%を機器搬出費相当とする。
- 二. 冷凍機等の機器の撤去において、一体での搬出ができない場合は、分割するための費用を別途考慮する。
- ホ. 分割して搬出する機器は、分割時の各部材を1個の機器として扱い、質量及び容積の算定を行う。

#### （2）配管・ダクト類

- イ. 保温の施された配管、ダクト等の撤去は、保温の撤去費用を計上する。
- ロ. 弁・継手類の撤去労務費は、65A以上を対象に計上する。  
なお、50A以下は、配管と同時に撤去されるものとし計上しない。
- ハ. 計器類（温度計、圧力計、風量測定口等）の撤去労務費は、配管やダクトと同時に撤去されるものとし計上しない。
- 二. ダクト附属品（吹出口、吸込口、ダンパー、たわみ継手等）の撤去は、撤去費用を計上する。  
ただし、点検口（ダクト用）はチャンバー等と同時に撤去されるものとし計上しない。

#### （3）柵類

- 柵を撤去する場合は、土工事を別途計上する。ただし、300×300以下の柵の土工事は、接続する配管の延長とし、配管の土工事に含まれるものとみなす。

## 第5章 昇降機設備工事

### 第1節 新宮工事

#### 第1項 共通工事

##### 1 一般事項

昇降機設備工事は、専門工事業者が施工業者となることから、専門工事業者からの見積価格等を参考にする。

##### 2 単価、価格等

（1）昇降機設備工事は、専門工事業者の見積価格等を参考に価格決定する。なお、決定に際しては、機械室の有無、定員、停止階、昇降速度、身体障害者付加仕様の有無、監視盤の有無等の仕様及び過去の入札状況等を総合的に考慮する。

（2）エレベーター設備、小荷物専用昇降機設備及びエスカレーター設備を同一の工事にて発注する場合は、見積価格等による各設備の直接工事費の合計金額を基に、決定する。

## 第2節 改修工事

### 第1項 共通工事

#### 1 一般事項

昇降機設備工事の改修工事は、専門工事業者が施工業者となることから、専門工事業者からの見積価格等を参考にする。

#### 2 単価、価格等

- (1) 昇降機設備工事の改修工事は、専門工事業者の見積価格等を参考に価格決定するが、改修内容によっては他工事、刊行物の単価・価格及び改修内容に対応する専門工事業者の見積価格等を参考にする。
- (2) エレベーター設備、小荷物専用昇降機設備、エスカレーター設備の改修工事を同一の工事にて発注する場合は、見積価格等による各設備の直接工事費の合計金額を基に、決定する。

## 第2項 撤去工事

### 1 一般事項

昇降機設備工事の撤去工事は、専門工事業者が施工業者となることから、専門工事業者からの見積価格等を参考にする。

附表 1

補正市場単価算出方法

附表 2

補正単位施工単価算出方法

## 附表1 補正市場単価算出方法

### 補正市場単価算出上の留意点

歩掛りによって、補正市場単価を作成する場合は、以下の点に留意する。

#### 1. 材料単価および価格

市場単価の採用都市と同じ採用都市の材料単価及び価格を使用する。ただし、採用都市において材料単価及び価格の掲載がない場合は、複合単価作成時の材料単価及び価格採用の方法によるものとする。

#### 2. 労務単価

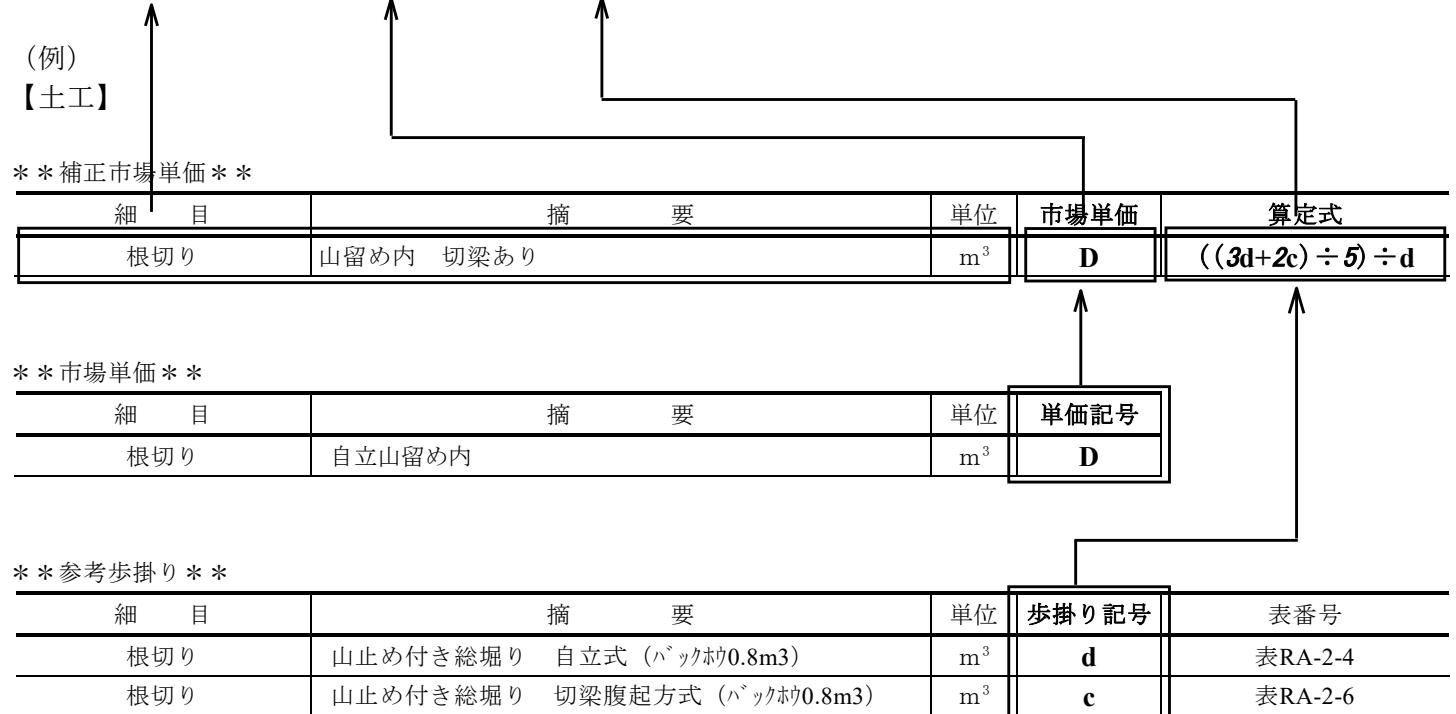
市場単価の採用都市が所在する都道府県の労務単価を使用する。ただし、市場単価の採用都市が所在する都道府県の労務単価の掲載がない場合は、複合単価作成時の労務単価採用の方法によるものとする。

#### 【補正市場単価を採用する場合の労務単価の採用（例）】

市場単価	労務単価
札幌（北海道）	北海道
仙台（東北）	宮城
東京（関東）	東京
新潟（北陸）	新潟
名古屋（中部）	愛知
大阪（近畿）	大阪
広島（中国）	広島
高松（四国）	香川
福岡（九州）	福岡
那覇（沖縄）	沖縄

〈補正市場単価の算定方法〉

$$\text{補正市場単価A'} = \text{市場単価A} \times \text{算定式}$$



【 土工 】

\* \* 市場単価 \* \*

細 目	摘 要	単位	単価記号
根切り	つぼ、布掘 深さ2.5m程度	m <sup>3</sup>	A
床付け	つぼ、布掘	m <sup>2</sup>	B
根切り	総掘 法付オープンカット	m <sup>3</sup>	C
根切り	自立山留め内	m <sup>3</sup>	D
床付け	総掘	m <sup>2</sup>	E
すきとり	H=300程度	m <sup>3</sup>	F
杭間ざらい	既製コンクリート杭 φ350~600mm	本	G
埋戻し	発生土	m <sup>3</sup>	H
機械運搬費	片道30km以内 バックホウ	往復	I

\* \* 参考歩掛り \* \*

細 目	摘 要	単位	歩掛り記号	表番号
根切り	つぼ堀り及び布堀り (バックホウ0.8m <sup>3</sup> )	m <sup>3</sup>	a	表RA-2-1
根切り	山留め付き総堀り 自立式 (バックホウ0.8m <sup>3</sup> )	m <sup>3</sup>	d	表RA-2-4
根切り	山留め付き総堀り 切梁腹起方式 (バックホウ0.8m <sup>3</sup> )	m <sup>3</sup>	c	表RA-2-6
根切り	山留め付き総堀り 切梁腹起方式 (バックホウ0.45m <sup>3</sup> ・クラムシェル積込)	m <sup>3</sup>	b	表RA-2-7
根切り	山留め付き総堀り ゲランド・アンカ-方式 (バックホウ0.8m <sup>3</sup> ・クラムシェル積込)	m <sup>3</sup>	e	表RA-2-10
根切り	小規模土工 (バックホウ0.28m <sup>3</sup> )	m <sup>3</sup>	f	表RA-2-14
埋戻し	つぼ堀り及び布堀り (バックホウ0.8m <sup>3</sup> )	m <sup>3</sup>	h	表RA-2-18
埋戻し	小規模土工 (バックホウ0.28m <sup>3</sup> )	m <sup>3</sup>	g	表RA-2-22
盛土	(バックホウ0.8m <sup>3</sup> )	m <sup>3</sup>	j	表RA-2-24
敷きならし	(フルトーザ-3t級)	m <sup>3</sup>	k	表RA-2-27
締固め	(振動ローラ-2.4~2.8t)	m <sup>3</sup>	l	表RA-2-29
積込み	(バックホウ0.8m <sup>3</sup> )	m <sup>3</sup>	m	表RA-2-33
土工機械運搬	バックホウ 排出ガス対策型油圧式クローラ-型0.28m <sup>3</sup>	往復	n	表RA-2-39
土工機械運搬	バックホウ 排出ガス対策型油圧式クローラ-型0.8m <sup>3</sup>	往復	i	表RA-2-39
土工機械運搬	クラムシェル 油圧ローラ-式クローラ-型0.6m <sup>3</sup>	往復	o	表RA-2-39
土工機械分解組立	クラムシェル 油圧ローラ-式クローラ-型0.6m <sup>3</sup>	回	p	表RA-2-41

\* \* 補正市場単価 \* \*

細 目	摘 要	単位	市場単価	算定式
根切り	山留め内 切梁あり	m <sup>3</sup>	D	((3d+2c)÷5)÷d
根切り	山留め内 切梁あり (クラムシェルによる積込み)	m <sup>3</sup>	D	((3d+3c+2b)÷8)÷d
根切り	山留め内 ゲランド・アンカ- (クラムシェルによる積込み)	m <sup>3</sup>	D	((8d+2e)÷10)÷d
根切り	小規模土工	m <sup>3</sup>	A	f÷a
埋戻し	小規模土工 発生土	m <sup>3</sup>	H	g÷h
盛土	発生土	m <sup>3</sup>	H	j÷h
敷き均し	発生土 締固め共	m <sup>3</sup>	H	(k+l)÷h
積込み	発生土	m <sup>3</sup>	A	m÷a
機械運搬費	片道30km以内 バックホウ+クラムシェル (分解組立共)	往復	I	(i+o+p)÷i
機械運搬費	小規模土工 片道30km以内 バックホウ	往復	I	n÷i

【コンクリート】

\*\*市場単価\*\*

細目	摘要	単位	単価記号	
コンクリート打設手間	捨コンクリート ポンプ打ち	m <sup>3</sup>	A	
コンクリート打設手間	土間コンクリート ポンプ打ち	m <sup>3</sup>	B	
コンクリート打設手間	基礎コンクリート ポンプ打ち	m <sup>3</sup>	C	
コンクリート打設手間	軸体コンクリート ポンプ打ち	m <sup>3</sup>	D	
コンクリート打設手間	防水押えコンクリート ポンプ打ち	m <sup>3</sup>	E	
ポンプ圧送	圧送基本料金 1回の打設量が100m <sup>3</sup> 以上	回	F	
ポンプ圧送	圧送基本料金 1回の打設量が50m <sup>3</sup> 以上100m <sup>3</sup> 未満	回	G	
ポンプ圧送	圧送基本料金 1回の打設量が30m <sup>3</sup> 以上50m <sup>3</sup> 未満	回	H	
ポンプ圧送	圧送料金 1回の打設量が100m <sup>3</sup> 以上	m <sup>3</sup>	I	
ポンプ圧送	圧送料金 1回の打設量が50m <sup>3</sup> 以上100m <sup>3</sup> 未満	m <sup>3</sup>	J	
ポンプ圧送	圧送料金 1回の打設量が30m <sup>3</sup> 以上50m <sup>3</sup> 未満	m <sup>3</sup>	K	

\*\*参考歩掛り\*\*

細目	摘要	単位	歩掛り記号	表番号
コンクリート打設手間(フーム式)	1回当たりの打設量 20m <sup>3</sup> 以上50m <sup>3</sup> 未満	m <sup>3</sup>	a	表RA-5-1
コンクリート打設手間(フーム式)	1回当たりの打設量 50m <sup>3</sup> 以上100m <sup>3</sup> 未満	m <sup>3</sup>	b	表RA-5-1
コンクリート打設手間(フーム式)	1回当たりの打設量 100m <sup>3</sup> 以上170m <sup>3</sup> 未満	m <sup>3</sup>	c	表RA-5-1
コンクリート打設手間(配管式)	1回当たりの打設量 50m <sup>3</sup> 未満	m <sup>3</sup>	d	表RA-5-2
コンクリート打設手間(配管式)	1回当たりの打設量 50m <sup>3</sup> 以上100m <sup>3</sup> 未満	m <sup>3</sup>	e	表RA-5-2
コンクリート打設手間(配管式)	1回当たりの打設量 100m <sup>3</sup> 以上170m <sup>3</sup> 未満	m <sup>3</sup>	f	表RA-5-2
コンクリート打設手間(小型構造物)	人力打設 工作物の基礎等	m <sup>3</sup>	g	表RA-5-8
コンクリート打設手間(小型構造物)	人力打設 擁壁、囲障の基礎等	m <sup>3</sup>	h	表RA-5-8

\*\*補正市場単価\*\*

細目	摘要	単位	市場単価	算定式
コンクリート打設手間	基礎コンクリート ポンプ打設 施工規模50~100m <sup>3</sup> /回 程度	m <sup>3</sup>	C	(0.5b+0.5e) ÷ (0.5c+0.5f)
コンクリート打設手間	基礎コンクリート ポンプ打設 施工規模50m <sup>3</sup> /回 程度	m <sup>3</sup>	C	(0.5a+0.5d) ÷ (0.5c+0.5f)
コンクリート打設手間	軸体コンクリート ポンプ打設 施工規模50~100m <sup>3</sup> /回 程度	m <sup>3</sup>	D	(0.5b+0.5e) ÷ (0.5c+0.5f)
コンクリート打設手間	軸体コンクリート ポンプ打設 施工規模50m <sup>3</sup> /回 程度	m <sup>3</sup>	D	(0.5a+0.5d) ÷ (0.5c+0.5f)
コンクリート打設手間	S造アフ'コンクリート ポンプ打設 施工規模50m <sup>3</sup> /回 程度	m <sup>3</sup>	B	1
コンクリート打設手間	小型構造物コンクリート 人力打設 工作物の基礎等	m <sup>3</sup>	B	g ÷ a
コンクリート打設手間	小型構造物コンクリート 人力打設 擁壁、囲障の基礎等	m <sup>3</sup>	B	h ÷ a

\*\*協議会歩掛り\*\*

細目	摘要	単位	歩掛り記号	備考
コンクリート打設手間(人力)	捨コンクリート 人力 S15~18	m <sup>3</sup>	o	コンクリート打設手間※
コンクリート打設手間(人力)	防水保護 人力 S15~18	m <sup>3</sup>	p	

※當繕積算システム等開発利用協議会参考資料参照

\*\*補正市場単価\*\*

細目	摘要	単位	市場単価	算定式
コンクリート打設手間	捨コンクリート 人力打設	m <sup>3</sup>	A	o ÷ a
コンクリート打設手間	防水保護コンクリート 人力打設	m <sup>3</sup>	E	p ÷ e

## 【 防水 】

\* \* 市場単価 \* \*

細 目	摘 要	単位	単価記号
屋根アスファルト防水	A-2 密着工法 平部	m <sup>2</sup>	A
屋根アスファルト防水	A-2 密着工法 立上り	m <sup>2</sup>	B
屋根アスファルト防水	AI-2 密着断熱工法 平部	m <sup>2</sup>	C
屋根アスファルト防水	B-1 絶縁工法 平部	m <sup>2</sup>	D
屋根アスファルト防水	B-1 絶縁工法 立上り	m <sup>2</sup>	E
屋根アスファルト防水	D-1 絶縁工法 平部	m <sup>2</sup>	F
屋根アスファルト防水	D-1 絶縁工法 立上り	m <sup>2</sup>	G
屋内アスファルト防水	E-1 密着工法 平部	m <sup>2</sup>	H
屋内アスファルト防水	E-1 密着工法 立上り	m <sup>2</sup>	I
シーリング	PS-2ボリサルファイト(2成分形) 幅10×深さ10	m	J
シーリング	PS-2ボリサルファイト(2成分形) 幅15×深さ10	m	K
シーリング	PS-2ボリサルファイト(2成分形) 幅20×深さ10	m	L
シーリング	PU-2ボリカレッジ(2成分形) 幅10×深さ10	m	M
シーリング	PU-2ボリカレッジ(2成分形) 幅15×深さ10	m	N
シーリング	PU-2ボリカレッジ(2成分形) 幅20×深さ10	m	O
シーリング	MS-2変成シリコン(2成分形) 幅10×深さ10	m	P
シーリング	MS-2変成シリコン(2成分形) 幅15×深さ10	m	Q
シーリング	MS-2変成シリコン(2成分形) 幅20×深さ10	m	R
シーリング	SR-1シリコン(1成分形) 幅10×深さ10	m	S
シーリング	SR-1シリコン(1成分形) 幅15×深さ10	m	T
シーリング	SR-2シリコン(2成分形) 幅10×深さ10	m	U
シーリング	SR-2シリコン(2成分形) 幅15×深さ10	m	V

\* \* 参考歩掛り \* \*

細 目	摘 要	単位	歩掛り記号	表番号
屋根保護防水密着工法	A-1 平面	m <sup>2</sup>	w	表RA-9-1
屋根保護防水密着工法	A-1 立上り立下り面	m <sup>2</sup>	x	表RA-9-1
屋根保護防水密着工法	A-2 平面	m <sup>2</sup>	a	表RA-9-1
屋根保護防水密着工法	A-2 立上り立下り面	m <sup>2</sup>	b	表RA-9-1
屋根保護防水密着断熱工法	AI-1 平面	m <sup>2</sup>	y	表RA-9-2
屋根保護防水密着断熱工法	AI-2 平面	m <sup>2</sup>	c	表RA-9-2
屋根保護防水絶縁工法	B-1 平面	m <sup>2</sup>	d	表RA-9-3
屋根保護防水絶縁工法	B-1 立上り立下り面	m <sup>2</sup>	e	表RA-9-3
屋根保護防水絶縁工法	B-2 平面	m <sup>2</sup>	②	表RA-9-3
屋根保護防水絶縁工法	B-2 立上り立下り面	m <sup>2</sup>	③	表RA-9-3
屋根保護防水絶縁断熱工法	BI-1 平面	m <sup>2</sup>	④	表RA-9-4
屋根保護防水絶縁断熱工法	BI-2 平面	m <sup>2</sup>	⑥	表RA-9-4
屋根露出防水絶縁工法	D-1 平面	m <sup>2</sup>	f	表RA-9-5
屋根露出防水絶縁工法	D-1 立上り立下り面	m <sup>2</sup>	g	表RA-9-5

## \*\*参考歩掛り\*\*

細　　目	摘　　要	単位	歩掛り記号	表番号
屋根露出防水絶縁工法	D-2 平面	m <sup>2</sup>	⑧	表RA-9-5
屋根露出防水絶縁工法	D-2 立上り立下り面	m <sup>2</sup>	⑨	表RA-9-5
屋内防水密着工法	E-1 平面	m <sup>2</sup>	h	表RA-9-6
屋内防水密着工法	E-1 立上り立下り面	m <sup>2</sup>	i	表RA-9-6
屋内防水密着工法	E-2 平面	m <sup>2</sup>	⑩	表RA-9-6
屋内防水密着工法	E-2 立上り立下り面	m <sup>2</sup>	⑪	表RA-9-6
シーリング*	MS-2変性シリコン系 シーリング 幅15mmを超える20mm以下	m	r	表RA-9-8
シーリング*	MS-2変性シリコン系 シーリング 幅20mmを超える25mm以下	m	⑯	表RA-9-8
シーリング*	MS-2変性シリコン系 シーリング 幅25mmを超える30mm以下	m	⑰	表RA-9-8
シーリング*	SR-1シリコン系 シーリング 幅10mm以下	m	s	表RA-9-7
シーリング*	SR-1シリコン系 シーリング 幅10mmを超える15mm以下	m	t	表RA-9-7
シーリング*	SR-1シリコン系 シーリング 幅15mmを超える20mm以下	m	⑯	表RA-9-7
シーリング*	SR-1シリコン系 シーリング 幅20mmを超える25mm以下	m	⑯	表RA-9-7
シーリング*	SR-1シリコン系 シーリング 幅25mmを超える30mm以下	m	⑰	表RA-9-7
シーリング*	SR-1シリコン系 防かびタイプ シーリング 幅10mm以下	m	⑯	表RA-9-7
シーリング*	SR-1シリコン系 防かびタイプ シーリング 幅10mmを超える15mm以下	m	⑯	表RA-9-7
シーリング*	SR-1シリコン系 防かびタイプ シーリング 幅15mmを超える20mm以下	m	⑯	表RA-9-7
シーリング*	SR-1シリコン系 防かびタイプ シーリング 幅20mmを超える25mm以下	m	⑯	表RA-9-7
シーリング*	SR-1シリコン系 防かびタイプ シーリング 幅25mmを超える30mm以下	m	⑯	表RA-9-7
シーリング*	SR-2シリコン系 シーリング 幅10mmを超える15mm以下	m	v	表RA-9-8
シーリング*	SR-2シリコン系 シーリング 幅15mmを超える20mm以下	m	⑯	表RA-9-8
シーリング*	SR-2シリコン系 シーリング 幅20mmを超える25mm以下	m	⑯	表RA-9-8
シーリング*	SR-2シリコン系 シーリング 幅25mmを超える30mm以下	m	⑯	表RA-9-8
シーリング*	PS-2ボリュアルファイト系 シーリング 幅15mmを超える20mm以下	m	l	表RA-9-8
シーリング*	PS-2ボリュアルファイト系 シーリング 幅20mmを超える25mm以下	m	⑯	表RA-9-8
シーリング*	PS-2ボリュアルファイト系 シーリング 幅25mmを超える30mm以下	m	⑯	表RA-9-8
シーリング*	PU-2ボリュアルタン系 シーリング 幅15mmを超える20mm以下	m	o	表RA-9-8
シーリング*	PU-2ボリュアルタン系 シーリング 幅20mmを超える25mm以下	m	⑯	表RA-9-8
シーリング*	PU-2ボリュアルタン系 シーリング 幅25mmを超える30mm以下	m	⑯	表RA-9-8

\* \* 補正市場単価 \* \*

細 目	摘 要	単位	市場単価	算定式
屋根アスファルト防水	A-1 密着工法 平部	m <sup>2</sup>	A	w ÷ a
屋根アスファルト防水	A-1 密着工法 立上り	m <sup>2</sup>	B	x ÷ b
屋根アスファルト防水	AI-1 密着断熱工法 平部	m <sup>2</sup>	C	y ÷ c
屋根アスファルト防水	AI-1 密着断熱工法 立上り	m <sup>2</sup>	B	x ÷ b
屋根アスファルト防水	AI-2 密着断熱工法 立上り	m <sup>2</sup>	B	1
屋根アスファルト防水	B-2 絶縁工法 平部	m <sup>2</sup>	D	② ÷ d
屋根アスファルト防水	B-2 絶縁工法 立上り	m <sup>2</sup>	E	③ ÷ e
屋根アスファルト防水	BI-1 絶縁工法 平部	m <sup>2</sup>	C	④ ÷ c
屋根アスファルト防水	BI-1 絶縁工法 立上り	m <sup>2</sup>	E	1
屋根アスファルト防水	BI-2 絶縁工法 平部	m <sup>2</sup>	C	⑥ ÷ c
屋根アスファルト防水	BI-2 絶縁工法 立上り	m <sup>2</sup>	E	③ ÷ e
屋根アスファルト防水	D-2 絶縁工法 平部	m <sup>2</sup>	F	⑧ ÷ f
屋根アスファルト防水	D-2 絶縁工法 立上り	m <sup>2</sup>	G	⑨ ÷ g
屋内アスファルト防水	E-2 密着工法 平部	m <sup>2</sup>	H	⑩ ÷ h
屋内アスファルト防水	E-2 密着工法 立上り	m <sup>2</sup>	I	⑪ ÷ i

\* \* 補正市場単価 \* \*

細 目	摘 要	単位	市場単価	算定式
シーリング*	PS-2ボリサルファイト(2成分形) 幅25×深さ10	m	L	⑫ ÷ l
シーリング*	PS-2ボリサルファイト(2成分形) 幅30×深さ10	m	L	⑬ ÷ l
シーリング*	PU-2ボリカレッジ(2成分形) 幅25×深さ10	m	O	⑭ ÷ o
シーリング*	PU-2ボリカレッジ(2成分形) 幅30×深さ10	m	O	⑮ ÷ o
シーリング*	MS-2変成シリコーン(2成分形) 幅25×深さ10	m	R	⑯ ÷ r
シーリング*	MS-2変成シリコーン(2成分形) 幅30×深さ10	m	R	⑰ ÷ r
シーリング*	SR-1シリコーン(1成分形) 幅20×深さ10	m	T	⑱ ÷ t
シーリング*	SR-1シリコーン(1成分形) 幅25×深さ10	m	T	⑲ ÷ t
シーリング*	SR-1シリコーン(1成分形) 幅30×深さ10	m	T	⑳ ÷ t
シーリング*	SR-1シリコーン(1成分形) 防かびタイプ* 幅10×深さ10	m	S	㉑ ÷ s
シーリング*	SR-1シリコーン(1成分形) 防かびタイプ* 幅15×深さ10	m	T	㉒ ÷ t
シーリング*	SR-1シリコーン(1成分形) 防かびタイプ* 幅20×深さ10	m	T	㉓ ÷ t
シーリング*	SR-1シリコーン(1成分形) 防かびタイプ* 幅25×深さ10	m	T	㉔ ÷ t
シーリング*	SR-1シリコーン(1成分形) 防かびタイプ* 幅30×深さ10	m	T	㉕ ÷ t
シーリング*	SR-2シリコーン(2成分形) 幅20×深さ10	m	V	㉖ ÷ v
シーリング*	SR-2シリコーン(2成分形) 幅25×深さ10	m	V	㉗ ÷ v
シーリング*	SR-2シリコーン(2成分形) 幅30×深さ10	m	V	㉘ ÷ v

## 【 金属 】

\* \* 市場単価 \* \*

細 目	摘 要	単位	単価記号
軽量鉄骨壁下地	スタッド 50形 @300 スタッド 高さ H≤2.7m 直張り用	m <sup>2</sup>	A
軽量鉄骨壁下地	スタッド 50形 @450 スタッド 高さ H≤2.7m 下地張りあり	m <sup>2</sup>	B
軽量鉄骨壁下地	スタッド 65形 @300 スタッド 高さ H≤4.0m 直張り用	m <sup>2</sup>	C
軽量鉄骨壁下地	スタッド 65形 @450 スタッド 高さ H≤4.0m 下地張りあり	m <sup>2</sup>	D
軽量鉄骨壁下地	スタッド 90形 @300 スタッド 高さ 4.0< H≤4.5m 直張り用	m <sup>2</sup>	E
軽量鉄骨壁下地	スタッド 90形 @450 スタッド 高さ 4.0< H≤4.5m 下地張りあり	m <sup>2</sup>	F
軽量鉄骨壁下地	スタッド 100形 @300 スタッド 高さ 4.5< H≤5.0m 直張り用	m <sup>2</sup>	G
軽量鉄骨壁下地	スタッド 100形 @450 スタッド 高さ 4.5< H≤5.0m 下地張りあり	m <sup>2</sup>	H
屋内軽量鉄骨天井下地	野縁19形 @225 ふところ高 1.5m未満 直張り用	m <sup>2</sup>	I
屋内軽量鉄骨天井下地	野縁19形 @300 ふところ高 1.5m未満 直張り用	m <sup>2</sup>	J
屋内軽量鉄骨天井下地	野縁19形 @360 ふところ高 1.5m未満 下地張りあり	m <sup>2</sup>	K
屋外軽量鉄骨天井下地	野縁25形 @300 ふところ高 1.0m未満 直張り用	m <sup>2</sup>	L
屋内軽量鉄骨下がり壁下地	野縁19形 H300~500程度	m	M
屋外軽量鉄骨下がり壁下地	野縁25形 H300~500程度	m	N
屋内天井下地補強	ふところ高 1.5m~3.0m	m <sup>2</sup>	O
壁下地開口部補強	扉等三方補強 スタッド 65形 900×2000mm程度	か所	P
壁下地開口部補強	扉等三方補強 スタッド 65形 1800×2000mm程度	か所	Q
壁下地開口部補強	扉等三方補強 スタッド 90形 900×2000mm程度	か所	R
壁下地開口部補強	扉等三方補強 スタッド 90形 1800×2000mm程度	か所	S
壁下地開口部補強	ダクト等四方補強 スタッド 65形 300×600mm程度	か所	T
壁下地開口部補強	ダクト等四方補強 スタッド 65形 450×900mm程度	か所	U
壁下地開口部補強	ダクト等四方補強 スタッド 90形 300×600mm程度	か所	V
壁下地開口部補強	ダクト等四方補強 スタッド 90形 450×900mm程度	か所	W
屋内天井下地開口部補強	ボルト等切込み共 野縁19形 300×300mm程度	か所	XA
屋内天井下地開口部補強	ボルト等切込み共 野縁19形 450×450mm程度	か所	XB
屋内天井下地開口部補強	ボルト等切込み共 野縁19形 600×600mm程度	か所	XC
屋内天井下地開口部補強	ボルト等切込み共 野縁19形 300×1200mm程度	か所	XD
屋内天井下地開口部補強	ボルト等切込み共 野縁19形 300×3600mm程度	か所	XE
屋外天井下地開口部補強	ボルト等切込み共 野縁25形 450×450mm程度	か所	YA
屋外天井下地開口部補強	ボルト等切込み共 野縁25形 600×600mm程度	か所	YB

\* \* 参考歩掛り \* \*

細 目	摘 要	単位	歩掛り記号	表番号
軽量鉄骨天井下地	19形 (屋内) 下張りなし @225	m <sup>2</sup>	i	表RA-14-2
軽量鉄骨天井下地	19形 (屋内) 下張りなし @300	m <sup>2</sup>	j	表RA-14-2
軽量鉄骨天井下地	19形 (屋内) 下張りあり @360	m <sup>2</sup>	k	表RA-14-2
軽量鉄骨天井下地	19形 (屋内) 金属成形板用 @360	m <sup>2</sup>	④	表RA-14-2
軽量鉄骨天井下地	25形 (屋外) 下張りなし @225	m <sup>2</sup>	⑯	表RA-14-2
軽量鉄骨天井下地	25形 (屋外) 下張りなし @300	m <sup>2</sup>	l	表RA-14-2
軽量鉄骨天井下地	25形 (屋外) 下張りあり @360	m <sup>2</sup>	㉑	表RA-14-2
軽量鉄骨天井下地	25形 (屋外) 金属成形板用 @360	m <sup>2</sup>	㉕	表RA-14-2

\*\*協議会歩掛り\*\*

細　　目	摘　　要	単位	歩掛り記号	備　　考
軽量鉄骨壁開口部補強	65形 出入口等 リップ みぞ形鋼補強 片開き (900×2000程度)	か所	p	軽量鉄骨壁開口部補強※
軽量鉄骨壁開口部補強	65形 出入口等 リップ みぞ形鋼補強 親子 (1200×2000程度)	か所	29	
軽量鉄骨壁開口部補強	65形 出入口等 リップ みぞ形鋼補強 両開き (1800×2000程度)	か所	q	
軽量鉄骨壁開口部補強	65形 ダ'外等 スタッド、シナ同材補強 吹出口 (200×400程度)	か所	34	
軽量鉄骨壁開口部補強	65形 ダ'外等 スタッド、シナ同材補強 ダ'外 (300×600程度)	か所	t	
軽量鉄骨壁開口部補強	65形 ダ'外等 スタッド、シナ同材補強 ダ'外 (450×900程度)	か所	u	
軽量鉄骨壁開口部補強	90形 出入口等 リップ みぞ形鋼補強 片開き (900×2000程度)	か所	r	
軽量鉄骨壁開口部補強	90形 出入口等 リップ みぞ形鋼補強 親子 (1200×2000程度)	か所	30	
軽量鉄骨壁開口部補強	90形 出入口等 リップ みぞ形鋼補強 両開き (1800×2000程度)	か所	s	
軽量鉄骨壁開口部補強	90形 ダ'外等 スタッド、シナ同材補強 吹出口 (200×400程度)	か所	35	
軽量鉄骨壁開口部補強	90形 ダ'外等 スタッド、シナ同材補強 ダ'外 (300×600程度)	か所	v	
軽量鉄骨壁開口部補強	90形 ダ'外等 スタッド、シナ同材補強 ダ'外 (450×900程度)	か所	w	
軽量鉄骨壁開口部補強	100形 出入口等 リップ みぞ形鋼補強 片開き (900×2000程度)	か所	31	
軽量鉄骨壁開口部補強	100形 出入口等 リップ みぞ形鋼補強 親子 (1200×2000程度)	か所	32	
軽量鉄骨壁開口部補強	100形 出入口等 リップ みぞ形鋼補強 両開き (1800×2000程度)	か所	33	
軽量鉄骨壁開口部補強	100形 ダ'外等 スタッド、シナ同材補強 吹出口 (200×400程度)	か所	36	
軽量鉄骨壁開口部補強	100形 ダ'外等 スタッド、シナ同材補強 ダ'外 (300×600程度)	か所	37	
軽量鉄骨壁開口部補強	100形 ダ'外等 スタッド、シナ同材補強 ダ'外 (450×900程度)	か所	38	
軽量鉄骨天井開口部補強	19形150角,150 φ以下ボ'ド' 切込み共	か所	39	軽量鉄骨天井開口部補強※
軽量鉄骨天井開口部補強	19形300角,300 φ以下ボ'ド' 切込み共	か所	x a	
軽量鉄骨天井開口部補強	19形450角,450 φ以下ボ'ド' 切込み共	か所	x b	
軽量鉄骨天井開口部補強	19形650角,650 φ以下ボ'ド' 切込み共	か所	x c	
軽量鉄骨天井開口部補強	19形900角,900 φ以下ボ'ド' 切込み共	か所	40	
軽量鉄骨天井開口部補強	19形1300角,1300 φ以下ボ'ド' 切込み共	か所	41	
軽量鉄骨天井開口部補強	19形300×1300以下ボ'ド' 切込み共	か所	x d	
軽量鉄骨天井開口部補強	19形300×2500以下ボ'ド' 切込み共	か所	42	
軽量鉄骨天井開口部補強	19形300×3700以下ボ'ド' 切込み共	か所	x e	
軽量鉄骨天井開口部補強	25形150角,150 φ以下ボ'ド' 切込み共	か所	43	
軽量鉄骨天井開口部補強	25形300角,300 φ以下ボ'ド' 切込み共	か所	44	
軽量鉄骨天井開口部補強	25形450角,450 φ以下ボ'ド' 切込み共	か所	y a	
軽量鉄骨天井開口部補強	25形650角,650 φ以下ボ'ド' 切込み共	か所	y b	
軽量鉄骨天井開口部補強	25形900角,900 φ以下ボ'ド' 切込み共	か所	45	
軽量鉄骨天井開口部補強	25形1300角,1300 φ以下ボ'ド' 切込み共	か所	46	
軽量鉄骨天井開口部補強	25形300×1300以下ボ'ド' 切込み共	か所	47	
軽量鉄骨天井開口部補強	25形300×2500以下ボ'ド' 切込み共	か所	48	
軽量鉄骨天井開口部補強	25形300×3700以下ボ'ド' 切込み共	か所	49	

※當緒積算システム等開発利用協議会参考資料参照

\*\*補正市場単価\*\*

細　　目	摘　　要	単位	市場単価	算定式
壁下地開口部補強	扉等三方補強 スタッド 65形 1200×2000mm程度	か所	P	29÷p
壁下地開口部補強	扉等三方補強 スタッド 90形 1200×2000mm程度	か所	R	30÷r
壁下地開口部補強	扉等三方補強 スタッド 100形 900×2000mm程度	か所	R	31÷r
壁下地開口部補強	扉等三方補強 スタッド 100形 1200×2000mm程度	か所	R	32÷r
壁下地開口部補強	扉等三方補強 スタッド 100形 1800×2000mm程度	か所	R	33÷r
壁下地開口部補強	ダ'外等四方補強 スタッド 65形 200×400mm程度	か所	T	34÷t
壁下地開口部補強	ダ'外等四方補強 スタッド 90形 200×400mm程度	か所	V	35÷v
壁下地開口部補強	ダ'外等四方補強 スタッド 100形 200×400mm程度	か所	V	36÷v
壁下地開口部補強	ダ'外等四方補強 スタッド 100形 300×600mm程度	か所	V	37÷v
壁下地開口部補強	ダ'外等四方補強 スタッド 100形 450×900mm程度	か所	V	38÷v
屋内天井下地開口部補強	ボ'ド等切込み共 野縁19形 150×150mm程度	か所	XA	39÷xa
屋内天井下地開口部補強	ボ'ド等切込み共 野縁19形 900×900mm程度	か所	XB	40÷xb
屋内天井下地開口部補強	ボ'ド等切込み共 野縁19形 1300×1300mm程度	か所	XB	41÷xb
屋内天井下地開口部補強	ボ'ド等切込み共 野縁19形 300×2500mm程度	か所	XD	42÷xd
屋外天井下地開口部補強	ボ'ド等切込み共 野縁25形 150×150mm程度	か所	YA	43÷ya
屋外天井下地開口部補強	ボ'ド等切込み共 野縁25形 300×300mm程度	か所	YA	44÷ya
屋外天井下地開口部補強	ボ'ド等切込み共 野縁25形 900×900mm程度	か所	YA	45÷ya
屋外天井下地開口部補強	ボ'ド等切込み共 野縁25形 1300×1300mm程度	か所	YA	46÷ya
屋外天井下地開口部補強	ボ'ド等切込み共 野縁25形 300×1200mm程度	か所	YA	47÷ya
屋外天井下地開口部補強	ボ'ド等切込み共 野縁25形 300×2500mm程度	か所	YA	48÷ya
屋外天井下地開口部補強	ボ'ド等切込み共 野縁25形 300×3600mm程度	か所	YA	49÷ya
屋内軽量鉄骨天井下地	野縁19形 @360 ふところ高 1.5m未満 金属成形板用	m <sup>2</sup>	K	④÷k
屋外軽量鉄骨天井下地	野縁25形 @225 ふところ高 1.0m未満 直張り用	m <sup>2</sup>	L	⑯÷l
屋外軽量鉄骨天井下地	野縁25形 @360 ふところ高 1.0m未満 下地張りあり	m <sup>2</sup>	L	㉑÷l
屋外軽量鉄骨天井下地	野縁25形 @360 ふところ高 1.0m未満 金属成形板用	m <sup>2</sup>	L	㉒÷l

【 左官 】

\* \* 市場単価 \* \*

細 目	摘 要	単位	単価記号
床コンクリート面直均し仕上げ	金ごて 直均し仕上げ 薄張物下地【手間のみ】	m <sup>2</sup>	A
床コンクリート面直均し仕上げ	金ごて 防水下地 厚張物下地【手間のみ】	m <sup>2</sup>	B
床モルタル塗り	金ごて 厚28 張物下地	m <sup>2</sup>	C
床モルタル塗り	木ごて 厚37 一般タイル下地	m <sup>2</sup>	D
床モルタル塗り	金ごて 厚15 防水下地	m <sup>2</sup>	E
階段モルタル塗り	金ごて 厚28 張物下地	m <sup>2</sup>	F
幅木モルタル塗り	金ごて H100 出幅木	m	G
幅木モルタル塗り	金ごて H100 目地用 ジョイケ-共	m	H
さら幅木モルタル塗り	金ごて H150 出幅木	m	I
壁モルタル塗り	金ごて 厚20 内壁 3回塗り	m <sup>2</sup>	J
柱型モルタル塗り	金ごて 厚20 3回塗り	m <sup>2</sup>	K
はり型モルタル塗り	金ごて 厚20 3回塗り	m <sup>2</sup>	L
壁モルタル塗り	木ごて 厚16 外壁小口タイル下地 2回塗り	m <sup>2</sup>	M
壁モルタル塗り	木ごて 厚20 外壁ユニットタイル下地 2回塗り	m <sup>2</sup>	N
壁モルタル塗り	木ごて 厚11 内壁小口タイル下地 2回塗り	m <sup>2</sup>	O
壁モルタル塗り	木ごて 厚15 内壁ユニットタイル下地 2回塗り	m <sup>2</sup>	P
壁薄塗モルタル塗り	金ごて 厚5 既調合品	m <sup>2</sup>	Q
柱薄塗モルタル塗り	金ごて 厚5 既調合品	m <sup>2</sup>	R
はり薄塗モルタル塗り	金ごて 厚5 既調合品	m <sup>2</sup>	S
笠木天端コンクリート直均し仕上げ	金ごて 幅300 【手間のみ】	m	T
水切りモルタル塗り	金ごて 糸幅200 厚30	m	U
手摺笠木モルタル塗り	金ごて 糸幅200 厚30	m	V
側溝モルタル塗り	金ごて 糸幅200 厚30	m	W
建具周囲モルタル充填	内部建具	m	X
建具周囲防水モルタル充填	外部建具	m	Y

\* \* 参考歩掛り \* \*

細 目	摘 要	単位	歩掛り記号	表番号
床モルタル塗り	ビニル系床材下地	m <sup>2</sup>	c	表RA-15-2
床モルタル塗り	一般タイル下地	m <sup>2</sup>	d	表RA-15-2
床モルタル塗り	防水下地	m <sup>2</sup>	e	表RA-15-2
階段モルタル塗り	ビニル系床材下地	m <sup>2</sup>	f	表RA-15-3
幅木モルタル塗り	出幅木 H=100mm	m	g	表RA-15-5
幅木モルタル塗り	階段出幅木 H=150mm	m	i	表RA-15-5
壁モルタル塗り	モルタル仕上 内壁 金ごて	m <sup>2</sup>	j	表RA-15-6
壁モルタル塗り	下地モルタル 外装タイル下地 外壁	m <sup>2</sup>	m	表RA-15-7
壁モルタル塗り	下地モルタル ユニットタイル下地 外壁	m <sup>2</sup>	n	表RA-15-7
壁モルタル塗り	下地モルタル 外装タイル下地 内壁	m <sup>2</sup>	o	表RA-15-7
外部役物モルタル塗り	水切 糸 = 170mm	m	u	表RA-15-8
床モルタル塗り	モルタル仕上げ	m <sup>2</sup>	①	表RA-15-2
床モルタル塗り	ユニットタイル下地	m <sup>2</sup>	③	表RA-15-2
階段モルタル塗り	モルタル仕上げ	m <sup>2</sup>	④	表RA-15-3

\*\*参考歩掛り\*\*

細　目	摘　　要	単位	歩掛り記号	表番号
幅木モルタル塗り	出幅木 H=300mm	m	⑥	表RA-15-5
床役物モルタル塗り	くつずり幅=100mm 戸当たり付	m	⑦	表RA-15-4
床役物モルタル塗り	くつずり幅=100mm 戸当たり無	m	⑧	表RA-15-4
床役物モルタル塗り	ボーダー幅=150mm 平部	m	⑨	表RA-15-4
床役物モルタル塗り	ボーダー幅=150mm 階段部	m	⑩	表RA-15-4
壁モルタル塗り	下地モルタル 内装タイル下地 接着張り	m <sup>2</sup>	⑪	表RA-15-7
壁モルタル塗り	モルタル仕上 外壁 金ごて	m <sup>2</sup>	⑫	表RA-15-6
壁モルタル塗り	下地モルタル 内装タイル下地 改良積上張り	m <sup>2</sup>	⑬	表RA-15-7
壁モルタル塗り	モルタル仕上 内壁 はけ引き	m <sup>2</sup>	⑭	表RA-15-6
壁モルタル塗り	モルタル仕上 外壁 はけ引き	m <sup>2</sup>	⑮	表RA-15-6
外部役物モルタル塗り	パラベット 糸幅=500mm	m	⑯	表RA-15-8
外部役物モルタル塗り	笠木 糸幅=340mm	m	⑰	表RA-15-8
外部役物モルタル塗り	窓台 糸幅=150mm	m	⑱	表RA-15-8
内部役物モルタル塗り	膳板 糸幅=150mm	m	⑲	表RA-15-9

\*\*補正市場単価\*\*

細　目	摘　　要	単位	市場単価	算定式
床モルタル塗り	金ごて 厚30 モルタル仕上げ	m <sup>2</sup>	C	①÷c
床モルタル塗り	金ごて 厚30 塗り仕上げ下地	m <sup>2</sup>	C	①÷c
床モルタル塗り	木ごて 厚22 ユニットタイル下地	m <sup>2</sup>	D	③÷d
階段モルタル塗り	金ごて 厚30 モルタル仕上げ	m <sup>2</sup>	F	④÷f
階段モルタル塗り	金ごて 厚30 塗り仕上げ下地	m <sup>2</sup>	F	④÷f
幅木モルタル塗り	金ごて H300 出幅木	m	G	⑥÷g
くつずりモルタル塗り	金ごて 幅100 戸当り有り	m	G	⑦÷g
くつずりモルタル塗り	金ごて 幅100 戸当り無し	m	G	⑧÷g
ボーダーモルタル塗り	金ごて 幅150 平部	m	I	⑨÷i
ボーダーモルタル塗り	金ごて 幅150 階段部	m	I	⑩÷i
壁モルタル塗り	金ごて 厚25 外壁 3回塗り	m <sup>2</sup>	J	⑫÷j
壁モルタル塗り	金ごて 内装タイル接着張り下地	m <sup>2</sup>	J	⑪÷j
壁モルタル塗り	木ごて 内装タイル改良積上張り下地	m <sup>2</sup>	O	⑬÷o
壁モルタル塗り	刷毛引き 厚20 内壁	m <sup>2</sup>	J	⑭÷j
壁モルタル塗り	刷毛引き 厚25 外壁	m <sup>2</sup>	J	⑮÷j
笠木モルタル塗り	パラベット 金ごて 糸幅500程度	m	U	⑯÷u
笠木モルタル塗り	金ごて 糸幅340程度	m	U	⑰÷u
窓台モルタル塗り	金ごて 糸幅150程度	m	U	⑱÷u
膳板モルタル塗り	金ごて 糸幅150程度	m	U	⑲÷u

【 建具 】

\* \* 市場単価 \* \*

細　　目	摘　　要	単位	単価記号
型板ガラス	厚4mm 特寸2.18m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	A
網入型板ガラス	厚6.8mm 特寸2.18m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	B
フロート板ガラス	厚5mm 特寸2.18m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	C
フロート板ガラス	厚5mm 特寸4.45m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	D
フロート板ガラス	厚6mm 特寸2.18m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	E
フロート板ガラス	厚6mm 特寸4.45m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	F
網入磨き板ガラス	厚6.8mm 特寸2.18m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	G
複層ガラス	FL5+A6+FL5 特寸2.0m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	H
複層ガラス	FL5+A6+PW6.8 特寸2.0m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	I
強化ガラス	厚8mm 特寸2.0m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	J
ガラスとめシーリング	片面5×5 パックテープ 材共 シリコン系 1成分形	m	K

\* \* 参考歩掛り \* \*

細　　目	摘　　要	単位	歩掛り記号	表番号
型板ガラス	厚4mm 特寸2.18m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	a	表RA-16-6
網入型板ガラス	厚6.8mm 特寸2.18m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	b	表RA-16-7
フロート板ガラス	厚5mm 特寸2.18m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	c	表RA-16-8
フロート板ガラス	厚5mm 特寸4.45m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	d	表RA-16-8
フロート板ガラス	厚6mm 特寸2.18m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	e	表RA-16-8
フロート板ガラス	厚6mm 特寸4.45m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	f	表RA-16-8
網入磨き板ガラス	厚6.8mm 特寸2.18m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	g	表RA-16-10
複層ガラス	FL5:A6:FL5 2.0m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	h	表RA-16-13
複層ガラス	FL5:A6:PW6.8 2.0m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	i	表RA-16-13
強化ガラス	厚8mm 特寸2.0m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	j	表RA-16-15
型板ガラス	厚6mm 特寸2.18m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	①	表RA-16-6
網入型板ガラス	厚6.8mm 特寸4.45m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	②	表RA-16-7
フロート板ガラス	厚3mm 特寸2.18m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	③	表RA-16-8
フロート板ガラス	厚8mm 特寸2.18m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	④	表RA-16-9
フロート板ガラス	厚8mm 特寸4.45m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	⑤	表RA-16-9
フロート板ガラス	厚8mm 特寸6.81m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	⑥	表RA-16-9
網入磨き板ガラス	厚6.8mm 特寸4.45m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	⑨	表RA-16-10
複層ガラス	FL3:A6:FL3 2.0m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	⑫	表RA-16-13
複層ガラス	FL3:A6:FL3 4.0m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	⑬	表RA-16-13
複層ガラス	FL5:A6:FL5 4.0m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	⑭	表RA-16-13
複層ガラス	FL6:A6:FL6 2.0m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	⑮	表RA-16-13
複層ガラス	FL6:A6:FL6 4.0m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	⑯	表RA-16-13
複層ガラス	FL5:A6:PW6.8 4.0m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	⑰	表RA-16-13
複層ガラス	FL6:A6:PW6.8 2.0m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	⑱	表RA-16-13
複層ガラス	FL6:A6:PW6.8 4.0m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	⑲	表RA-16-13
強化ガラス	厚5mm 特寸2.0m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	⑳	表RA-16-14
強化ガラス	厚5mm 特寸4.0m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	㉑	表RA-16-14

\*\*参考歩掛り\*\*

細目	摘要	単位	歩掛り記号	表番号
強化ガラス	厚6mm 特寸2.0m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	②	表RA-16-14
強化ガラス	厚6mm 特寸4.0m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	③	表RA-16-14
強化ガラス	厚8mm 特寸4.0m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	④	表RA-16-15
強化ガラス	厚10mm 特寸4.0m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	⑤	表RA-16-16
強化ガラス	厚12mm 特寸4.0m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	⑥	表RA-16-16

\*\*補正市場単価\*\*

細目	摘要	単位	市場単価	算定式
型板ガラス	厚6mm 特寸2.18m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	A	①÷a
網入型板ガラス	厚6.8mm 特寸4.45m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	B	②÷b
フロート板ガラス	厚3mm 特寸2.18m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	C	③÷c
フロート板ガラス	厚8mm 特寸2.18m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	E	④÷e
フロート板ガラス	厚8mm 特寸4.45m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	F	⑤÷f
フロート板ガラス	厚8mm 特寸6.81m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	F	⑥÷f
網入磨き板ガラス	厚6.8mm 特寸4.45m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	G	⑨÷g
複層ガラス	FL3+A6+FL3 特寸2.0m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	H	⑫÷h
複層ガラス	FL3+A6+FL3 特寸4.0m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	H	⑬÷h
複層ガラス	FL5+A6+FL5 特寸4.0m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	H	⑭÷h
複層ガラス	FL6+A6+FL6 特寸2.0m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	H	⑮÷h
複層ガラス	FL6+A6+FL6 特寸4.0m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	H	⑯÷h
複層ガラス	FL5+A6+PW6.8 特寸4.0m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	I	⑰÷i
複層ガラス	FL6+A6+PW6.8 特寸2.0m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	I	⑱÷i
複層ガラス	FL6+A6+PW6.8 特寸4.0m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	I	⑲÷i
強化ガラス	厚5mm 特寸2.0m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	J	⑳÷j
強化ガラス	厚5mm 特寸4.0m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	J	㉑÷j
強化ガラス	厚6mm 特寸2.0m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	J	㉒÷j
強化ガラス	厚6mm 特寸4.0m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	J	㉓÷j
強化ガラス	厚8mm 特寸4.0m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	J	㉔÷j
強化ガラス	厚10mm 特寸4.0m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	J	㉕÷j
強化ガラス	厚12mm 特寸4.0m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	J	㉖÷j

\*\*協議会歩掛り\*\*

細目	摘要	単位	歩掛り記号	備考
フロート板ガラス	フロート板ガラス規格 厚10 4.45m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	⑦	フロート板ガラス※
フロート板ガラス	フロート板ガラス規格 厚10 6.81m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	⑧	
網入磨き板ガラス	網入磨き板ガラス規格 厚10 4.45m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	⑩	網入磨き板ガラス※
網入磨き板ガラス	網入磨き板ガラス規格 厚10 6.81m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	⑪	

※営繕積算システム等開発利用協議会参考資料参照

\*\*補正市場単価\*\*

細目	摘要	単位	市場単価	算定式
フロート板ガラス	厚10mm 特寸4.45m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	F	⑦÷f
フロート板ガラス	厚10mm 特寸6.81m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	F	⑧÷f
網入磨き板ガラス	厚10mm 特寸4.45m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	G	⑩÷g
網入磨き板ガラス	厚10mm 特寸6.81m <sup>2</sup> 以下	m <sup>2</sup>	G	⑪÷g

【塗装】改修工事は、【塗装改修】を参照する。

\*\* 市場単価 \*\*

細目	摘要			単位	単価記号	
	下地種類等	塗装種別	作業工程			
鉄止め塗り	現場1回 鉄鋼面(屋内外)	As種	A種	m <sup>2</sup>	A	
鉄止め塗り	現場1回 鉄鋼面(屋内)	Bs種	A種	m <sup>2</sup>	B	
鉄止め塗り	現場1回 垂鉛めっき鋼・鋼製建具面(屋内外)	Az種	A種	m <sup>2</sup>	C	
SOP塗り	鉄鋼・垂鉛めっき鋼・鋼製建具面(屋内外)	1種	B種	m <sup>2</sup>	D	
SOP塗り	(素地ごしらえA種共)木部(屋内)	1種	B種	m <sup>2</sup>	E	
EP塗り	(素地ごしらえB種共) せっこうぼード面		B種	m <sup>2</sup>	F	
EP塗り	(素地ごしらえB種共) けい酸ガルシム板・モルタル面		B種	m <sup>2</sup>	R	
DP塗り	鉄鋼・垂鉛めっき鋼・鋼製建具面	1級		m <sup>2</sup>	G	
CL塗り	(素地ごしらえB種共)木部		B種	m <sup>2</sup>	I	
OS塗り	(素地ごしらえB種共)木部			m <sup>2</sup>	J	
SOP塗り	細幅物糸幅300mm以下 (素地ごしらえA種共)木部(屋内)	1種	B種	m	K	
SOP塗り	細幅物糸幅300mm以下 (鉄止め現場1回共)鉄鋼面(屋内)		B種	m	L	
CL塗り	細幅物糸幅300mm以下(素地ごしらえB種共)木部		B種	m	M	
OS塗り	細幅物糸幅300mm以下(素地ごしらえB種共)木部			m	N	
素地ごしらえ	木部(屋内)		A種	m <sup>2</sup>	O	
素地ごしらえ	せっこうぼード面		B種	m <sup>2</sup>	P	
素地ごしらえ	けい酸ガルシム板・モルタル面		B種	m <sup>2</sup>	S	
素地ごしらえ	押出成形セメント板面		B種	m <sup>2</sup>	Q	

\*\* 参考歩掛り (標仕様) \*\*

細目	摘要			単位	歩掛り記号	表番号
	下地種類等	塗装種別	作業工程			
鉄止め塗り	現場1回 鉄鋼面(仕様:第8節)	鉛沢ム2種	A種	m <sup>2</sup>	1	表RA-17-7
鉄止め塗り	現場1回 鉄鋼面(仕様:第8節)	鉛沢ム2種	B種	m <sup>2</sup>	2	表RA-17-7
鉄止め塗り	現場1回 鉄鋼面 素地ごしらえ別途(仕様:第4節)	鉛沢ム1種	A種	m <sup>2</sup>	119	表RA-17-7
鉄止め塗り	現場1回 鉄鋼面 素地ごしらえ別途(仕様:第4節)	鉛沢ム1種	B種	m <sup>2</sup>	3	表RA-17-7
鉄止め塗り	工場1回 鉄鋼面 素地ごしらえ別途(仕様:第4節)	鉛沢ム1種	A,B種	m <sup>2</sup>	4	表RA-17-7
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	木部 素地ごしらえ別途	1種	A種	m <sup>2</sup>	120	表RA-17-8
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	木部 素地ごしらえ別途	1種	B種	m <sup>2</sup>	121	表RA-17-8
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	鉄鋼面(屋内外)	1種	A種	m <sup>2</sup>	9	表RA-17-8
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	鉄鋼面(屋内外)	1種	B種	m <sup>2</sup>	d 1	表RA-17-8
EP塗り(合成樹脂エマルションペイント塗り)	一般面 素地ごしらえ別途		A種	m <sup>2</sup>	12	表RA-17-9
EP塗り(合成樹脂エマルションペイント塗り)	見上げ面 素地ごしらえ別途		A種	m <sup>2</sup>	13	表RA-17-9
EP塗り(合成樹脂エマルションペイント塗り)	一般面 素地ごしらえ別途		B種	m <sup>2</sup>	122	表RA-17-9
EP塗り(合成樹脂エマルションペイント塗り)	見上げ面 素地ごしらえ別途		B種	m <sup>2</sup>	123	表RA-17-9
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルションペイント塗り)	一般面 素地ごしらえ別途		A種	m <sup>2</sup>	44	表RA-17-10
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルションペイント塗り)	見上げ面 素地ごしらえ別途		A種	m <sup>2</sup>	45	表RA-17-10

## \*\*参考歩掛り（標仕仕様）\*\*

細目	摘要			単位	歩掛り記号	表番号
	下地種類等	塗装種別	作業工程			
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	一般面 素地ごしらえ別途		B種	m <sup>2</sup>	46	表RA-17-10
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	見上げ面 素地ごしらえ別途		B種	m <sup>2</sup>	48	表RA-17-10
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	屋内木部 素地ごしらえ別途			m <sup>2</sup>	109	表RA-17-11
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	屋内鉄鋼面 素地ごしらえ別途		A種	m <sup>2</sup>	111	表RA-17-12
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	屋内鉄鋼面 素地ごしらえ別途		B種	m <sup>2</sup>	114	表RA-17-12
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	屋内垂鉛めっき鋼面 素地ごしらえ別途			m <sup>2</sup>	117	表RA-17-13
アクリル樹脂系非分散形塗料塗り	素地ごしらえ別途		A種	m <sup>2</sup>	76	表RA-17-14
アクリル樹脂系非分散形塗料塗り	素地ごしらえ別途		B種	m <sup>2</sup>	78	表RA-17-14
CL塗り(クリヤッカ-塗り)	木部 素地ごしらえ別途		A種	m <sup>2</sup>	94	表RA-17-15
CL塗り(クリヤッカ-塗り)	木部 素地ごしらえ別途		B種	m <sup>2</sup>	i	表RA-17-15
LE塗り(ラッカ-コメル塗り)	素地ごしらえ別途		A種	m <sup>2</sup>	95	表RA-17-16
LE塗り(ラッカ-コメル塗り)	素地ごしらえ別途		B種	m <sup>2</sup>	96	表RA-17-16
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	細幅物糸幅300mm以下(素地ごしらえ共)木部		A種	m	124	表RA-17-18
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	細幅物糸幅300mm以下(素地ごしらえ共)木部		B種	m	125	表RA-17-18
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り)	細幅物糸幅300mm以下(素地ごしらえ共)木部	水系		m	97	表RA-17-19
CL塗り(クリヤッカ-塗り)	細幅物糸幅300mm以下(素地ごしらえ共)木部		A種	m	98	表RA-17-20
CL塗り(クリヤッカ-塗り)	細幅物糸幅300mm以下(素地ごしらえ共)木部		B種	m	m	表RA-17-20
LE塗り(ラッカ-コメル塗り)	細幅物糸幅300mm以下(素地ごしらえ共)木部		A種	m	129	表RA-17-21
LE塗り(ラッカ-コメル塗り)	細幅物糸幅300mm以下(素地ごしらえ共)木部		B種	m	130	表RA-17-21
OS塗り(オイルステイン塗り)	細幅物糸幅300mm以下(素地ごしらえ共)木部			m	n	表RA-17-22
素地ごしらえ	木部(屋外)		A種	m <sup>2</sup>	126	表RA-17-1
素地ごしらえ	木部(屋内)		A種	m <sup>2</sup>	127	表RA-17-1
素地ごしらえ	木部(屋内)セラックニス		A種	m <sup>2</sup>	131	表RA-17-1
素地ごしらえ	木部		B種	m <sup>2</sup>	99	表RA-17-1
素地ごしらえ	鉄鋼面		B種	m <sup>2</sup>	100	表RA-17-1
素地ごしらえ	鉄鋼面		C種	m <sup>2</sup>	101	表RA-17-1
素地ごしらえ	モルタル面及びせっこうプラスター面		A種	m <sup>2</sup>	102	表RA-17-2
素地ごしらえ	モルタル面及びせっこうプラスター面		B種	m <sup>2</sup>	p 1	表RA-17-2
素地ごしらえ	モルタル面及びせっこうプラスター面(付着物の除去)			m <sup>2</sup>	103	表RA-17-2
素地ごしらえ	コンクリート面		A種	m <sup>2</sup>	104	表RA-17-3
素地ごしらえ	コンクリート面		B種	m <sup>2</sup>	105	表RA-17-3
素地ごしらえ	せっこうボート面及びその他ボード面		A種	m <sup>2</sup>	106	表RA-17-5
素地ごしらえ	せっこうボート面及びその他ボード面		B種	m <sup>2</sup>	128	表RA-17-5
素地ごしらえ	けい酸カルシウム板面		A種	m <sup>2</sup>	107	表RA-17-6
素地ごしらえ	押出成形セメント板面		A種	m <sup>2</sup>	108	表RA-17-4
素地ごしらえ	押出成形セメント板面		B種	m <sup>2</sup>	q	表RA-17-4

## \*\*参考歩掛り（改修標仕様）\*\*

細目	摘要			単位	歩掛り記号	表番号
	下地種類等	塗装種別	作業工程 (塗り回数)			
鉛止め塗り	現場 1回 鉄鋼面 素地ごしらえ別途(仕様:第4節)	鉛剤M1種	A種	m <sup>2</sup>	2'	表RA-17-30
鉛止め塗り	現場 1回 鉄鋼面 素地ごしらえ別途(仕様:第4節)	鉛剤M1種	B種	m <sup>2</sup>	4'	表RA-17-30
鉛止め塗り	現場 2回 鉄鋼面 素地ごしらえ別途(仕様:第4節)	鉛剤M1種	C種	m <sup>2</sup>	5'	表RA-17-30
鉛止め塗り	工場 1回 鉄鋼面 素地ごしらえ別途(仕様:第4節)	鉛剤M1種	A,B種	m <sup>2</sup>	6'	表RA-17-30
鉛止め塗り	現場 1回 鉄鋼面 (仕様:第9節)	鉛剤M2種	A種	m <sup>2</sup>	10'	表RA-17-31
鉛止め塗り	現場 1回 鉄鋼面 (仕様:第9節)	鉛剤M2種	B種	m <sup>2</sup>	14'	表RA-17-31
鉛止め塗り	現場 2回 鉄鋼面 (仕様:第9節)	鉛剤M2種	C種	m <sup>2</sup>	16'	表RA-17-31
鉛止め塗り	工場 1回 鉄鋼面 (仕様:第9節)	鉛剤M2種	A,B種	m <sup>2</sup>	18'	表RA-17-31
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	木部 下地調整別途	1種	A種	m <sup>2</sup>	48'	表RA-17-32
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	木部 下地調整別途	1種	B種	m <sup>2</sup>	50'	表RA-17-32
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	木部 下地調整別途	1種	C種	m <sup>2</sup>	52'	表RA-17-32
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	鉄鋼面(新規面) 下地調整別途	1種	A種	m <sup>2</sup>	54'	表RA-17-33
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	鉄鋼面(塗替え面) 下地調整別途	1種	A種	m <sup>2</sup>	319'	表RA-17-33
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	鉄鋼面(新規面) 下地調整別途	1種	B種	m <sup>2</sup>	55'	表RA-17-33
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	鉄鋼面(塗替え面) 下地調整別途	1種	B種	m <sup>2</sup>	320'	表RA-17-33
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	鉄鋼面(塗替え面) 下地調整別途	1種	C種	m <sup>2</sup>	61'	表RA-17-33
アクリル樹脂系非分散形塗料塗り	下地調整別途		A種	m <sup>2</sup>	76'	表RA-17-39
アクリル樹脂系非分散形塗料塗り	下地調整別途		B種	m <sup>2</sup>	78'	表RA-17-39
CL塗り(クリヤッカ-塗り)	木部 下地調整別途		A種	m <sup>2</sup>	105'	表RA-17-40
LE塗り(ラッカーカル塗り)	木部 下地調整別途		A種	m <sup>2</sup>	132'	表RA-17-41
LE塗り(ラッカーカル塗り)	木部 下地調整別途		B種	m <sup>2</sup>	133'	表RA-17-41
EP塗り(合成樹脂エマルションペイント塗り)	一般面 下地調整別途		A種	m <sup>2</sup>	110'	表RA-17-34
EP塗り(合成樹脂エマルションペイント塗り)	見上げ面 下地調整別途		A種	m <sup>2</sup>	111'	表RA-17-34
EP塗り(合成樹脂エマルションペイント塗り)	一般面 下地調整別途		B種	m <sup>2</sup>	112'	表RA-17-34
EP塗り(合成樹脂エマルションペイント塗り)	見上げ面 下地調整別途		B種	m <sup>2</sup>	113'	表RA-17-34
EP塗り(合成樹脂エマルションペイント塗り)	一般面 下地調整別途		C種	m <sup>2</sup>	118'	表RA-17-34
EP塗り(合成樹脂エマルションペイント塗り)	見上げ面 下地調整別途		C種	m <sup>2</sup>	120'	表RA-17-34
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルションペイント塗り)	一般面 下地調整別途		A種	m <sup>2</sup>	204'	表RA-17-35
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルションペイント塗り)	見上げ面 下地調整別途		A種	m <sup>2</sup>	205'	表RA-17-35
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルションペイント塗り)	一般面 下地調整別途		B種	m <sup>2</sup>	206'	表RA-17-35
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルションペイント塗り)	見上げ面 下地調整別途		B種	m <sup>2</sup>	207'	表RA-17-35
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルションペイント塗り)	一般面 下地調整別途		C種	m <sup>2</sup>	212'	表RA-17-35
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルションペイント塗り)	見上げ面 下地調整別途		C種	m <sup>2</sup>	214'	表RA-17-35
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルションペイント塗り)	屋内木部 下地調整別途		A種	m <sup>2</sup>	182'	表RA-17-36
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルションペイント塗り)	屋内木部 下地調整別途		B種	m <sup>2</sup>	184'	表RA-17-36
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルションペイント塗り)	屋内木部 下地調整別途		C種	m <sup>2</sup>	186'	表RA-17-36
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルションペイント塗り)	屋内鉄鋼面 下地調整別途		A種	m <sup>2</sup>	188'	表RA-17-37
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルションペイント塗り)	屋内鉄鋼面 下地調整別途		B種	m <sup>2</sup>	191'	表RA-17-37
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルションペイント塗り)	屋内鉄鋼面 下地調整別途		C種	m <sup>2</sup>	194'	表RA-17-37
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルションペイント塗り)	屋内垂鉛めっき鋼面 下地調整別途		A種	m <sup>2</sup>	196'	表RA-17-38
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルションペイント塗り)	屋内垂鉛めっき鋼面 下地調整別途		B種	m <sup>2</sup>	199'	表RA-17-38
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	細幅物糸幅300mm以下(下地RA種 新規面) 木部	1種	B種	m	39'	表RA-17-43

## \*\* 参考歩掛り (改修標仕仕様) \*\*

細 目	摘要			単位	歩掛り記号	表番号
	下地種類等	塗装種別	作業工程 (塗り回数)			
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	細幅物糸幅300mm以下(下地RB種 塗替面) 木部	1種	B種	m	4 0'	表RA-17-43
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	細幅物糸幅300mm以下(下地RC種 塗替面) 木部	1種	C種	m	4 1'	表RA-17-43
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルションペイント塗り)	細幅物糸幅300mm以下(下地RA種 新規面) 木部		A種	m	4 2'	表RA-17-44
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルションペイント塗り)	細幅物糸幅300mm以下(下地RB種 塗替面) 木部		B種	m	4 3'	表RA-17-44
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルションペイント塗り)	細幅物糸幅300mm以下(下地RC種 塗替面) 木部		C種	m	4 4'	表RA-17-44
CL塗り(クリヤッカーラッカーペイント塗り)	細幅物糸幅300mm以下(下地RB種 塗替面) 木部		A種	m	4 5'	表RA-17-45
CL塗り(クリヤッカーラッカーペイント塗り)	細幅物糸幅300mm以下(下地RB種 塗替面) 木部		B種	m	4 6'	表RA-17-45
LE塗り(ラッカーケメル塗り)	細幅物糸幅300mm以下(下地RA種 塗替面) 木部		A種	m	1 3 4'	表RA-17-46
LE塗り(ラッカーケメル塗り)	細幅物糸幅300mm以下(下地RA種 塗替面) 木部		B種	m	1 3 5'	表RA-17-46
OS塗り(オイルステイン塗り)	細幅物糸幅300mm以下(付着除去 塗替面) 木部			m	4 7'	表RA-17-47
下地調整	木部 (塗替え面)		RA種	m <sup>2</sup>	2 7 6'	表RA-17-23
下地調整	木部 (塗替え面) セラックニス		RA種	m <sup>2</sup>	3 1 1'	表RA-17-23
下地調整	木部 (塗替え面)		RA種(屋外)	m <sup>2</sup>	3 1 8'	表RA-17-23
下地調整	木部 (塗替え面)		RB種	m <sup>2</sup>	2 7 7'	表RA-17-23
下地調整	木部 (塗替え面)		RC種	m <sup>2</sup>	2 7 8'	表RA-17-23
下地調整	モルタル面 (塗替え面)		RA種	m <sup>2</sup>	2 8 1'	表RA-17-25
下地調整	モルタル面 (塗替え面)		RB種	m <sup>2</sup>	2 8 2'	表RA-17-25
下地調整	モルタル面 (塗替え面)		RC種	m <sup>2</sup>	2 8 3'	表RA-17-25
下地調整	モルタル面 (付着物除去)			m <sup>2</sup>	2 8 6'	表RA-17-25
下地調整	コンクリート面 (塗替え面)		RA種	m <sup>2</sup>	2 8 7'	表RA-17-26
下地調整	コンクリート面 (塗替え面)		RB種	m <sup>2</sup>	2 8 8'	表RA-17-26
下地調整	コンクリート面 (塗替え面)		RC種	m <sup>2</sup>	2 8 9'	表RA-17-26
下地調整	押出成形セメント板面 (塗替え面)		RA種	m <sup>2</sup>	2 9 2'	表RA-17-27
下地調整	押出成形セメント板面 (塗替え面)		RB種	m <sup>2</sup>	2 9 3'	表RA-17-27
下地調整	押出成形セメント板面 (塗替え面)		RC種	m <sup>2</sup>	2 9 4'	表RA-17-27
下地調整	ホーリ面 (塗替え面)		RA種	m <sup>2</sup>	2 9 7'	表RA-17-28
下地調整	ホーリ面 (塗替え面)		RB種	m <sup>2</sup>	2 9 8'	表RA-17-28
下地調整	ホーリ面 (塗替え面)		RC種	m <sup>2</sup>	2 9 9'	表RA-17-28
下地調整	けい酸カルシウム板面 (塗替え面)		RA種	m <sup>2</sup>	3 0 2'	表RA-17-29
下地調整	けい酸カルシウム板面 (塗替え面)		RB種	m <sup>2</sup>	3 0 3'	表RA-17-29
下地調整	けい酸カルシウム板面 (塗替え面)		RC種	m <sup>2</sup>	3 0 4'	表RA-17-29

## \*\* 参考歩掛り (改修標仕様) \*\*

細 目	摘要			単位	歩掛り記号	表番号
	下地種類等	塗装種別	作業工程 (塗り回数)			
下地調整	鉄鋼面 (塗替え面)		RA種	m <sup>2</sup>	3 0 7'	表RA-17-24
下地調整	鉄鋼面 (塗替え面)		RB種	m <sup>2</sup>	3 0 8'	表RA-17-24
下地調整	鉄鋼面 (塗替え面)		RC種	m <sup>2</sup>	3 0 9'	表RA-17-24

## \*\* 補正市場単価 \*\*

細 目	摘要			単位	市場単価	算定式
	下地種類等	塗装種別	作業工程			
錆止め塗り	現場 1 回 鉄鋼面屋内 (仕様: 第 8 節)	鉛クロム 2 種	B種	m <sup>2</sup>	B	2 ÷ 1
錆止め塗り	現場 1 回 鉄鋼面 (屋内外) 素地ごしらえ別途 (仕様: 第 4 節)	鉛クロム 1 種	B種	m <sup>2</sup>	A	3 ÷ 119
錆止め塗り	工場 1 回 鉄鋼面 (屋内外) 素地ごしらえ別途 (仕様: 第 4 節)	鉛クロム 1 種	B種	m <sup>2</sup>	A	4 ÷ 119
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	木部 素地ごしらえ別途	1種	A種	m <sup>2</sup>	E-O	120 ÷ 121
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	木部 素地ごしらえ別途	1種	B種	m <sup>2</sup>	E-O	—
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	鉄鋼面 錆止別途	1種	A種	m <sup>2</sup>	D	9 ÷ d1
EP塗り(合成樹脂エマルションペイント塗り)	せっこうボード面 一般面 素地ごしらえ別途		A種	m <sup>2</sup>	F-P	12 ÷ 122
EP塗り(合成樹脂エマルションペイント塗り)	せっこうボード面 見上げ面 素地ごしらえ別途		A種	m <sup>2</sup>	F-P	13 ÷ 122
EP塗り(合成樹脂エマルションペイント塗り)	せっこうボード面 一般面 素地ごしらえ別途		B種	m <sup>2</sup>	F-P	—
EP塗り(合成樹脂エマルションペイント塗り)	せっこうボード面 見上げ面 素地ごしらえ別途		B種	m <sup>2</sup>	F-P	123 ÷ 122
EP塗り(合成樹脂エマルションペイント塗り)	けい酸ガルシム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント 板面 一般面 素地ごしらえ別途		A種	m <sup>2</sup>	R-S	12 ÷ 122
EP塗り(合成樹脂エマルションペイント塗り)	けい酸ガルシム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント 板面 見上げ面 素地ごしらえ別途		A種	m <sup>2</sup>	R-S	13 ÷ 122
EP塗り(合成樹脂エマルションペイント塗り)	けい酸ガルシム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント 板面 一般面 素地ごしらえ別途		B種	m <sup>2</sup>	R-S	—
EP塗り(合成樹脂エマルションペイント塗り)	けい酸ガルシム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント 板面 見上げ面 素地ごしらえ別途		B種	m <sup>2</sup>	R-S	123 ÷ 122
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルションペイント塗り)	せっこうボード面 一般面 素地ごしらえ別途		A種	m <sup>2</sup>	F-P	44 ÷ 122
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルションペイント塗り)	せっこうボード面 見上げ面 素地ごしらえ別途		A種	m <sup>2</sup>	F-P	45 ÷ 122
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルションペイント塗り)	せっこうボード面 一般面 素地ごしらえ別途		B種	m <sup>2</sup>	F-P	46 ÷ 122
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルションペイント塗り)	せっこうボード面 見上げ面 素地ごしらえ別途		B種	m <sup>2</sup>	F-P	48 ÷ 122
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルションペイント塗り)	けい酸ガルシム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント 板面 一般面 素地ごしらえ別途		A種	m <sup>2</sup>	R-S	44 ÷ 122
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルションペイント塗り)	けい酸ガルシム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント 板面 見上げ面 素地ごしらえ別途		A種	m <sup>2</sup>	R-S	45 ÷ 122
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルションペイント塗り)	けい酸ガルシム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント 板面 一般面 素地ごしらえ別途		B種	m <sup>2</sup>	R-S	46 ÷ 122
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルションペイント塗り)	けい酸ガルシム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント 板面 見上げ面 素地ごしらえ別途		B種	m <sup>2</sup>	R-S	48 ÷ 122

## \*\*補正市場単価\*\*

細目	摘要			単位	市場単価	算定式
	下地種類等	塗装種別	作業工程			
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルションペイント塗り)	屋内木部 素地ごしらえ別途			m <sup>2</sup>	R-S	109 ÷ 122
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルションペイント塗り)	屋内鉄鋼面 錆止別途		A種	m <sup>2</sup>	R-S	111 ÷ 122
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルションペイント塗り)	屋内鉄鋼面 錆止別途		B種	m <sup>2</sup>	R-S	114 ÷ 122
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルションペイント塗り)	屋内垂鉛めっき鋼面 錆止別途			m <sup>2</sup>	R-S	117 ÷ 122
アクリル樹脂系非分散形塗料塗り	モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 素地ごしらえ別途		A種	m <sup>2</sup>	R-S	76 ÷ 122
アクリル樹脂系非分散形塗料塗り	モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 素地ごしらえ別途		B種	m <sup>2</sup>	R-S	78 ÷ 122
CL塗り(クリヤッカ-塗り)	木部 素地ごしらえB種 (R4標仕様)		B種	m <sup>2</sup>	I	1.0
CL塗り(クリヤッカ-塗り)	木部 素地ごしらえ別途 (R4標仕様)		A種	m <sup>2</sup>	I-O※	94 ÷ i × 1.0
CL塗り(クリヤッカ-塗り)	木部 素地ごしらえ別途 (R4標仕様)		B種	m <sup>2</sup>	I-O※	1.0
LE塗り(ラッカ-コメル塗り)	木部 素地ごしらえ別途		A種	m <sup>2</sup>	I-O※	95 ÷ i
LE塗り(ラッカ-コメル塗り)	木部 素地ごしらえ別途		B種	m <sup>2</sup>	I-O※	96 ÷ i
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	細幅物糸幅300mm以下(素地ごしらえA種共) 木部	1種	A種(屋外)	m	K	124 ÷ 125
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルションペイント塗り)	細幅物糸幅300mm以下(素地ごしらえA種共)木部			m	K	97 ÷ 125
CL塗り(クリヤッカ-塗り)	細幅物糸幅300mm以下(素地ごしらえB種共)木部 (R4標仕様)		B種	m	M	1.0
CL塗り(クリヤッカ-塗り)	細幅物糸幅300mm以下(素地ごしらえB種共)木部 (R4標仕様)		A種	m	M	98 ÷ m × 1.0
LE塗り(ラッカ-コメル塗り)	細幅物糸幅300mm以下(素地ごしらえA種共)木部		A種	m	M	129 ÷ m
LE塗り(ラッカ-コメル塗り)	細幅物糸幅300mm以下(素地ごしらえA種共)木部		B種	m	M	130 ÷ m
素地ごしらえ	木部		A種(屋外)	m <sup>2</sup>	O	126 ÷ 127
素地ごしらえ	木部		B種	m <sup>2</sup>	O	99 ÷ 127
素地ごしらえ	木部(屋内) セラックニス		A種	m <sup>2</sup>	O	131 ÷ 127
素地ごしらえ	鉄鋼面		B種	m <sup>2</sup>	S	100 ÷ p1
素地ごしらえ	鉄鋼面		C種	m <sup>2</sup>	S	101 ÷ p1
素地ごしらえ	モルタル面及びせっこうブラスター面		A種	m <sup>2</sup>	S	102 ÷ p1
素地ごしらえ	モルタル面及びせっこうブラスター面(付着物の除去)			m <sup>2</sup>	S	103 ÷ p1
素地ごしらえ	コンクリート面		A種	m <sup>2</sup>	S	104 ÷ p1
素地ごしらえ	コンクリート面		B種	m <sup>2</sup>	S	105 ÷ p1
素地ごしらえ	せっこうボード面及びその他ボード面		A種	m <sup>2</sup>	P	106 ÷ 128
素地ごしらえ	けい酸カルシウム板面		A種	m <sup>2</sup>	S	107 ÷ p1
素地ごしらえ	押出成形セメント板面		A種	m <sup>2</sup>	Q	108 ÷ q

※「素地ごしらえ 木部 B種」に補正した補正市場単価をもちいる。

## 【塗装改修】

\*\*補正市場単価\*\*

細目	摘要			単位	市場単価	算定式
	下地種類等	塗装種別	作業工程			
鉄止め塗り	現場1回 鉄鋼面(屋内外)新規面(仕様:第5節)	鉛クロム1種	A種	m <sup>2</sup>	A	2' ÷ 119
鉄止め塗り	現場1回 鉄鋼面(屋内外)新規面(仕様:第5節)	鉛クロム1種	B種	m <sup>2</sup>	A	4' ÷ 119
鉄止め塗り	現場2回 鉄鋼面(屋内外)塗替え面(仕様:第5節)	鉛クロム1種	C種	m <sup>2</sup>	A	5' ÷ 119
鉄止め塗り	工場1回 鉄鋼面(屋内外)新規面(仕様:第5節)	鉛クロム1種	A,B種	m <sup>2</sup>	A	6' ÷ 119
鉄止め塗り	現場1回 鉄鋼面(屋内)新規面(仕様:第9節)	鉛クロム2種	A種	m <sup>2</sup>	B	10' ÷ 1
鉄止め塗り	現場1回 鉄鋼面(屋内)新規面(仕様:第9節)	鉛クロム2種	B種	m <sup>2</sup>	B	14' ÷ 1
鉄止め塗り	現場2回 鉄鋼面(屋内)塗替え面(仕様:第9節)	鉛クロム2種	C種	m <sup>2</sup>	B	16' ÷ 1
鉄止め塗り	工場1回 鉄鋼面(屋内)新規面(仕様:第9節)	鉛クロム2種	A,B種	m <sup>2</sup>	B	18' ÷ 1
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	細幅物系幅300mm以下(下地RA種 新規面)木部	1種	B種	m	K	39' ÷ 125
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	細幅物系幅300mm以下(下地RB種 塗替面)木部	1種	B種	m	K	40' ÷ 125
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	細幅物系幅300mm以下(下地RC種 塗替面)木部	1種	C種	m	K	41' ÷ 125
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルションペイント塗り)	細幅物系幅300mm以下(下地RA種 新規面)木部		A種	m	K	42' ÷ 125
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルションペイント塗り)	細幅物系幅300mm以下(下地RB種 塗替面)木部		B種	m	K	43' ÷ 125
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルションペイント塗り)	細幅物系幅300mm以下(下地RC種 塗替面)木部		C種	m	K	44' ÷ 125
CL塗り(クリヤッカ塗り)	細幅物系幅300mm以下(下地RB種 塗替面)木部 (R4改修標仕様)		A種	m	M	45' ÷ m × 1.0
CL塗り(クリヤッカ塗り)	細幅物系幅300mm以下(下地RB種 塗替面)木部 (R4改修標仕様)		B種	m	M	46' ÷ m × 1.0
LE塗り(ラッカーカメル塗り)	細幅物系幅300mm以下(下地RA種 塗替面)木部		A種	m	M	134' ÷ m
LE塗り(ラッカーカメル塗り)	細幅物系幅300mm以下(下地RA種 塗替面)木部		B種	m	M	135' ÷ m
OS塗り(オイルスイン塗り)	細幅物系幅300mm以下(下地RB種 塗替面)木部			m	N	47' ÷ n

## \*\*補正市場単価\*\*

細目	摘要			単位	市場単価	算定式
	下地種類等	塗装種別	作業工程			
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	木部 下地調整別途	1種	A種	m <sup>2</sup>	E-O	48' ÷ 121
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	木部 下地調整別途	1種	B種	m <sup>2</sup>	E-O	50' ÷ 121
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	木部 下地調整別途	1種	C種	m <sup>2</sup>	E-O	52' ÷ 121
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	鉄鋼面 (新規面) 鋸止別途 下地調整別途	1種	A種	m <sup>2</sup>	D	54' ÷ d1
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	鉄鋼面 (塗替え面) 鋸止別途 下地調整別途	1種	A種	m <sup>2</sup>	D	319' ÷ d1
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	鉄鋼面 (新規面) 鋸止別途 下地調整別途	1種	B種	m <sup>2</sup>	D	55' ÷ d1
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	鉄鋼面 (塗替え面) 鋸止別途 下地調整別途	1種	B種	m <sup>2</sup>	D	320' ÷ d1
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	鉄鋼面 (新規面) 鋸止別途 下地調整別途	1種	C種	m <sup>2</sup>	D	61' ÷ d1
アクリル樹脂系非分散形塗料塗り	モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 下地調整別途		A種	m <sup>2</sup>	R-S	76' ÷ 122
アクリル樹脂系非分散形塗料塗り	モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 下地調整別途		B種	m <sup>2</sup>	R-S	78' ÷ 122
CL塗り(クリヤッカ-塗り)	木部 下地調整別途(R4改修標仕仕様)		A種	m <sup>2</sup>	I-O*	105' ÷ i × 1.0
CL塗り(クリヤッカ-塗り)	木部 下地調整別途(R4改修標仕仕様)		B種	m <sup>2</sup>	I-O*	1.0
LE塗り(ラッカ-コメル塗り)	木部 下地調整別途		A種	m <sup>2</sup>	I-O*	132' ÷ i
LE塗り(ラッカ-コメル塗り)	木部 下地調整別途		B種	m <sup>2</sup>	I-O*	133' ÷ i
OS塗り(オイルスイン塗り)	木部 下地調整RB種共(塗替え面)			m <sup>2</sup>	J	277' ÷ 99
EP塗り(合成樹脂エマルションペイント塗り)	せっこうぼード面 一般面 下地調整別途		A種	m <sup>2</sup>	F-P	110' ÷ 122
EP塗り(合成樹脂エマルションペイント塗り)	せっこうぼード面 見上げ面 下地調整別途		A種	m <sup>2</sup>	F-P	111' ÷ 122
EP塗り(合成樹脂エマルションペイント塗り)	せっこうぼード面 一般面 下地調整別途		B種	m <sup>2</sup>	F-P	112' ÷ 122
EP塗り(合成樹脂エマルションペイント塗り)	せっこうぼード面 見上げ面 下地調整別途		B種	m <sup>2</sup>	F-P	113' ÷ 122
EP塗り(合成樹脂エマルションペイント塗り)	せっこうぼード面 一般面 下地調整別途		C種	m <sup>2</sup>	F-P	118' ÷ 122
EP塗り(合成樹脂エマルションペイント塗り)	せっこうぼード面 見上げ面 下地調整別途		C種	m <sup>2</sup>	F-P	120' ÷ 122
EP塗り(合成樹脂エマルションペイント塗り)	けい酸ガルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 一般面 下地調整別途		A種	m <sup>2</sup>	R-S	110' ÷ 122
EP塗り(合成樹脂エマルションペイント塗り)	けい酸ガルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 見上げ面 下地調整別途		A種	m <sup>2</sup>	R-S	111' ÷ 122
EP塗り(合成樹脂エマルションペイント塗り)	けい酸ガルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 一般面 下地調整別途		B種	m <sup>2</sup>	R-S	112' ÷ 122
EP塗り(合成樹脂エマルションペイント塗り)	けい酸ガルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 見上げ面 下地調整別途		B種	m <sup>2</sup>	R-S	113' ÷ 122
EP塗り(合成樹脂エマルションペイント塗り)	けい酸ガルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 一般面 下地調整別途		C種	m <sup>2</sup>	R-S	118' ÷ 122
EP塗り(合成樹脂エマルションペイント塗り)	けい酸ガルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 見上げ面 下地調整別途		C種	m <sup>2</sup>	R-S	120' ÷ 122

※「素地ごしらえ 木部 B種」に補正した補正市場単価をもちいる。

## \*\*補正市場単価\*\*

細目	摘要			単位	市場単価	算定式
	下地種類等	塗装種別	作業工程			
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルションペイント塗り)	せっこうぼード面 一般面 下地調整別途		A種	m <sup>2</sup>	F-P	204'÷122
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルションペイント塗り)	せっこうぼード面 見上げ面 下地調整別途		A種	m <sup>2</sup>	F-P	205'÷122
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルションペイント塗り)	せっこうぼード面 一般面 下地調整別途		B種	m <sup>2</sup>	F-P	206'÷122
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルションペイント塗り)	せっこうぼード面 見上げ面 下地調整別途		B種	m <sup>2</sup>	F-P	207'÷122
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルションペイント塗り)	せっこうぼード面 一般面 下地調整別途		C種	m <sup>2</sup>	F-P	212'÷122
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルションペイント塗り)	せっこうぼード面 見上げ面 下地調整別途		C種	m <sup>2</sup>	F-P	214'÷122
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルションペイント塗り)	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 一般面 下地調整別途		A種	m <sup>2</sup>	R-S	204'÷122
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルションペイント塗り)	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 見上げ面 下地調整別途		A種	m <sup>2</sup>	R-S	205'÷122
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルションペイント塗り)	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 一般面 下地調整別途		B種	m <sup>2</sup>	R-S	206'÷122
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルションペイント塗り)	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 見上げ面 下地調整別途		B種	m <sup>2</sup>	R-S	207'÷122
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルションペイント塗り)	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 一般面 下地調整別途		C種	m <sup>2</sup>	R-S	212'÷122
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルションペイント塗り)	けい酸カルシウム板面・モルタル面・コンクリート面・押出成形セメント板面 見上げ面 下地調整別途		C種	m <sup>2</sup>	R-S	214'÷122
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルションペイント塗り)	屋内木部 下地調整別途		A種	m <sup>2</sup>	R-S	182'÷122
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルションペイント塗り)	屋内木部 下地調整別途		B種	m <sup>2</sup>	R-S	184'÷122
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルションペイント塗り)	屋内木部 下地調整別途		C種	m <sup>2</sup>	R-S	186'÷122
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルションペイント塗り)	屋内鉄鋼面 下地調整別途		A種	m <sup>2</sup>	R-S	188'÷122
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルションペイント塗り)	屋内鉄鋼面 下地調整別途		B種	m <sup>2</sup>	R-S	191'÷122
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルションペイント塗り)	屋内鉄鋼面 下地調整別途		C種	m <sup>2</sup>	R-S	194'÷122
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルションペイント塗り)	屋内亜鉛めっき鋼面 下地調整別途		A種	m <sup>2</sup>	R-S	196'÷122
EP-G塗り(つや有合成樹脂エマルションペイント塗り)	屋内亜鉛めっき鋼面 下地調整別途		B種	m <sup>2</sup>	R-S	199'÷122

## \*\*補正市場単価\*\*

細目	摘要			単位	市場単価	算定式
	下地種類等	塗装種別	作業工程			
下地調整	木部（塗替え面）		RA種	m <sup>2</sup>	0	276' ÷ 127
下地調整	木部（塗替え面）セラックニス		RA種	m <sup>2</sup>	0	311' ÷ 127
下地調整	木部（塗替え面）		RA種(屋外)	m <sup>2</sup>	0	318' ÷ 127
下地調整	木部（塗替え面）		RB種	m <sup>2</sup>	0	277' ÷ 127
下地調整	木部（塗替え面）		RC種	m <sup>2</sup>	0	278' ÷ 127
下地調整	モルタル面（塗替え面）		RA種	m <sup>2</sup>	S	281' ÷ p1
下地調整	モルタル面（塗替え面）		RB種	m <sup>2</sup>	S	282' ÷ p1
下地調整	モルタル面（塗替え面）		RC種	m <sup>2</sup>	S	283' ÷ p1
下地調整	モルタル面 付着物除去			m <sup>2</sup>	S	286' ÷ p1
下地調整	コンクリート面（塗替え面）		RA種	m <sup>2</sup>	S	287' ÷ p1
下地調整	コンクリート面（塗替え面）		RB種	m <sup>2</sup>	S	288' ÷ p1
下地調整	コンクリート面（塗替え面）		RC種	m <sup>2</sup>	S	289' ÷ p1
下地調整	押出成形セメント板面（塗替え面）		RA種	m <sup>2</sup>	Q	292' ÷ q
下地調整	押出成形セメント板面（塗替え面）		RB種	m <sup>2</sup>	Q	293' ÷ q
下地調整	押出成形セメント板面（塗替え面）		RC種	m <sup>2</sup>	Q	294' ÷ q
下地調整	ホーリ面（塗替え面）		RA種	m <sup>2</sup>	P	297' ÷ 128
下地調整	ホーリ面（塗替え面）		RB種	m <sup>2</sup>	P	298' ÷ 128
下地調整	ホーリ面（塗替え面）		RC種	m <sup>2</sup>	P	299' ÷ 128
下地調整	けい酸カルシウム板面（塗替え面）		RA種	m <sup>2</sup>	S	302' ÷ p1
下地調整	けい酸カルシウム板面（塗替え面）		RB種	m <sup>2</sup>	S	303' ÷ p1
下地調整	けい酸カルシウム板面（塗替え面）		RC種	m <sup>2</sup>	S	304' ÷ p1
下地調整	鉄鋼面（塗替え面）		RA種	m <sup>2</sup>	S	307' ÷ p1
下地調整	鉄鋼面（塗替え面）		RB種	m <sup>2</sup>	S	308' ÷ p1
下地調整	鉄鋼面（塗替え面）		RC種	m <sup>2</sup>	S	309' ÷ p1

## \*\*協議会歩掛り\*\*

細目	摘要			単位	歩掛記号	備考
	下地種類等	塗装種別	作業工程			
下地調整	亜鉛めっき面(塗替え面)		RA種	m <sup>2</sup>	313'	【改修標仕様】 めっき鋼面の下地調整塗料用※
下地調整	亜鉛めっき面(塗替え面)		RB種	m <sup>2</sup>	314'	
下地調整	亜鉛めっき面(塗替え面)		RC種	m <sup>2</sup>	315'	
鉛止め塗り	現場1回 亜鉛めっき鋼面・鋼製建具面(屋内外) 新規面	Az種	A種	m <sup>2</sup>	c1	【改修標仕様】 めっき鋼面の鉛止め塗料塗り※
鉛止め塗り	現場1回 亜鉛めっき鋼面・鋼製建具面(屋内)新規面	Cz種	A種	m <sup>2</sup>	20'	
鉛止め塗り	現場2回 亜鉛めっき鋼面・鋼製建具面(屋内外) 塗替え面	Az種	A種	m <sup>2</sup>	29'	
鉛止め塗り	現場2回 亜鉛めっき鋼面・鋼製建具面(屋内)塗替え面	Cz種	A種	m <sup>2</sup>	19'	
鉛止め塗り	現場1回 亜鉛めっき鋼面・鋼製建具面(屋内外) 塗替え面	Az種	B種	m <sup>2</sup>	31'	
鉛止め塗り	現場1回 亜鉛めっき鋼面・鋼製建具面(屋内)塗替え面	Cz種	B種	m <sup>2</sup>	21'	
鉛止め塗り	現場1回 亜鉛めっき鋼面・鋼製建具面(屋内外) 塗替え面	Az種	C種	m <sup>2</sup>	32'	
鉛止め塗り	現場1回 亜鉛めっき鋼面・鋼製建具面(屋内)塗替え面	Cz種	C種	m <sup>2</sup>	22'	
鉛止め塗り	工場1回 亜鉛めっき鋼面・鋼製建具面(屋内外) 新規面	Az種	A,B種	m <sup>2</sup>	33'	
鉛止め塗り	工場1回 亜鉛めっき鋼面・鋼製建具面(屋内)新規面	Cz種	A,B種	m <sup>2</sup>	23'	
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	亜鉛めっき鋼面・鋼製建具面(屋内外)鉛止め塗り 下地調整別途	1種	A種	m <sup>2</sup>	62'	【改修標仕様】 合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)※
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	亜鉛めっき鋼面・鋼製建具面(屋内外)鉛止め塗り 下地調整別途	1種	B種	m <sup>2</sup>	63'	
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	亜鉛めっき鋼面・鋼製建具面(屋内外)鉛止め塗り 下地調整別途	1種	C種	m <sup>2</sup>	67'	

※営繕積算システム等開発利用協議会参考資料参照

## \*\*補正市場単価\*\*

細目	摘要			単位	市場単価	算定式
	下地種類等	塗装種別	作業工程			
鉄止め塗り	現場2回 亜鉛めっき鋼面・鋼製建具面(屋内)塗替え面	水系	A種	m <sup>2</sup>	B	19'÷1
鉄止め塗り	現場1回 亜鉛めっき鋼面・鋼製建具面(屋内)新規面	水系	A種	m <sup>2</sup>	B	20'÷1
鉄止め塗り	現場1回 亜鉛めっき鋼面・鋼製建具面(屋内)塗替え面	水系	B種	m <sup>2</sup>	B	21'÷1
鉄止め塗り	現場1回 亜鉛めっき鋼面・鋼製建具面(屋内)塗替え面	水系	C種	m <sup>2</sup>	B	22'÷1
鉄止め塗り	工場1回 亜鉛めっき鋼面・鋼製建具面(屋内)新規面	水系	A,B種	m <sup>2</sup>	B	23'÷1
鉄止め塗り	現場2回 亜鉛めっき鋼面・鋼製建具面(屋内外)塗替え面	Az種	A種	m <sup>2</sup>	C	29'÷c1
鉄止め塗り	現場1回 亜鉛めっき鋼面・鋼製建具面(屋内外)新規面	Az種	A種	m <sup>2</sup>	C	-
鉄止め塗り	現場1回 亜鉛めっき鋼面・鋼製建具面(屋内外)塗替え面	Az種	B種	m <sup>2</sup>	C	31'÷c1
鉄止め塗り	現場1回 亜鉛めっき鋼面・鋼製建具面(屋内外)塗替え面	Az種	C種	m <sup>2</sup>	C	32'÷c1
鉄止め塗り	工場1回 亜鉛めっき鋼面・鋼製建具面(屋内外)新規面	Az種	A,B種	m <sup>2</sup>	C	33'÷c1
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	亜鉛めっき鋼面・鋼製建具面(屋内外)鉄止別途下地調整別途	1種	A種	m <sup>2</sup>	D	62'÷d1
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	亜鉛めっき鋼面・鋼製建具面(屋内外)鉄止別途下地調整別途	1種	B種	m <sup>2</sup>	D	63'÷d1
SOP塗り(合成樹脂調合ペイント塗り)	亜鉛めっき鋼面・鋼製建具面(屋内外)鉄止別途下地調整別途	1種	C種	m <sup>2</sup>	D	67'÷d1
下地調整	亜鉛めっき鋼面(塗替え面)		RA種	m <sup>2</sup>	S	313'÷p1
下地調整	亜鉛めっき鋼面(塗替え面)		RB種	m <sup>2</sup>	S	314'÷p1
下地調整	亜鉛めっき鋼面(塗替え面)		RC種	m <sup>2</sup>	S	315'÷p1

## \*\*補正市場単価\*\*

細目	摘要			単位	市場単価	算定式
	下地種類等	塗装種別	作業工程			
素地ごしらえ	木部（屋内）		A種	m <sup>2</sup>	O	
素地ごしらえ	木部		A種（屋外）	m <sup>2</sup>	O	126 ÷ 127
素地ごしらえ	木部		B種	m <sup>2</sup>	O	99 ÷ 127
素地ごしらえ	木部（屋内）セラッキン		A種	m <sup>2</sup>	O	131 ÷ 127
素地ごしらえ	鉄鋼面		B種	m <sup>2</sup>	S	100 ÷ p1
素地ごしらえ	鉄鋼面		C種	m <sup>2</sup>	S	101 ÷ p1
素地ごしらえ	モルタル面及びセッコウブランスター面		A種	m <sup>2</sup>	S	102 ÷ p1
素地ごしらえ	モルタル面及びセッコウブランスター面（付着物の除去）			m <sup>2</sup>	S	103 ÷ p1
素地ごしらえ	コンクリート面		A種	m <sup>2</sup>	S	104 ÷ p1
素地ごしらえ	コンクリート面		B種	m <sup>2</sup>	S	105 ÷ p1
素地ごしらえ	セッコウボーラー面		B種	m <sup>2</sup>	P	
素地ごしらえ	セッコウボーラー面及びその他ボーラー面		A種	m <sup>2</sup>	P	106 ÷ 128
素地ごしらえ	けい酸カルシム板面		A種	m <sup>2</sup>	S	107 ÷ p1
素地ごしらえ	けい酸カルシム板面及びモルタル面		B種	m <sup>2</sup>	S	
素地ごしらえ	押出成形セメント板面		A種	m <sup>2</sup>	Q	108 ÷ q
素地ごしらえ	押出成形セメント板面		B種	m <sup>2</sup>	Q	

## 【 内外装 】

\*\* 市場単価 \*\*

細 目	摘 要	単位	単価記号	
床ビニル床シート張り	厚2.0mm 複層ビニル床シート 無地 FS	m <sup>2</sup>	U	
床ビニル床シート張り	厚2.5mm 複層ビニル床シート 無地 FS	m <sup>2</sup>	A	
階段ビニル床シート張り	厚2.0mm 複層ビニル床シート 無地 FS	m <sup>2</sup>	V	
階段ビニル床シート張り	厚2.5mm 複層ビニル床シート 無地 FS	m <sup>2</sup>	B	
床ビニル床タイル張り	厚2.0mm コンポジションビニル床タイル KT	m <sup>2</sup>	C	
階段ビニル床タイル張り	厚2.0mm コンポジションビニル床タイル KT	m <sup>2</sup>	D	
床タイルカーペット張り	総厚6.5mm 500角 第一種ループバール(一般事務室用)	m <sup>2</sup>	E	
ビニル幅木(ソト幅木)	H60mm	m	F	
さらビニル幅木(ソト幅木)	H330mm	m	G	
壁せっこうボード張り	厚12.5mm 不燃 突付け	m <sup>2</sup>	H	
壁せっこうボード張り	厚12.5mm 不燃 突付け 下地せっこうボード厚12.5mm共	m <sup>2</sup>	I	
壁せっこうボード張り	厚12.5mm 不燃 突付け GL工法	m <sup>2</sup>	J	
天井不燃積層せっこうボード張り	厚9.5mm 不燃 突付け	m <sup>2</sup>	K	
天井不燃化粧せっこうボード張り	厚9.5mm 不燃 突付け	m <sup>2</sup>	L	
壁けい酸カルシウム板張り	(タイプ2,無石綿,0.8FK) 厚8.0mm 不燃 突付け	m <sup>2</sup>	M	
壁けい酸カルシウム板張り	(タイプ2,無石綿,0.8FK) 厚8.0mm 不燃 目透し	m <sup>2</sup>	N	
天井けい酸カルシウム板張り	(タイプ2,無石綿,0.8FK) 厚6.0mm 不燃 突付け	m <sup>2</sup>	O	
天井けい酸カルシウム板張り	(タイプ2,無石綿,0.8FK) 厚6.0mm 不燃 目透し	m <sup>2</sup>	P	
天井ロックウール吸音板張り(内部用)	厚9.0mm 不燃 プラットタイプ 下地不燃積層せっこうボード厚9.5mm共	m <sup>2</sup>	Q	
天井ロックウール吸音板張り(内部用)	厚12.0mm 不燃 凹凸タイプ 下地不燃積層せっこうボード厚9.5mm共	m <sup>2</sup>	R	
せっこうボード継目処理	継目処理工法(テープ-エッジ)	m <sup>2</sup>	S	
せっこうボード継目処理	V目地工法(ヘーヘルエッジ)	m <sup>2</sup>	T	

\*\* 参考歩掛り \*\*

細 目	摘 要	単位	歩掛り記号	表番号
ビニル床シート張り	階段 (複層ビニル床シート 無地 FS 厚さ2.5)	m <sup>2</sup>	a2	表RA-18-1
ビニル床シート張り	階段 (複層ビニル床シート 無地 FS 厚さ2.0)	m <sup>2</sup>	a26	表RA-18-1
ビニル床シート張り	階段 (複層ビニル床シートマーブル FS 厚さ2.0)	m <sup>2</sup>	a27	表RA-18-1
ビニル床シート張り	階段 (複層ビニル床シートマーブル FS 厚さ2.5)	m <sup>2</sup>	a28	表RA-18-1
ビニル床タイル張り	床 (コンポジションビニル床タイルKT 厚さ2 一般床)	m <sup>2</sup>	a3	表RA-18-1
ビニル床タイル張り	床 (コンポジションビニル床タイルKT 厚さ2 多湿部)	m <sup>2</sup>	a29	表RA-18-1
ビニル床タイル張り	床 (コンポジションビニル床タイルKT 厚さ2.0一般床 帯電防止)	m <sup>2</sup>	a300	表RA-18-1
ビニル床タイル張り	階段 (コンポジションビニル床タイルKT 厚さ2)	m <sup>2</sup>	a4	表RA-18-1
ビニル幅木張り	一般 (高さ60)	m	a5	表RA-18-2
ビニル幅木張り	一般 (高さ75)	m	a33	表RA-18-2
ビニル幅木張り	一般 (高さ100)	m	a34	表RA-18-2
ビニル幅木張り	階段さら (高さ330)	m	a6	表RA-18-2
壁せっこうボード張り	突付け(厚12.5 不燃)	m <sup>2</sup>	a8	表RA-18-3
壁せっこうボード張り	突付け(厚9.5 準不燃)	m <sup>2</sup>	a38	表RA-18-3

## \*\*参考歩掛り\*\*

細目	摘要	単位	歩掛り記号	表番号
壁せっこうボード張り	突付け(厚15 不燃)	m <sup>2</sup>	a77	表RA-18-3
壁せっこうボード張り	突付け(不燃積層 厚9.5 不燃)	m <sup>2</sup>	a86	表RA-18-3
壁せっこうボード張り	突付け(吸音用あなあきせっこうボード 厚9.5 φ6-22 不燃紙裏打ち 準不燃)	m <sup>2</sup>	a111	表RA-18-3
壁せっこうボード張り	突付け(シーリングせっこうボード 厚9.5 準不燃)	m <sup>2</sup>	a112	表RA-18-3
壁せっこうボード張り	突付け(シーリングせっこうボード 厚12.5 不燃)	m <sup>2</sup>	a137	表RA-18-3
壁せっこうボード張り	突付け(強化せっこうボード 厚15 不燃)	m <sup>2</sup>	a156	表RA-18-3
壁せっこうボード張り	突付け(強化せっこうボード 厚21 不燃)	m <sup>2</sup>	a161	表RA-18-3
壁せっこうボード張り	V目地(厚9.5 準不燃)	m <sup>2</sup>	a41	表RA-18-3
壁せっこうボード張り	V目地(厚12.5 不燃)	m <sup>2</sup>	a63	表RA-18-3
壁せっこうボード張り	V目地(厚15 不燃)	m <sup>2</sup>	a78	表RA-18-3
壁せっこうボード張り	V目地(不燃積層 厚9.5 不燃)	m <sup>2</sup>	a89	表RA-18-3
壁せっこうボード張り	V目地(シーリングせっこうボード 厚9.5 準不燃)	m <sup>2</sup>	a115	表RA-18-3
壁せっこうボード張り	V目地(シーリングせっこうボード 厚12.5 不燃)	m <sup>2</sup>	a139	表RA-18-3
壁せっこうボード張り	目透かし(厚9.5 準不燃)	m <sup>2</sup>	a44	表RA-18-3
壁せっこうボード張り	目透かし(厚12.5 不燃)	m <sup>2</sup>	a65	表RA-18-3
壁せっこうボード張り	目透かし(厚15 不燃)	m <sup>2</sup>	a79	表RA-18-3
壁せっこうボード張り	目透かし(不燃積層 厚9.5 不燃)	m <sup>2</sup>	a92	表RA-18-3
壁せっこうボード張り	目透かし(シーリングせっこうボード 厚9.5 準不燃)	m <sup>2</sup>	a118	表RA-18-3
壁せっこうボード張り	目透かし(シーリングせっこうボード 厚12.5 不燃)	m <sup>2</sup>	a141	表RA-18-3
壁せっこうボード張り	継目処理(厚9.5 準不燃)	m <sup>2</sup>	a47	表RA-18-3
壁せっこうボード張り	継目処理(厚12.5 不燃)	m <sup>2</sup>	a67	表RA-18-3
壁せっこうボード張り	継目処理(厚15 不燃)	m <sup>2</sup>	a80	表RA-18-3
壁せっこうボード張り	継目処理(不燃積層 厚9.5 不燃)	m <sup>2</sup>	a95	表RA-18-3
壁せっこうボード張り	継目処理(シーリングせっこうボード 厚9.5 準不燃)	m <sup>2</sup>	a121	表RA-18-3
壁せっこうボード張り	継目処理(シーリングせっこうボード 厚12.5 不燃)	m <sup>2</sup>	a143	表RA-18-3
壁せっこうボード張り	継目処理(強化せっこうボード 厚15 不燃)	m <sup>2</sup>	a154	表RA-18-3
壁せっこうボード張り	継目処理(強化せっこうボード 厚21 不燃)	m <sup>2</sup>	a159	表RA-18-3
壁せっこうボード張り	下地張り(厚9.5 準不燃)	m <sup>2</sup>	a50	表RA-18-3
壁せっこうボード張り	下地張り(厚12.5 不燃)	m <sup>2</sup>	a69	表RA-18-3
壁せっこうボード張り	下地張り(厚15 不燃)	m <sup>2</sup>	a81	表RA-18-3
壁せっこうボード張り	下地張り(不燃積層 厚9.5 不燃)	m <sup>2</sup>	a98	表RA-18-3
壁せっこうボード張り	下地張り(シーリングせっこうボード 厚9.5 準不燃)	m <sup>2</sup>	a124	表RA-18-3
壁せっこうボード張り	下地張り(シーリングせっこうボード 厚12.5 不燃)	m <sup>2</sup>	a145	表RA-18-3
壁せっこうボード張り	下地張り(強化せっこうボード 厚15 不燃)	m <sup>2</sup>	a158	表RA-18-3
壁せっこうボード張り	下地張り(強化せっこうボード 厚21 不燃)	m <sup>2</sup>	a163	表RA-18-3
壁せっこうボード張り	ラスボード(厚9.5)	m <sup>2</sup>	a164	表RA-18-3
壁せっこうボード張り	直張り突付け(厚12.5 不燃)	m <sup>2</sup>	a10	表RA-18-3
壁せっこうボード張り	直張り突付け(厚9.5 準不燃)	m <sup>2</sup>	a51	表RA-18-3
壁せっこうボード張り	直張り突付け(厚15 不燃)	m <sup>2</sup>	a82	表RA-18-3
壁せっこうボード張り	直張り突付け(不燃積層 厚9.5 不燃)	m <sup>2</sup>	a99	表RA-18-3
壁せっこうボード張り	直張り突付け(シーリングせっこうボード 厚9.5 準不燃)	m <sup>2</sup>	a125	表RA-18-3
壁せっこうボード張り	直張り突付け(シーリングせっこうボード 厚12.5 不燃)	m <sup>2</sup>	a146	表RA-18-3
壁せっこうボード張り	直張り突付けV目地(厚9.5 準不燃)	m <sup>2</sup>	a54	表RA-18-3
壁せっこうボード張り	直張り突付けV目地(厚15 不燃)	m <sup>2</sup>	a83	表RA-18-3

## \* \* 参考歩掛り \* \*

細 目	摘 要	単位	歩掛り記号	表番号
壁せっこうボード張り	直張り突付けV目地 (不燃積層 厚9.5 不燃)	m <sup>2</sup>	a102	表RA-18-3
壁せっこうボード張り	直張り突付けV目地 (シージング せっこうボード 厚9.5 準不燃)	m <sup>2</sup>	a128	表RA-18-3
壁せっこうボード張り	直張り突付けV目地 (シージング せっこうボード 厚12.5 不燃)	m <sup>2</sup>	a148	表RA-18-3
壁せっこうボード張り	直張り継目処理 (厚9.5 準不燃)	m <sup>2</sup>	a59	表RA-18-3
壁せっこうボード張り	直張り継目処理 (厚12.5 不燃)	m <sup>2</sup>	a74	表RA-18-3
壁せっこうボード張り	直張り継目処理 (厚15 不燃)	m <sup>2</sup>	a84	表RA-18-3
壁せっこうボード張り	直張り継目処理 (不燃積層 厚9.5 不燃)	m <sup>2</sup>	a107	表RA-18-3
壁せっこうボード張り	直張り継目処理 (シージング せっこうボード 厚9.5 準不燃)	m <sup>2</sup>	a133	表RA-18-3
壁せっこうボード張り	直張り継目処理 (シージング せっこうボード 厚12.5不燃)	m <sup>2</sup>	a151	表RA-18-3
壁せっこうボード張り	直張り下地張り (厚9.5 準不燃)	m <sup>2</sup>	a62	表RA-18-3
壁せっこうボード張り	直張り下地張り (厚12.5 不燃)	m <sup>2</sup>	a76	表RA-18-3
壁せっこうボード張り	直張り下地張り (厚15 不燃)	m <sup>2</sup>	a85	表RA-18-3
壁せっこうボード張り	直張り下地張り (不燃積層 厚9.5 不燃)	m <sup>2</sup>	a110	表RA-18-3
壁せっこうボード張り	直張り下地張り (シージング せっこうボード 厚9.5準不燃)	m <sup>2</sup>	a136	表RA-18-3
壁せっこうボード張り	直張り下地張り (シージング せっこうボード 厚12.5不燃)	m <sup>2</sup>	a153	表RA-18-3
けい酸カルシウム板張り	壁 突付け (タイプ 2/ソアス0.8FK 厚8)	m <sup>2</sup>	a11	表RA-18-5
けい酸カルシウム板張り	壁 突付け (タイプ 2/ソアス0.8FK 厚5)	m <sup>2</sup>	a165	表RA-18-5
けい酸カルシウム板張り	壁 突付け (タイプ 2/ソアス0.8FK 厚6)	m <sup>2</sup>	a168	表RA-18-5
けい酸カルシウム板張り	壁 突付け (タイプ 2/ソアス0.8FK 厚10)	m <sup>2</sup>	a173	表RA-18-5
けい酸カルシウム板張り	壁 突付け (タイプ 2/ソアス0.8FK 厚12)	m <sup>2</sup>	a176	表RA-18-5
けい酸カルシウム板張り	壁 目透かし (タイプ 2/ソアス0.8FK 厚8)	m <sup>2</sup>	a12	表RA-18-5
けい酸カルシウム板張り	壁 目透かし (タイプ 2/ソアス0.8FK 厚5)	m <sup>2</sup>	a166	表RA-18-5
けい酸カルシウム板張り	壁 目透かし (タイプ 2/ソアス0.8FK 厚6)	m <sup>2</sup>	a169	表RA-18-5
けい酸カルシウム板張り	壁 目透かし (タイプ 2/ソアス0.8FK 厚10)	m <sup>2</sup>	a174	表RA-18-5
けい酸カルシウム板張り	壁 目透かし (タイプ 2/ソアス0.8FK 厚12)	m <sup>2</sup>	a178	表RA-18-5
けい酸カルシウム板張り	壁 下地張り (タイプ 2/ソアス0.8FK 厚8)	m <sup>2</sup>	a172	表RA-18-5
けい酸カルシウム板張り	壁 下地張り (タイプ 2/ソアス0.8FK 厚5)	m <sup>2</sup>	a167	表RA-18-5
けい酸カルシウム板張り	壁 下地張り (タイプ 2/ソアス0.8FK 厚6)	m <sup>2</sup>	a170	表RA-18-5
けい酸カルシウム板張り	壁 下地張り (タイプ 2/ソアス0.8FK 厚10)	m <sup>2</sup>	a175	表RA-18-5
けい酸カルシウム板張り	壁 下地張り (タイプ 2/ソアス0.8FK 厚12)	m <sup>2</sup>	a179	表RA-18-5
天井せっこうボード張り	突付け (不燃積層 厚9.5 不燃 化粧無し)	m <sup>2</sup>	a13	表RA-18-4
天井せっこうボード張り	突付け (厚9.5 準不燃)	m <sup>2</sup>	a180	表RA-18-4
天井せっこうボード張り	突付け (厚12.5 不燃)	m <sup>2</sup>	a184	表RA-18-4
天井せっこうボード張り	突付け (シージング せっこうボード 厚9.5 準不燃)	m <sup>2</sup>	a192	表RA-18-4
天井せっこうボード張り	突付け (シージング せっこうボード 厚12.5 不燃)	m <sup>2</sup>	a196	表RA-18-4
天井せっこうボード張り	突付け (化粧せっこうボード 厚9.5 準不燃)	m <sup>2</sup>	a200	表RA-18-4
天井せっこうボード張り	突付け (吸音用あなあきせっこうボード 厚9.5 φ6-22 不燃紙裏打ち 準不燃)	m <sup>2</sup>	a191	表RA-18-4
天井せっこうボード張り	目透かし(厚9.5 準不燃)	m <sup>2</sup>	a181	表RA-18-4
天井せっこうボード張り	目透かし(厚12.5 不燃)	m <sup>2</sup>	a185	表RA-18-4
天井せっこうボード張り	目透かし(不燃積層 厚9.5 不燃 化粧無し)	m <sup>2</sup>	a188	表RA-18-4
天井せっこうボード張り	目透かし (シージング せっこうボード 厚9.5 準不燃)	m <sup>2</sup>	a193	表RA-18-4
天井せっこうボード張り	目透かし (シージング せっこうボード 厚12.5 不燃)	m <sup>2</sup>	a197	表RA-18-4
天井せっこうボード張り	継目処理 (厚9.5 準不燃)	m <sup>2</sup>	a182	表RA-18-4
天井せっこうボード張り	継目処理 (厚12.5 不燃)	m <sup>2</sup>	a186	表RA-18-4

## \* \* 参考歩掛り \* \*

細 目	摘 要	単位	歩掛り記号	表番号
天井せっこうボード張り	継目処理(不燃積層 厚9.5 不燃 化粧無し)	m <sup>2</sup>	a189	表RA-18-4
天井せっこうボード張り	継目処理(シージング せっこうボード 厚9.5 準不燃)	m <sup>2</sup>	a194	表RA-18-4
天井せっこうボード張り	継目処理(シージング せっこうボード 厚12.5 不燃)	m <sup>2</sup>	a198	表RA-18-4
天井せっこうボード張り	下地張り(厚9.5 準不燃)	m <sup>2</sup>	a183	表RA-18-4
天井せっこうボード張り	下地張り(厚12.5 不燃)	m <sup>2</sup>	a187	表RA-18-4
天井せっこうボード張り	化粧ボード(不燃積層 厚9.5 不燃 化粧有りトラバーチン)	m <sup>2</sup>	a14	表RA-18-4
天井せっこうボード張り	下地張り(不燃積層 厚9.5 不燃 化粧無し)	m <sup>2</sup>	a190	表RA-18-4
天井せっこうボード張り	下地張り(シージング せっこうボード 厚9.5 準不燃)	m <sup>2</sup>	a195	表RA-18-4
天井せっこうボード張り	下地張り(シージング せっこうボード 厚12.5 不燃)	m <sup>2</sup>	a199	表RA-18-4
天井ロックウール吸音板張り	フラット 内部用 軽鉄直張り(厚9不燃)	m <sup>2</sup>	a202	表RA-18-6
天井ロックウール吸音板張り	フラット 内部用 軽鉄直張り(厚12不燃)	m <sup>2</sup>	a203	表RA-18-6
天井ロックウール吸音板張り	フラット 内部用 下地張り共(厚9不燃 下地不燃積層せっこうボード 厚9.5)	m <sup>2</sup>	a15	表RA-18-6
天井ロックウール吸音板張り	フラット 内部用 下地張り共(厚9不燃 下地せっこうボード 厚12.5)	m <sup>2</sup>	a228	表RA-18-6
天井ロックウール吸音板張り	フラット 内部用 下地張り共(厚12.0不燃 下地不燃積層せっこうボード 厚9.5)	m <sup>2</sup>	a229	表RA-18-6
天井ロックウール吸音板張り	フラット 内部用 下地張り共(厚12不燃 下地せっこうボード 厚12.5)	m <sup>2</sup>	a230	表RA-18-6
天井ロックウール吸音板張り	フラット 外部用 下地張り共(厚9不燃 下地シージング せっこうボード 厚12.5)	m <sup>2</sup>	a231	表RA-18-6
天井ロックウール吸音板張り	フラット 外部用 下地張り共(厚12不燃 下地シージング せっこうボード 厚12.5)	m <sup>2</sup>	a232	表RA-18-6
天井ロックウール吸音板張り	凹凸模様 内部用 下地張り共(厚12不燃 下地不燃積層せっこうボード 厚9.5)	m <sup>2</sup>	a16	表RA-18-6
天井ロックウール吸音板張り	凹凸模様 内部用 下地張り共(厚12不燃 下地せっこうボード 厚12.5)	m <sup>2</sup>	a208	表RA-18-6
天井ロックウール吸音板張り	凹凸模様 内部用 下地張り共(厚15不燃 下地不燃積層せっこうボード 厚9.5)	m <sup>2</sup>	a233	表RA-18-6
天井ロックウール吸音板張り	凹凸模様 内部用 下地張り共(厚15不燃 下地せっこうボード 厚12.5)	m <sup>2</sup>	a209	表RA-18-6
天井ロックウール吸音板張り	凹凸模様 内部用 下地張り共(厚19不燃 下地不燃積層せっこうボード 厚9.5)	m <sup>2</sup>	a234	表RA-18-6
天井ロックウール吸音板張り	凹凸模様 内部用 下地張り共(厚19不燃 下地せっこうボード 厚12.5)	m <sup>2</sup>	a211	表RA-18-6
天井ロックウール吸音板張り	凹凸模様 外部用 下地張り共(厚12不燃 下地シージング せっこうボード 厚12.5)	m <sup>2</sup>	a235	表RA-18-6
天井ロックウール吸音板張り	凹凸模様 外部用 下地張り共(厚15不燃 下地シージング せっこうボード 厚12.5)	m <sup>2</sup>	a236	表RA-18-6

＊＊参考歩掛り＊＊

細 目	摘 要	単位	歩掛り記号	表番号
けい酸カルシム板張り	天井 突付け (タイプ 2/ソアス0.8FK 厚6)	m <sup>2</sup>	a17	表RA-18-5
けい酸カルシム板張り	天井 突付け (タイプ 2/ソアス0.8FK 厚5)	m <sup>2</sup>	a215	表RA-18-5
けい酸カルシム板張り	天井 突付け (タイプ 2/ソアス0.8FK 厚8)	m <sup>2</sup>	a219	表RA-18-5
けい酸カルシム板張り	天井 突付け (タイプ 2/ソアス0.8FK 厚10)	m <sup>2</sup>	a222	表RA-18-5
けい酸カルシム板張り	天井 突付け (タイプ 2/ソアス0.8FK 厚12)	m <sup>2</sup>	a225	表RA-18-5
けい酸カルシム板張り	天井 目透かし (タイプ 2/ソアス0.8FK 厚6)	m <sup>2</sup>	a18	表RA-18-5
けい酸カルシム板張り	天井 目透かし (タイプ 2/ソアス0.8FK 厚5)	m <sup>2</sup>	a216	表RA-18-5
けい酸カルシム板張り	天井 目透かし (タイプ 2/ソアス0.8FK 厚8)	m <sup>2</sup>	a220	表RA-18-5
けい酸カルシム板張り	天井 目透かし (タイプ 2/ソアス0.8FK 厚10)	m <sup>2</sup>	a223	表RA-18-5
けい酸カルシム板張り	天井 目透かし (タイプ 2/ソアス0.8FK 厚12)	m <sup>2</sup>	a226	表RA-18-5
けい酸カルシム板張り	天井 下地張り (タイプ 2/ソアス0.8FK 厚5)	m <sup>2</sup>	a217	表RA-18-5
けい酸カルシム板張り	天井 下地張り (タイプ 2/ソアス0.8FK 厚6)	m <sup>2</sup>	a218	表RA-18-5
けい酸カルシム板張り	天井 下地張り (タイプ 2/ソアス0.8FK 厚8)	m <sup>2</sup>	a221	表RA-18-5
けい酸カルシム板張り	天井 下地張り (タイプ 2/ソアス0.8FK 厚10)	m <sup>2</sup>	a224	表RA-18-5
けい酸カルシム板張り	天井 下地張り (タイプ 2/ソアス0.8FK 厚12)	m <sup>2</sup>	a227	表RA-18-5

＊＊補正市場単価＊＊

細 目	摘 要	単位	市場単価	算定式
階段ビニル床シート張り	厚2.0mm 複層ビニル床シートマーブルFS	m <sup>2</sup>	V	a27 ÷ a26
階段ビニル床シート張り	厚2.5mm 複層ビニル床シートマーブルFS	m <sup>2</sup>	B	a28 ÷ a2
床ビニル床タイル張り	厚2.0mm コボリションビニル床タイル KT 多湿部	m <sup>2</sup>	C	a29 ÷ a3
床ビニル床タイル張り	厚2.0mm コボリションビニル床タイル KT 帯電防止	m <sup>2</sup>	C	a300 ÷ a3
ビニル幅木 (ソフト幅木)	H=75mm	m	F	a33 ÷ a5
ビニル幅木 (ソフト幅木)	H=100mm	m	F	a34 ÷ a5

＊＊補正市場単価＊＊

細 目	摘 要	単位	市場単価	算定式
壁 せっこうボード張り	厚9.5mm 準不燃 突付け	m <sup>2</sup>	H	a38 ÷ a8
壁 せっこうボード張り	厚9.5mm 準不燃 突付けV目地	m <sup>2</sup>	H	a41 ÷ a8
壁 せっこうボード張り	厚9.5mm 準不燃 目透かし	m <sup>2</sup>	H	a44 ÷ a8
壁 せっこうボード張り	厚9.5mm 準不燃 下地張り	m <sup>2</sup>	I-H	a50 ÷ a69
壁 せっこうボード張り	厚9.5mm 準不燃 突付け GL工法	m <sup>2</sup>	J	a51 ÷ a10
壁 せっこうボード張り	厚9.5mm 準不燃 突付け V目地 GL工法	m <sup>2</sup>	J	a54 ÷ a10
壁 せっこうボード張り	厚9.5mm 準不燃 下地張り GL工法	m <sup>2</sup>	J	a62 ÷ a10
壁 せっこうボード張り	厚12.5mm 不燃 突付け V目地	m <sup>2</sup>	H	a63 ÷ a8
壁 せっこうボード張り	厚12.5mm 不燃 目透かし	m <sup>2</sup>	H	a65 ÷ a8
壁 せっこうボード張り	厚12.5mm 不燃 下地張り	m <sup>2</sup>	I-H	1
壁 せっこうボード張り	厚12.5mm 不燃 突付け V目地 GL工法	m <sup>2</sup>	J	1
壁 せっこうボード張り	厚12.5mm 不燃 下地張り GL工法	m <sup>2</sup>	J	a76 ÷ a10
壁 せっこうボード張り	厚15.0mm 不燃 突付け	m <sup>2</sup>	H	a77 ÷ a8
壁 せっこうボード張り	厚15.0mm 不燃 突付け V目地	m <sup>2</sup>	H	a78 ÷ a8
壁 せっこうボード張り	厚15.0mm 不燃 目透かし	m <sup>2</sup>	H	a79 ÷ a8
壁 せっこうボード張り	厚15.0mm 不燃 下地張り	m <sup>2</sup>	I-H	a81 ÷ a69
壁 せっこうボード張り	厚15.0mm 不燃 突付け GL工法	m <sup>2</sup>	J	a82 ÷ a10
壁 せっこうボード張り	厚15.0mm 不燃 突付け V目地 GL工法	m <sup>2</sup>	J	a83 ÷ a10
壁 せっこうボード張り	厚15.0mm 不燃 下地張り GL工法	m <sup>2</sup>	J	a85 ÷ a10
壁 不燃積層せっこうボード張り	厚9.5mm 不燃 突付け	m <sup>2</sup>	H	a86 ÷ a8
壁 不燃積層せっこうボード張り	厚9.5mm 不燃 突付け V目地	m <sup>2</sup>	H	a89 ÷ a8
壁 不燃積層せっこうボード張り	厚9.5mm 不燃 目透かし	m <sup>2</sup>	H	a92 ÷ a8
壁 不燃積層せっこうボード張り	厚9.5mm 不燃 下地張り	m <sup>2</sup>	I-H	a98 ÷ a69
壁 不燃積層せっこうボード張り	厚9.5mm 不燃 突付け GL工法	m <sup>2</sup>	J	a99 ÷ a10
壁 不燃積層せっこうボード張り	厚9.5mm 不燃 突付け V目地 GL工法	m <sup>2</sup>	J	a102 ÷ a10
壁 不燃積層せっこうボード張り	厚9.5mm 不燃 下地張り GL工法	m <sup>2</sup>	J	a110 ÷ a10
壁 シーリング せっこうボード張り	厚9.5mm 準不燃 突付け	m <sup>2</sup>	H	a112 ÷ a8
壁 シーリング せっこうボード張り	厚9.5mm 準不燃 突付け V目地	m <sup>2</sup>	H	a115 ÷ a8
壁 シーリング せっこうボード張り	厚9.5mm 準不燃 目透かし	m <sup>2</sup>	H	a118 ÷ a8
壁 シーリング せっこうボード張り	厚9.5mm 準不燃 下地張り	m <sup>2</sup>	I-H	a124 ÷ a69
壁 シーリング せっこうボード張り	厚9.5mm 準不燃 突付け GL工法	m <sup>2</sup>	J	a125 ÷ a10
壁 シーリング せっこうボード張り	厚9.5mm 準不燃 突付け V目地 GL工法	m <sup>2</sup>	J	a128 ÷ a10
壁 シーリング せっこうボード張り	厚9.5mm 準不燃 下地張り GL工法	m <sup>2</sup>	J	a136 ÷ a10
壁 シーリング せっこうボード張り	厚12.5mm 不燃 突付け	m <sup>2</sup>	H	a137 ÷ a8
壁 シーリング せっこうボード張り	厚12.5mm 不燃 突付け V目地	m <sup>2</sup>	H	a139 ÷ a8
壁 シーリング せっこうボード張り	厚12.5mm 不燃 目透かし	m <sup>2</sup>	H	a141 ÷ a8
壁 シーリング せっこうボード張り	厚12.5mm 不燃 下地張り	m <sup>2</sup>	I-H	a145 ÷ a69
壁 シーリング せっこうボード張り	厚12.5mm 不燃 突付け GL工法	m <sup>2</sup>	J	a146 ÷ a10
壁 シーリング せっこうボード張り	厚12.5mm 不燃 突付け V目地 GL工法	m <sup>2</sup>	J	a148 ÷ a10
壁 シーリング せっこうボード張り	厚12.5mm 不燃 下地張り GL工法	m <sup>2</sup>	J	a153 ÷ a10

※壁せっこうボード張り、壁不燃積層せっこうボード張り、壁シーリング せっこうボード張りで継目処理の場合は、上記に記載されている突付け仕様の補正市場単価に、「せっこうボード 継目処理 継目処理工法 (テバーエッジ) 【単価記号S】」の市場単価を加算する。

＊＊補正市場単価＊＊

細　　目	摘　　要	単位	市場単価	算定式
壁 強化せっこうボード張り	厚15.0mm 不燃 突付け	m <sup>2</sup>	H	a156 ÷ a8
壁 強化せっこうボード張り	厚15.0mm 不燃 下地張り	m <sup>2</sup>	I-H	a158 ÷ a69
壁 強化せっこうボード張り	厚21.0mm 不燃 突付け	m <sup>2</sup>	H	a161 ÷ a8
壁 強化せっこうボード張り	厚21.0mm 不燃 下地張り	m <sup>2</sup>	I-H	a163 ÷ a69
壁 吸音用穴あきせっこうボード張り	厚9.5mm 準不燃 (不燃紙裏打ち) 突付け 穴Φ6-22	m <sup>2</sup>	H	a111 ÷ a8
壁 せっこうラスボード張り	厚9.5mm 下地張り	m <sup>2</sup>	I-H	a164 ÷ a69
壁 けい酸カルシウム板張り	厚5.0mm 不燃 突付け (タイプ2,無石綿,0.8FK)	m <sup>2</sup>	M	a165 ÷ a11
壁 けい酸カルシウム板張り	厚5.0mm 不燃 目透かし (タイプ2,無石綿,0.8FK)	m <sup>2</sup>	N	a166 ÷ a12
壁 けい酸カルシウム板張り	厚5.0mm 不燃 下地張り (タイプ2,無石綿,0.8FK)	m <sup>2</sup>	M	a167 ÷ a11
壁 けい酸カルシウム板張り	厚6.0mm 不燃 突付け (タイプ2,無石綿,0.8FK)	m <sup>2</sup>	M	a168 ÷ a11
壁 けい酸カルシウム板張り	厚6.0mm 不燃 目透かし (タイプ2,無石綿,0.8FK)	m <sup>2</sup>	N	a169 ÷ a12
壁 けい酸カルシウム板張り	厚6.0mm 不燃 下地張り (タイプ2,無石綿,0.8FK)	m <sup>2</sup>	M	a170 ÷ a11
壁 けい酸カルシウム板張り	厚8.0mm 不燃 下地張り (タイプ2,無石綿,0.8FK)	m <sup>2</sup>	M	a172 ÷ a11
壁 けい酸カルシウム板張り	厚10.0mm 不燃 突付け (タイプ2,無石綿,0.8FK)	m <sup>2</sup>	M	a173 ÷ a11
壁 けい酸カルシウム板張り	厚10.0mm 不燃 目透かし (タイプ2,無石綿,0.8FK)	m <sup>2</sup>	N	a174 ÷ a12
壁 けい酸カルシウム板張り	厚10.0mm 不燃 下地張り (タイプ2,無石綿,0.8FK)	m <sup>2</sup>	M	a175 ÷ a11
壁 けい酸カルシウム板張り	厚12.0mm 不燃 突付け (タイプ2,無石綿,0.8FK)	m <sup>2</sup>	M	a176 ÷ a11
壁 けい酸カルシウム板張り	厚12.0mm 不燃 目透かし (タイプ2,無石綿,0.8FK)	m <sup>2</sup>	N	a178 ÷ a12
壁 けい酸カルシウム板張り	厚12.0mm 不燃 下地張り (タイプ2,無石綿,0.8FK)	m <sup>2</sup>	M	a179 ÷ a11

※壁強化せっこうボード張りで継目処理の場合は上記に記載されている突付け仕様の補正市場単価に、「せっこうボード継目処理 継目処理工法 (テ-バ-イッジ)【単価記号S】」の市場単価を加算する。

＊＊補正市場単価＊＊

細 目	摘 要	単位	市場単価	算定式
天井せっこうボード張り	厚9.5mm 準不燃 突付け	m <sup>2</sup>	K	a180÷a13
天井せっこうボード張り	厚9.5mm 準不燃 目透かし	m <sup>2</sup>	K	a181÷a13
天井せっこうボード張り	厚9.5mm 準不燃 下地張り	m <sup>2</sup>	K	a183÷a13
天井せっこうボード張り	厚12.5mm 不燃 突付け	m <sup>2</sup>	K	a184÷a13
天井せっこうボード張り	厚12.5mm 不燃 目透かし	m <sup>2</sup>	K	a185÷a13
天井せっこうボード張り	厚12.5mm 不燃 下地張り	m <sup>2</sup>	K	a187÷a13
天井不燃積層せっこうボード張り	厚9.5mm 不燃 目透かし	m <sup>2</sup>	K	a188÷a13
天井不燃積層せっこうボード張り	厚9.5mm 不燃 下地張り	m <sup>2</sup>	K	a190÷a13
天井吸音用穴あきせっこうボード張り	厚9.5mm 準不燃(不燃紙裏打ち) 突付け 穴Φ6-22	m <sup>2</sup>	K	a191÷a13
天井シージングせっこうボード張り	厚9.5mm 準不燃 突付け	m <sup>2</sup>	K	a192÷a13
天井シージングせっこうボード張り	厚9.5mm 準不燃 目透かし	m <sup>2</sup>	K	a193÷a13
天井シージングせっこうボード張り	厚9.5mm 準不燃 下地張り	m <sup>2</sup>	K	a195÷a13
天井シージングせっこうボード張り	厚12.5mm 不燃 突付け	m <sup>2</sup>	K	a196÷a13
天井シージングせっこうボード張り	厚12.5mm 不燃 目透かし	m <sup>2</sup>	K	a197÷a13
天井シージングせっこうボード張り	厚12.5mm 不燃 下地張り	m <sup>2</sup>	K	a199÷a13
天井化粧せっこうボード張り	厚9.5mm 準不燃 突付け トバーチン	m <sup>2</sup>	L	a200÷a14
天井けい酸カルシウム板張り	厚5.0mm 不燃 突付け (タイプ2,無石綿,0.8FK)	m <sup>2</sup>	O	a215÷a17
天井けい酸カルシウム板張り	厚5.0mm 不燃 目透かし (タイプ2,無石綿,0.8FK)	m <sup>2</sup>	P	a216÷a18
天井けい酸カルシウム板張り	厚5.0mm 不燃 下地張り (タイプ2,無石綿,0.8FK)	m <sup>2</sup>	O	a217÷a17
天井けい酸カルシウム板張り	厚6.0mm 不燃 下地張り (タイプ2,無石綿,0.8FK)	m <sup>2</sup>	O	a218÷a17
天井けい酸カルシウム板張り	厚8.0mm 不燃 突付け (タイプ2,無石綿,0.8FK)	m <sup>2</sup>	O	a219÷a17
天井けい酸カルシウム板張り	厚8.0mm 不燃 目透かし (タイプ2,無石綿,0.8FK)	m <sup>2</sup>	P	a220÷a18
天井けい酸カルシウム板張り	厚8.0mm 不燃 下地張り (タイプ2,無石綿,0.8FK)	m <sup>2</sup>	O	a221÷a17
天井けい酸カルシウム板張り	厚10.0mm 不燃 突付け (タイプ2,無石綿,0.8FK)	m <sup>2</sup>	O	a222÷a17
天井けい酸カルシウム板張り	厚10.0mm 不燃 目透かし (タイプ2,無石綿,0.8FK)	m <sup>2</sup>	P	a223÷a18
天井けい酸カルシウム板張り	厚10.0mm 不燃 下地張り (タイプ2,無石綿,0.8FK)	m <sup>2</sup>	O	a224÷a17
天井けい酸カルシウム板張り	厚12.0mm 不燃 突付け (タイプ2,無石綿,0.8FK)	m <sup>2</sup>	O	a225÷a17
天井けい酸カルシウム板張り	厚12.0mm 不燃 目透かし (タイプ2,無石綿,0.8FK)	m <sup>2</sup>	P	a226÷a18
天井けい酸カルシウム板張り	厚12.0mm 不燃 下地張り (タイプ2,無石綿,0.8FK)	m <sup>2</sup>	O	a227÷a17

※天井せっこうボード張り、天井不燃積層せっこうボード張り、天井シージングせっこうボード張りで継目処理の場合は、上記に記載されている突付け仕様の補正市場単価に、「せっこうボード継目処理 継目処理工法(トバーリッジ)【単価記号S】」の市場単価を加算する。

＊＊補正市場単価＊＊

細　　目	摘　　要	単位	市場単価	算定式
天井 ロックウール吸音板張り(内部用)	厚9.0mm 不燃 フラットタイプ 下地せっこうボード厚12.5mm共	m <sup>2</sup>	Q	a228 ÷ a15
天井 ロックウール吸音板張り(内部用)	厚12.0mm 不燃 フラットタイプ 下地不燃積層せっこうボード厚9.5mm共	m <sup>2</sup>	Q	a229 ÷ a15
天井 ロックウール吸音板張り(内部用)	厚12.0mm 不燃 フラットタイプ 下地せっこうボード厚12.5mm共	m <sup>2</sup>	Q	a230 ÷ a15
天井 ロックウール吸音板張り(内部用)	厚9.0mm 不燃 フラットタイプ 軽鉄直貼り	m <sup>2</sup>	Q	a202 ÷ a15
天井 ロックウール吸音板張り(内部用)	厚12.0mm 不燃 フラットタイプ 軽鉄直貼り	m <sup>2</sup>	Q	a203 ÷ a15
天井 ロックウール吸音板張り(外部用)	厚9.0mm 不燃 フラットタイプ 下地シーリングせっこうボード厚12.5mm共	m <sup>2</sup>	Q	a231 ÷ a15
天井 ロックウール吸音板張り(外部用)	厚12.0mm 不燃 フラットタイプ 下地シーリングせっこうボード厚12.5mm共	m <sup>2</sup>	Q	a232 ÷ a15
天井 ロックウール吸音板張り(内部用)	厚12.0mm 不燃 凹凸タイプ 下地せっこうボード厚12.5mm共	m <sup>2</sup>	R	a208 ÷ a16
天井 ロックウール吸音板張り(内部用)	厚15.0mm 不燃 凹凸タイプ 下地不燃積層せっこうボード厚9.5mm共	m <sup>2</sup>	R	a233 ÷ a16
天井 ロックウール吸音板張り(内部用)	厚15.0mm 不燃 凹凸タイプ 下地せっこうボード厚12.5mm共	m <sup>2</sup>	R	a209 ÷ a16
天井 ロックウール吸音板張り(内部用)	厚19.0mm 不燃 凹凸タイプ 下地不燃積層せっこうボード厚9.5mm共	m <sup>2</sup>	R	a234 ÷ a16
天井 ロックウール吸音板張り(内部用)	厚19.0mm 不燃 凹凸タイプ 下地せっこうボード厚12.5mm共	m <sup>2</sup>	R	a211 ÷ a16
天井 ロックウール吸音板張り(外部用)	厚12.0mm 不燃 凹凸タイプ 下地シーリングせっこうボード厚12.5mm共	m <sup>2</sup>	R	a235 ÷ a16
天井 ロックウール吸音板張り(外部用)	厚15.0mm 不燃 凹凸タイプ 下地シーリングせっこうボード厚12.5mm共	m <sup>2</sup>	R	a236 ÷ a16

＊＊参考歩掛り＊＊

細　　目	摘　　要	単位	歩掛り記号	表番号
ビニル床シート張り	床 (厚2.0mm 複層ビニル床シート 無地 FS 突付工法)	m <sup>2</sup>	a19'	表RA-18-1
ビニル床シート張り	床 (厚2.0mm 複層ビニル床シートマーフルFS 突付工法)	m <sup>2</sup>	a22'	表RA-18-1
ビニル床シート張り	床 (厚2.0mm 複層ビニル床シート 無地 FS 突付工法 多湿部)	m <sup>2</sup>	a20'	表RA-18-1
ビニル床シート張り	床 (厚2.0mm 複層ビニル床シートマーフルFS 突付工法 多湿部)	m <sup>2</sup>	a23'	表RA-18-1
ビニル床シート張り	床 (厚2.0mm 複層ビニル床シート 無地 FS 突付工法 帯電防止)	m <sup>2</sup>	a26'	表RA-18-1
ビニル床シート張り	床 (厚2.0mm 複層ビニル床シート 無地 FS 突付工法 防滑仕様)	m <sup>2</sup>	a27'	表RA-18-1
ビニル床シート張り	床 (厚2.5mm 複層ビニル床シート 無地 FS 突付工法)	m <sup>2</sup>	a1	表RA-18-1
ビニル床シート張り	床 (厚2.5mm 複層ビニル床シートマーフルFS 突付工法)	m <sup>2</sup>	a24'	表RA-18-1
ビニル床シート張り	床 (厚2.5mm 複層ビニル床シート 無地 FS 突付工法 多湿部)	m <sup>2</sup>	a21'	表RA-18-1
ビニル床シート張り	床 (厚2.5mm 複層ビニル床シートマーフルFS 突付工法 多湿部)	m <sup>2</sup>	a25'	表RA-18-1
ビニル床シート張り	床 (厚2.5mm 複層ビニル床シート 無地 FS 突付工法 帯電防止)	m <sup>2</sup>	a28'	表RA-18-1
ビニル床シート張り	床 (厚2.5mm 複層ビニル床シート柄 FS 突付工法 防滑仕様)	m <sup>2</sup>	a29'	表RA-18-1

＊＊協議会歩掛り＊＊

細　　目	摘　　要	単位	歩掛り記号	備　考
ビニル床シート熱溶接工法加算額		m <sup>2</sup>	b	ビニル床シート熱溶接工法加算額※1
ビニル幅木張り	ビニル幅木 階段ささら (稻妻 高さ 60)	m	a35	階段ビニル幅木張り※2
ビニル幅木張り	ビニル幅木 階段ささら (稻妻 高さ 75)	m	a36	
ビニル幅木張り	ビニル幅木 階段ささら (稻妻 高さ 100)	m	a37	

※1営繕積算システム等開発利用協議会歩掛り

※2営繕積算システム等開発利用協議会参考資料参照

＊＊補正市場単価＊＊

細目	摘要	単位	市場単価	算定式
床ビニル床シート張り	厚2.0mm 複層ビニル床シートマーブルFS 熱溶接工法	<u>m<sup>2</sup></u>	U	(a22'+b) ÷ (a19'+b)
床ビニル床シート張り	厚2.0mm 複層ビニル床シート無地 FS 突付工法	<u>m<sup>2</sup></u>	U	a19' ÷ (a19'+b)
床ビニル床シート張り	厚2.0mm 複層ビニル床シートマーブルFS 突付工法	<u>m<sup>2</sup></u>	U	a22' ÷ (a19'+b)
床ビニル床シート張り	厚2.0mm 複層ビニル床シート無地 FS 突付工法 帯電防止	<u>m<sup>2</sup></u>	U	a26' ÷ (a19'+b)
床ビニル床シート張り	厚2.0mm 複層ビニル床シート無地 FS 熱溶接工法 帯電防止	<u>m<sup>2</sup></u>	U	(a26'+b) ÷ (a19'+b)
床ビニル床シート張り	厚2.0mm 複層ビニル床シート無地 FS 突付工法 防滑仕様	<u>m<sup>2</sup></u>	U	a27' ÷ (a19'+b)
床ビニル床シート張り	厚2.0mm 複層ビニル床シート無地 FS 熱溶接工法 防滑仕様	<u>m<sup>2</sup></u>	U	(a27'+b) ÷ (a19'+b)
床ビニル床シート張り	厚2.0mm 複層ビニル床シート無地 FS 熱溶接工法 多湿部	<u>m<sup>2</sup></u>	U	(a20'+b) ÷ (a19'+b)
床ビニル床シート張り	厚2.0mm 複層ビニル床シートマーブルFS 熱溶接工法 多湿部	<u>m<sup>2</sup></u>	U	(a23'+b) ÷ (a19'+b)
床ビニル床シート張り	厚2.0mm 複層ビニル床シート無地 FS 突付工法 多湿部	<u>m<sup>2</sup></u>	U	a20' ÷ (a19'+b)
床ビニル床シート張り	厚2.0mm 複層ビニル床シートマーブルFS 突付工法 多湿部	<u>m<sup>2</sup></u>	U	a23' ÷ (a19'+b)
床ビニル床シート張り	厚2.5mm 複層ビニル床シートマーブルFS 熱溶接工法	<u>m<sup>2</sup></u>	A	(a24'+b) ÷ (a1+b)
床ビニル床シート張り	厚2.5mm 複層ビニル床シート無地 FS 突付工法	<u>m<sup>2</sup></u>	A	a1 ÷ (a1+b)
床ビニル床シート張り	厚2.5mm 複層ビニル床シートマーブル FS 突付工法	<u>m<sup>2</sup></u>	A	a24' ÷ (a1+b)
床ビニル床シート張り	厚2.5mm 複層ビニル床シート無地 FS 熱溶接工法 多湿部	<u>m<sup>2</sup></u>	A	(a21'+b) ÷ (a1+b)
床ビニル床シート張り	厚2.5mm 複層ビニル床シートマーブルFS 熱溶接工法 多湿部	<u>m<sup>2</sup></u>	A	(a25'+b) ÷ (a1+b)
床ビニル床シート張り	厚2.5mm 複層ビニル床シート無地 FS 突付工法 多湿部	<u>m<sup>2</sup></u>	A	a21' ÷ (a1+b)
床ビニル床シート張り	厚2.5mm 複層ビニル床シートマーブル FS 突付工法 多湿部	<u>m<sup>2</sup></u>	A	a25' ÷ (a1+b)
床ビニル床シート張り	厚2.5mm 複層ビニル床シート無地 FS 突付工法 帯電防止	<u>m<sup>2</sup></u>	A	a28' ÷ (a1+b)
床ビニル床シート張り	厚2.5mm 複層ビニル床シート無地 FS 熱溶接工法 帯電防止	<u>m<sup>2</sup></u>	A	(a28'+b) ÷ (a1+b)
床ビニル床シート張り	厚2.5mm 複層ビニル床シート柄 FS 突付工法 防滑仕様	<u>m<sup>2</sup></u>	A	a29' ÷ (a1+b)
床ビニル床シート張り	厚2.5mm 複層ビニル床シート柄 FS 熱溶接工法 防滑仕様	<u>m<sup>2</sup></u>	A	(a29'+b) ÷ (a1+b)
稻妻ビニル幅木（ソフト幅木）	H=60mm	m	G	a35 ÷ a6
稻妻ビニル幅木（ソフト幅木）	H=75mm	m	G	a36 ÷ a6
稻妻ビニル幅木（ソフト幅木）	H=100mm	m	G	a37 ÷ a6

表 E1-1 補正市場単価 【配管工事】

細 目	摘 要	単位	備 考
ケーブルラック	トレー形 ZT 200～600 (1段目及び2段積の2段目)	m	
ケーブルラック	はしご形 ZM 400～1000BS	m	
ケーブルラック	はしご形 ZM 200～1000A、400～1000B 支持材別途 (共同溝内敷設)	m	
ケーブルラック	はしご形 ZA 200～1000A、400～1000B 支持材別途 (共同溝内敷設)	m	
ケーブルラック	はしご形 AL 200～1000A、400～1000B 支持材別途 (共同溝内敷設)	m	

表 E1-2 補正市場単価 【配線工事】

細 目	摘 要	単位	備 考
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 1.0~1.2mm、2.6mm	m	
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 2~3.5mm <sup>2</sup> 、150~325mm <sup>2</sup>	m	
600V絶縁電線	600V二種ビニル絶縁電線 (HIV) 管内配線 1.2~325mm <sup>2</sup>	m	
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) PF及びCD管内配線 1.0~325mm <sup>2</sup>	m	
600V絶縁電線	600V二種ビニル絶縁電線 (HIV) PF及びCD管内配線 1.2~325mm <sup>2</sup>	m	
600V絶縁ケーブル	600Vポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル (EM-EEF) ころがし配線 2.6mm-2C・3C	m	
600V絶縁ケーブル	600Vポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル (EM-EEF) 木造部分にサドル止め又はステップル止め 1.6~2.6mm-2C・3C	m	
600V絶縁ケーブル	600Vポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル (EM-EEF) コンクリート部分にサドル止め (カールブーラグ含む) 1.6~2.6mm-2C・3C	m	
600V絶縁ケーブル	600Vポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル (EM-EEF) ケーブルラック内配線 1.6~2.6mm-2C・3C	m	
600V絶縁ケーブル	600Vポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル (EM-EEF) 管内配線 1.6~2.6mm-2C・3C	m	
600V絶縁ケーブル	600Vポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル (EM-EEF) PF及びCD管内配線 1.6~2.6mm-2C・3C	m	
アース線付600V絶縁ケーブル	アース線付600Vポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル (EM-EEFG) ころがし配線 2.0~2.6mm-2C+1.6mm-1C	m	
アース線付600V絶縁ケーブル	アース線付600Vポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル (EM-EEFG) 木造部分にサドル止め又はステップル止め 2.0~2.6mm-2C+1.6mm-1C	m	
アース線付600V絶縁ケーブル	アース線付600Vポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル (EM-EEFG) コンクリート部分にサドル止め (カールブーラグ含む) 2.0~2.6mm-2C+1.6mm-1C	m	
アース線付600V絶縁ケーブル	アース線付600Vポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル (EM-EEFG) ケーブルラック内配線 2.0~2.6mm-2C+1.6mm-1C	m	
アース線付600V絶縁ケーブル	アース線付600Vポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル (EM-EEFG) 管内配線 2.0~2.6mm-2C+1.6mm-1C	m	
アース線付600V絶縁ケーブル	アース線付600Vポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル (EM-EEFG) PF及びCD管内配線 2.0~2.6mm-2C+1.6mm-1C	m	

## 【配管工事 1】ケーブルラック ZT 1段目・2段積の2段目

\*\*補正市場単価\*\*

細 目	摘 要	単位	市場単価	算定式
ケーブルラック	トレー形 ZT 200 (1段目)	m	A	a ÷ k
ケーブルラック	トレー形 ZT 300 (1段目)	m	B	b ÷ l
ケーブルラック	トレー形 ZT 400 (1段目)	m	C	c ÷ m
ケーブルラック	トレー形 ZT 500 (1段目)	m	D	d ÷ n
ケーブルラック	トレー形 ZT 600 (1段目)	m	E	e ÷ o
ケーブルラック	トレー形 ZT 200 (2段積の2段目)	m	F	f ÷ p
ケーブルラック	トレー形 ZT 300 (2段積の2段目)	m	G	g ÷ q
ケーブルラック	トレー形 ZT 400 (2段積の2段目)	m	H	h ÷ r
ケーブルラック	トレー形 ZT 500 (2段積の2段目)	m	I	i ÷ s
ケーブルラック	トレー形 ZT 600 (2段積の2段目)	m	J	j ÷ t

\*\*市場単価\*\*

細 目	摘 要	単位	単価記号
ケーブルラック	はしご形 ZM 200A (1段目)	m	A
ケーブルラック	はしご形 ZM 300A (1段目)	m	B
ケーブルラック	はしご形 ZM 400A (1段目)	m	C
ケーブルラック	はしご形 ZM 500A (1段目)	m	D
ケーブルラック	はしご形 ZM 600A (1段目)	m	E
ケーブルラック	はしご形 ZM 200A (2段積の2段目)	m	F
ケーブルラック	はしご形 ZM 300A (2段積の2段目)	m	G
ケーブルラック	はしご形 ZM 400A (2段積の2段目)	m	H
ケーブルラック	はしご形 ZM 500A (2段積の2段目)	m	I
ケーブルラック	はしご形 ZM 600A (2段積の2段目)	m	J

\*\*参考歩掛り\*\*

細 目	摘 要	単位	歩掛り記号	表番号
ケーブルラック	トレ-形 ZT 200 (1段目) 支持材加算	m	a	表RE-1-4
ケーブルラック	トレ-形 ZT 300 (1段目) 支持材加算	m	b	表RE-1-4
ケーブルラック	トレ-形 ZT 400 (1段目) 支持材加算	m	c	表RE-1-4
ケーブルラック	トレ-形 ZT 500 (1段目) 支持材加算	m	d	表RE-1-4
ケーブルラック	トレ-形 ZT 600 (1段目) 支持材加算	m	e	表RE-1-4
ケーブルラック	トレ-形 ZT 200 (2段積の2段目) 支持材加算	m	f	表RE-1-4
ケーブルラック	トレ-形 ZT 300 (2段積の2段目) 支持材加算	m	g	表RE-1-4
ケーブルラック	トレ-形 ZT 400 (2段積の2段目) 支持材加算	m	h	表RE-1-4
ケーブルラック	トレ-形 ZT 500 (2段積の2段目) 支持材加算	m	i	表RE-1-4
ケーブルラック	トレ-形 ZT 600 (2段積の2段目) 支持材加算	m	j	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM 200A (1段目) 支持材加算	m	k	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM 300A (1段目) 支持材加算	m	l	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM 400A (1段目) 支持材加算	m	m	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM 500A (1段目) 支持材加算	m	n	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM 600A (1段目) 支持材加算	m	o	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM 200A (2段積の2段目) 支持材加算	m	p	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM 300A (2段積の2段目) 支持材加算	m	q	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM 400A (2段積の2段目) 支持材加算	m	r	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM 500A (2段積の2段目) 支持材加算	m	s	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM 600A (2段積の2段目) 支持材加算	m	t	表RE-1-4

## 【配管工事 2】ケーブルラック ZM-BS

\*\*補正市場単価\*\*

細 目	摘 要	単位	市場単価	算定式
ケーブルラック	はしご形 ZM 400BS	m	A	a ÷ f
ケーブルラック	はしご形 ZM 500BS	m	B	b ÷ g
ケーブルラック	はしご形 ZM 600BS	m	C	c ÷ h
ケーブルラック	はしご形 ZM 800BS	m	D	d ÷ i
ケーブルラック	はしご形 ZM 1000BS	m	E	e ÷ j

\*\*市場単価\*\*

細 目	摘 要	単位	単価記号
ケーブルラック	はしご形 ZM 400B (1段目)	m	A
ケーブルラック	はしご形 ZM 500B (1段目)	m	B
ケーブルラック	はしご形 ZM 600B (1段目)	m	C
ケーブルラック	はしご形 ZM 800B (1段目)	m	D
ケーブルラック	はしご形 ZM 1000B (1段目)	m	E

\*\*参考歩掛り\*\*

細 目	摘 要	単位	歩掛り記号	表番号
ケーブルラック	はしご形 ZM 400BS 支持材加算	m	a	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM 500BS 支持材加算	m	b	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM 600BS 支持材加算	m	c	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM 800BS 支持材加算	m	d	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM 1000BS 支持材加算	m	e	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM 400B (1段目) 支持材加算	m	f	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM 500B (1段目) 支持材加算	m	g	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM 600B (1段目) 支持材加算	m	h	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM 800B (1段目) 支持材加算	m	i	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM 1000B (1段目) 支持材加算	m	j	表RE-1-4

## 【配管工事 3】ケーブルラック ZM 支持材別途「別途用意する支持材に敷設・共同構内敷設等」

\*\*補正市場単価\*\*

細 目	摘 要	単位	市場単価	算定式
ケーブルラック	はしご形 ZM 200A 支持材別途	m	A	a ÷ m
ケーブルラック	はしご形 ZM 300A 支持材別途	m	B	b ÷ n
ケーブルラック	はしご形 ZM 400A 支持材別途	m	C	c ÷ o
ケーブルラック	はしご形 ZM 500A 支持材別途	m	D	d ÷ p
ケーブルラック	はしご形 ZM 600A 支持材別途	m	E	e ÷ q
ケーブルラック	はしご形 ZM 800A 支持材別途	m	F	f ÷ r
ケーブルラック	はしご形 ZM 1000A 支持材別途	m	G	g ÷ s
ケーブルラック	はしご形 ZM 400B 支持材別途	m	H	h ÷ t
ケーブルラック	はしご形 ZM 500B 支持材別途	m	I	i ÷ u
ケーブルラック	はしご形 ZM 600B 支持材別途	m	J	j ÷ v
ケーブルラック	はしご形 ZM 800B 支持材別途	m	K	k ÷ w
ケーブルラック	はしご形 ZM 1000B 支持材別途	m	L	l ÷ x

\*\*市場単価\*\*

細 目	摘 要	単位	単価記号
ケーブルラック	はしご形 ZM 200A (2段積の2段目)	m	A
ケーブルラック	はしご形 ZM 300A (2段積の2段目)	m	B
ケーブルラック	はしご形 ZM 400A (2段積の2段目)	m	C
ケーブルラック	はしご形 ZM 500A (2段積の2段目)	m	D
ケーブルラック	はしご形 ZM 600A (2段積の2段目)	m	E
ケーブルラック	はしご形 ZM 800A (2段積の2段目)	m	F
ケーブルラック	はしご形 ZM 1000A (2段積の2段目)	m	G
ケーブルラック	はしご形 ZM 400B (2段積の2段目)	m	H
ケーブルラック	はしご形 ZM 500B (2段積の2段目)	m	I
ケーブルラック	はしご形 ZM 600B (2段積の2段目)	m	J
ケーブルラック	はしご形 ZM 800B (2段積の2段目)	m	K
ケーブルラック	はしご形 ZM 1000B (2段積の2段目)	m	L

\*\*参考歩掛り\*\*

細目	摘要	単位	歩掛り記号	表番号
ケーブルラック	はしご形 ZM 200A (2段積の2段目) 支持材別途	m	a	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM 300A (2段積の2段目) 支持材別途	m	b	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM 400A (2段積の2段目) 支持材別途	m	c	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM 500A (2段積の2段目) 支持材別途	m	d	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM 600A (2段積の2段目) 支持材別途	m	e	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM 800A (2段積の2段目) 支持材別途	m	f	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM 1000A (2段積の2段目) 支持材別途	m	g	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM 400B (2段積の2段目) 支持材別途	m	h	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM 500B (2段積の2段目) 支持材別途	m	i	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM 600B (2段積の2段目) 支持材別途	m	j	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM 800B (2段積の2段目) 支持材別途	m	k	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM 1000B (2段積の2段目) 支持材別途	m	l	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM 200A (2段積の2段目) 支持材加算	m	m	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM 300A (2段積の2段目) 支持材加算	m	n	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM 400A (2段積の2段目) 支持材加算	m	o	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM 500A (2段積の2段目) 支持材加算	m	p	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM 600A (2段積の2段目) 支持材加算	m	q	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM 800A (2段積の2段目) 支持材加算	m	r	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM 1000A (2段積の2段目) 支持材加算	m	s	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM 400B (2段積の2段目) 支持材加算	m	t	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM 500B (2段積の2段目) 支持材加算	m	u	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM 600B (2段積の2段目) 支持材加算	m	v	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM 800B (2段積の2段目) 支持材加算	m	w	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZM 1000B (2段積の2段目) 支持材加算	m	x	表RE-1-4

## 【配管工事 4】ケーブルラック ZA 支持材別途「別途用意する支持材に敷設・共同構内敷設等」

\*\*補正市場単価\*\*

細目	摘要	単位	市場単価	算定式
ケーブルラック	はしご形 ZA 200A 支持材別途	m	A	a ÷ m
ケーブルラック	はしご形 ZA 300A 支持材別途	m	B	b ÷ n
ケーブルラック	はしご形 ZA 400A 支持材別途	m	C	c ÷ o
ケーブルラック	はしご形 ZA 500A 支持材別途	m	D	d ÷ p
ケーブルラック	はしご形 ZA 600A 支持材別途	m	E	e ÷ q
ケーブルラック	はしご形 ZA 800A 支持材別途	m	F	f ÷ r
ケーブルラック	はしご形 ZA 1000A 支持材別途	m	G	g ÷ s
ケーブルラック	はしご形 ZA 400B 支持材別途	m	H	h ÷ t
ケーブルラック	はしご形 ZA 500B 支持材別途	m	I	i ÷ u
ケーブルラック	はしご形 ZA 600B 支持材別途	m	J	j ÷ v
ケーブルラック	はしご形 ZA 800B 支持材別途	m	K	k ÷ w
ケーブルラック	はしご形 ZA 1000B 支持材別途	m	L	l ÷ x

\*\*市場単価\*\*

細目	摘要	単位	単価記号
ケーブルラック	はしご形 ZA 200A (2段積の2段目)	m	A
ケーブルラック	はしご形 ZA 300A (2段積の2段目)	m	B
ケーブルラック	はしご形 ZA 400A (2段積の2段目)	m	C
ケーブルラック	はしご形 ZA 500A (2段積の2段目)	m	D
ケーブルラック	はしご形 ZA 600A (2段積の2段目)	m	E
ケーブルラック	はしご形 ZA 800A (2段積の2段目)	m	F
ケーブルラック	はしご形 ZA 1000A (2段積の2段目)	m	G
ケーブルラック	はしご形 ZA 400B (2段積の2段目)	m	H
ケーブルラック	はしご形 ZA 500B (2段積の2段目)	m	I
ケーブルラック	はしご形 ZA 600B (2段積の2段目)	m	J
ケーブルラック	はしご形 ZA 800B (2段積の2段目)	m	K
ケーブルラック	はしご形 ZA 1000B (2段積の2段目)	m	L

\*\*参考歩掛り\*\*

細 目	摘 要	単位	歩掛り記号	表番号
ケーブルラック	はしご形 ZA 200A (2段積の2段目) 支持材別途	m	a	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZA 300A (2段積の2段目) 支持材別途	m	b	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZA 400A (2段積の2段目) 支持材別途	m	c	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZA 500A (2段積の2段目) 支持材別途	m	d	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZA 600A (2段積の2段目) 支持材別途	m	e	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZA 800A (2段積の2段目) 支持材別途	m	f	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZA 1000A (2段積の2段目) 支持材別途	m	g	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZA 400B (2段積の2段目) 支持材別途	m	h	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZA 500B (2段積の2段目) 支持材別途	m	i	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZA 600B (2段積の2段目) 支持材別途	m	j	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZA 800B (2段積の2段目) 支持材別途	m	k	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZA 1000B (2段積の2段目) 支持材別途	m	l	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZA 200A (2段積の2段目) 支持材加算	m	m	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZA 300A (2段積の2段目) 支持材加算	m	n	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZA 400A (2段積の2段目) 支持材加算	m	o	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZA 500A (2段積の2段目) 支持材加算	m	p	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZA 600A (2段積の2段目) 支持材加算	m	q	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZA 800A (2段積の2段目) 支持材加算	m	r	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZA 1000A (2段積の2段目) 支持材加算	m	s	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZA 400B (2段積の2段目) 支持材加算	m	t	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZA 500B (2段積の2段目) 支持材加算	m	u	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZA 600B (2段積の2段目) 支持材加算	m	v	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZA 800B (2段積の2段目) 支持材加算	m	w	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 ZA 1000B (2段積の2段目) 支持材加算	m	x	表RE-1-4

## 【配管工事 5】 ケーブルラック AL 支持材別途「別途用意する支持材に敷設・共同構内敷設等」

\*\*補正市場単価\*\*

細目	摘要	単位	市場単価	算定式
ケーブルラック	はしご形 AL 200A 支持材別途	m	A	a ÷ m
ケーブルラック	はしご形 AL 300A 支持材別途	m	B	b ÷ n
ケーブルラック	はしご形 AL 400A 支持材別途	m	C	c ÷ o
ケーブルラック	はしご形 AL 500A 支持材別途	m	D	d ÷ p
ケーブルラック	はしご形 AL 600A 支持材別途	m	E	e ÷ q
ケーブルラック	はしご形 AL 800A 支持材別途	m	F	f ÷ r
ケーブルラック	はしご形 AL 1000A 支持材別途	m	G	g ÷ s
ケーブルラック	はしご形 AL 400B 支持材別途	m	H	h ÷ t
ケーブルラック	はしご形 AL 500B 支持材別途	m	I	i ÷ u
ケーブルラック	はしご形 AL 600B 支持材別途	m	J	j ÷ v
ケーブルラック	はしご形 AL 800B 支持材別途	m	K	k ÷ w
ケーブルラック	はしご形 AL 1000B 支持材別途	m	L	l ÷ x

\*\*市場単価\*\*

細目	摘要	単位	単価記号	
ケーブルラック	はしご形 AL 200A (2段積の2段目)	m	A	
ケーブルラック	はしご形 AL 300A (2段積の2段目)	m	B	
ケーブルラック	はしご形 AL 400A (2段積の2段目)	m	C	
ケーブルラック	はしご形 AL 500A (2段積の2段目)	m	D	
ケーブルラック	はしご形 AL 600A (2段積の2段目)	m	E	
ケーブルラック	はしご形 AL 800A (2段積の2段目)	m	F	
ケーブルラック	はしご形 AL 1000A (2段積の2段目)	m	G	
ケーブルラック	はしご形 AL 400B (2段積の2段目)	m	H	
ケーブルラック	はしご形 AL 500B (2段積の2段目)	m	I	
ケーブルラック	はしご形 AL 600B (2段積の2段目)	m	J	
ケーブルラック	はしご形 AL 800B (2段積の2段目)	m	K	
ケーブルラック	はしご形 AL 1000B (2段積の2段目)	m	L	

\*\*参考歩掛り\*\*

細目	摘要	単位	歩掛り記号	表番号
ケーブルラック	はしご形 AL 200A (2段積の2段目) 支持材別途	m	a	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 AL 300A (2段積の2段目) 支持材別途	m	b	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 AL 400A (2段積の2段目) 支持材別途	m	c	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 AL 500A (2段積の2段目) 支持材別途	m	d	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 AL 600A (2段積の2段目) 支持材別途	m	e	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 AL 800A (2段積の2段目) 支持材別途	m	f	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 AL 1000A (2段積の2段目) 支持材別途	m	g	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 AL 400B (2段積の2段目) 支持材別途	m	h	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 AL 500B (2段積の2段目) 支持材別途	m	i	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 AL 600B (2段積の2段目) 支持材別途	m	j	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 AL 800B (2段積の2段目) 支持材別途	m	k	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 AL 1000B (2段積の2段目) 支持材別途	m	l	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 AL 200A (2段積の2段目) 支持材加算	m	m	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 AL 300A (2段積の2段目) 支持材加算	m	n	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 AL 400A (2段積の2段目) 支持材加算	m	o	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 AL 500A (2段積の2段目) 支持材加算	m	p	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 AL 600A (2段積の2段目) 支持材加算	m	q	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 AL 800A (2段積の2段目) 支持材加算	m	r	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 AL 1000A (2段積の2段目) 支持材加算	m	s	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 AL 400B (2段積の2段目) 支持材加算	m	t	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 AL 500B (2段積の2段目) 支持材加算	m	u	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 AL 600B (2段積の2段目) 支持材加算	m	v	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 AL 800B (2段積の2段目) 支持材加算	m	w	表RE-1-4
ケーブルラック	はしご形 AL 1000B (2段積の2段目) 支持材加算	m	x	表RE-1-4

## 【配線工事 1】 600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線

\*\*補正市場単価\*\*

細 目	摘 要	単位	市場単価	算定式
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 1.0mm	m	A	a ÷ c
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 1.2mm	m	A	b ÷ c
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 2.6mm	m	C	e ÷ h
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 2mm <sup>2</sup>	m	A	f ÷ c
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 3.5mm <sup>2</sup>	m	B	g ÷ d
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 150mm <sup>2</sup>	m	D	j ÷ i
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 200mm <sup>2</sup>	m	D	k ÷ i
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 250mm <sup>2</sup>	m	D	l ÷ i
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 325mm <sup>2</sup>	m	D	m ÷ i

\*\*市場単価\*\*

細 目	摘 要	単位	単価記号
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 1.6mm	m	A
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 2.0mm	m	B
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 5.5mm <sup>2</sup>	m	C
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 100mm <sup>2</sup>	m	D

## 【配線工事1】

## 【電気設備工事】

\*\*参考歩掛り\*\*

細　目	摘　　要	単位	歩掛り記号	表番号
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 1.0mm	m	a	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 1.2mm	m	b	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 1.6mm	m	c	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 2.0mm	m	d	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 2.6mm	m	e	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 2mm <sup>2</sup>	m	f	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 3.5mm <sup>2</sup>	m	g	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 5.5mm <sup>2</sup>	m	h	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 100mm <sup>2</sup>	m	i	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 150mm <sup>2</sup>	m	j	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 200mm <sup>2</sup>	m	k	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 250mm <sup>2</sup>	m	l	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 325mm <sup>2</sup>	m	m	表RE-1-10

## 【配線工事 2】 600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) PF及びCD管内配線

\*\*補正市場単価\*\*

細目	摘要	単位	市場単価	算定式
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) PF及びCD管内配線 1.0mm	m	A	a ÷ s
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) PF及びCD管内配線 1.2mm	m	B	b ÷ t
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) PF及びCD管内配線 1.6mm	m	C	c ÷ u
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) PF及びCD管内配線 2.0mm	m	D	d ÷ v
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) PF及びCD管内配線 2.6mm	m	E	e ÷ w
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) PF及びCD管内配線 2mm <sup>2</sup>	m	F	f ÷ x
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) PF及びCD管内配線 3.5mm <sup>2</sup>	m	G	g ÷ y
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) PF及びCD管内配線 5.5mm <sup>2</sup>	m	H	h ÷ z
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) PF及びCD管内配線 8mm <sup>2</sup>	m	I	i ÷ α
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) PF及びCD管内配線 14mm <sup>2</sup>	m	J	j ÷ β
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) PF及びCD管内配線 22mm <sup>2</sup>	m	K	k ÷ γ
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) PF及びCD管内配線 38mm <sup>2</sup>	m	L	l ÷ δ
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) PF及びCD管内配線 60mm <sup>2</sup>	m	M	m ÷ ε
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) PF及びCD管内配線 100mm <sup>2</sup>	m	N	n ÷ ξ
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) PF及びCD管内配線 150mm <sup>2</sup>	m	O	o ÷ η
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) PF及びCD管内配線 200mm <sup>2</sup>	m	P	p ÷ θ
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) PF及びCD管内配線 250mm <sup>2</sup>	m	Q	q ÷ ι
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) PF及びCD管内配線 325mm <sup>2</sup>	m	R	r ÷ κ

\*\*市場単価及び補正市場単価\*\*

細目	摘要	単位	単価記号	
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 1.0mm	m	A	
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 1.2mm	m	B	
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 1.6mm	m	C	
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 2.0mm	m	D	
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 2.6mm	m	E	
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 2mm <sup>2</sup>	m	F	
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 3.5mm <sup>2</sup>	m	G	
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 5.5mm <sup>2</sup>	m	H	
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 8mm <sup>2</sup>	m	I	
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 14mm <sup>2</sup>	m	J	

\* \* 市場単価及び補正市場単価 \* \*

細 目	摘 要	単位	単価記号	
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 22mm <sup>2</sup>	m	K	
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 38mm <sup>2</sup>	m	L	
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 60mm <sup>2</sup>	m	M	
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 100mm <sup>2</sup>	m	N	
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 150mm <sup>2</sup>	m	O	
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 200mm <sup>2</sup>	m	P	
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 250mm <sup>2</sup>	m	Q	
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 325mm <sup>2</sup>	m	R	

\* \* 参考歩掛り \* \*

細 目	摘 要	単位	歩掛り記号	表番号
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) PF及びCD管内配線 1.0mm	m	a	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) PF及びCD管内配線 1.2mm	m	b	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) PF及びCD管内配線 1.6mm	m	c	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) PF及びCD管内配線 2.0mm	m	d	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) PF及びCD管内配線 2.6mm	m	e	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) PF及びCD管内配線 2mm <sup>2</sup>	m	f	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) PF及びCD管内配線 3.5mm <sup>2</sup>	m	g	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) PF及びCD管内配線 5.5mm <sup>2</sup>	m	h	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) PF及びCD管内配線 8mm <sup>2</sup>	m	i	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) PF及びCD管内配線 14mm <sup>2</sup>	m	j	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) PF及びCD管内配線 22mm <sup>2</sup>	m	k	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) PF及びCD管内配線 38mm <sup>2</sup>	m	l	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) PF及びCD管内配線 60mm <sup>2</sup>	m	m	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) PF及びCD管内配線 100mm <sup>2</sup>	m	n	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) PF及びCD管内配線 150mm <sup>2</sup>	m	o	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) PF及びCD管内配線 200mm <sup>2</sup>	m	p	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) PF及びCD管内配線 250mm <sup>2</sup>	m	q	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) PF及びCD管内配線 325mm <sup>2</sup>	m	r	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 1.0mm	m	s	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 1.2mm	m	t	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 1.6mm	m	u	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 2.0mm	m	v	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 2.6mm	m	w	表RE-1-10

\* \* 参考歩掛り \* \*

細 目	摘 要	単位	歩掛り記号	表番号
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリエレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 2mm <sup>2</sup>	m	x	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリエレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 3.5mm <sup>2</sup>	m	y	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリエレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 5.5mm <sup>2</sup>	m	z	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリエレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 8mm <sup>2</sup>	m	$\alpha$	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリエレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 14mm <sup>2</sup>	m	$\beta$	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリエレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 22mm <sup>2</sup>	m	$\gamma$	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリエレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 38mm <sup>2</sup>	m	$\delta$	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリエレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 60mm <sup>2</sup>	m	$\varepsilon$	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリエレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 100mm <sup>2</sup>	m	$\zeta$	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリエレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 150mm <sup>2</sup>	m	$\eta$	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリエレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 200mm <sup>2</sup>	m	$\theta$	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリエレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 250mm <sup>2</sup>	m	$\iota$	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリエレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 325mm <sup>2</sup>	m	$\kappa$	表RE-1-10

## 【配線工事 3】600V二種ビニル絶縁電線 (HIV) 管内配線

\* \* 補正市場単価 \* \*

細 目	摘 要	単位	市場単価	算定式
600V絶縁電線	600V二種ビニル絶縁電線 (HIV) 管内配線 1.2mm	m	A	a ÷ r
600V絶縁電線	600V二種ビニル絶縁電線 (HIV) 管内配線 1.6mm	m	B	b ÷ s
600V絶縁電線	600V二種ビニル絶縁電線 (HIV) 管内配線 2.0mm	m	C	c ÷ t
600V絶縁電線	600V二種ビニル絶縁電線 (HIV) 管内配線 2.6mm	m	D	d ÷ u
600V絶縁電線	600V二種ビニル絶縁電線 (HIV) 管内配線 2mm <sup>2</sup>	m	E	e ÷ v
600V絶縁電線	600V二種ビニル絶縁電線 (HIV) 管内配線 3.5mm <sup>2</sup>	m	F	f ÷ w
600V絶縁電線	600V二種ビニル絶縁電線 (HIV) 管内配線 5.5mm <sup>2</sup>	m	G	g ÷ x
600V絶縁電線	600V二種ビニル絶縁電線 (HIV) 管内配線 8mm <sup>2</sup>	m	H	h ÷ y
600V絶縁電線	600V二種ビニル絶縁電線 (HIV) 管内配線 14mm <sup>2</sup>	m	I	i ÷ z
600V絶縁電線	600V二種ビニル絶縁電線 (HIV) 管内配線 22mm <sup>2</sup>	m	J	j ÷ α
600V絶縁電線	600V二種ビニル絶縁電線 (HIV) 管内配線 38mm <sup>2</sup>	m	K	k ÷ β
600V絶縁電線	600V二種ビニル絶縁電線 (HIV) 管内配線 60mm <sup>2</sup>	m	L	l ÷ γ
600V絶縁電線	600V二種ビニル絶縁電線 (HIV) 管内配線 100mm <sup>2</sup>	m	M	m ÷ δ
600V絶縁電線	600V二種ビニル絶縁電線 (HIV) 管内配線 150mm <sup>2</sup>	m	N	n ÷ ε
600V絶縁電線	600V二種ビニル絶縁電線 (HIV) 管内配線 200mm <sup>2</sup>	m	O	o ÷ ζ
600V絶縁電線	600V二種ビニル絶縁電線 (HIV) 管内配線 250mm <sup>2</sup>	m	P	p ÷ η
600V絶縁電線	600V二種ビニル絶縁電線 (HIV) 管内配線 325mm <sup>2</sup>	m	Q	q ÷ θ

\* \* 市場単価及び補正市場単価 \* \*

細 目	摘 要	単位	単価記号
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 1.2mm	m	A
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 1.6mm	m	B
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 2.0mm	m	C
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 2.6mm	m	D
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 2mm <sup>2</sup>	m	E
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 3.5mm <sup>2</sup>	m	F
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 5.5mm <sup>2</sup>	m	G
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 8mm <sup>2</sup>	m	H
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 14mm <sup>2</sup>	m	I
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 22mm <sup>2</sup>	m	J
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 38mm <sup>2</sup>	m	K

\* \* 市場単価及び補正市場単価 \* \*

細 目	摘 要	単位	単価記号	
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリエレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 60mm <sup>2</sup>	m	L	
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリエレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 100mm <sup>2</sup>	m	M	
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリエレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 150mm <sup>2</sup>	m	N	
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリエレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 200mm <sup>2</sup>	m	O	
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリエレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 250mm <sup>2</sup>	m	P	
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリエレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 325mm <sup>2</sup>	m	Q	

\* \* 参考歩掛り \* \*

細 目	摘 要	単位	歩掛り記号	表番号
600V絶縁電線	600V二種ビニル絶縁電線 (HIV) 管内配線 1.2mm	m	a	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V二種ビニル絶縁電線 (HIV) 管内配線 1.6mm	m	b	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V二種ビニル絶縁電線 (HIV) 管内配線 2.0mm	m	c	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V二種ビニル絶縁電線 (HIV) 管内配線 2.6mm	m	d	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V二種ビニル絶縁電線 (HIV) 管内配線 2mm <sup>2</sup>	m	e	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V二種ビニル絶縁電線 (HIV) 管内配線 3.5mm <sup>2</sup>	m	f	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V二種ビニル絶縁電線 (HIV) 管内配線 5.5mm <sup>2</sup>	m	g	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V二種ビニル絶縁電線 (HIV) 管内配線 8mm <sup>2</sup>	m	h	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V二種ビニル絶縁電線 (HIV) 管内配線 14mm <sup>2</sup>	m	i	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V二種ビニル絶縁電線 (HIV) 管内配線 22mm <sup>2</sup>	m	j	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V二種ビニル絶縁電線 (HIV) 管内配線 38mm <sup>2</sup>	m	k	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V二種ビニル絶縁電線 (HIV) 管内配線 60mm <sup>2</sup>	m	l	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V二種ビニル絶縁電線 (HIV) 管内配線 100mm <sup>2</sup>	m	m	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V二種ビニル絶縁電線 (HIV) 管内配線 150mm <sup>2</sup>	m	n	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V二種ビニル絶縁電線 (HIV) 管内配線 200mm <sup>2</sup>	m	o	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V二種ビニル絶縁電線 (HIV) 管内配線 250mm <sup>2</sup>	m	p	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V二種ビニル絶縁電線 (HIV) 管内配線 325mm <sup>2</sup>	m	q	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリエレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 1.2mm	m	r	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリエレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 1.6mm	m	s	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリエレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 2.0mm	m	t	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリエレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 2.6mm	m	u	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリエレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 2mm <sup>2</sup>	m	v	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリエレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 3.5mm <sup>2</sup>	m	w	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリエレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 5.5mm <sup>2</sup>	m	x	表RE-1-10

\* \* 参考歩掛り \* \*

細 目	摘 要	単位	歩掛り記号	表番号
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリエレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 8mm <sup>2</sup>	m	y	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリエレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 14mm <sup>2</sup>	m	z	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリエレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 22mm <sup>2</sup>	m	$\alpha$	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリエレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 38mm <sup>2</sup>	m	$\beta$	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリエレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 60mm <sup>2</sup>	m	$\gamma$	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリエレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 100mm <sup>2</sup>	m	$\delta$	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリエレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 150mm <sup>2</sup>	m	$\varepsilon$	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリエレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 200mm <sup>2</sup>	m	$\zeta$	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリエレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 250mm <sup>2</sup>	m	$\eta$	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリエレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 325mm <sup>2</sup>	m	$\theta$	表RE-1-10

## 【配線工事 4】600V二種ビニル絶縁電線 (HIV) PF及びCD管内配線

\* \* 補正市場単価 \* \*

細 目	摘 要	単位	市場単価	算定式
600V絶縁電線	600V二種ビニル絶縁電線 (HIV) PF及びCD管内配線 1.2mm	m	A	a ÷ r
600V絶縁電線	600V二種ビニル絶縁電線 (HIV) PF及びCD管内配線 1.6mm	m	B	b ÷ s
600V絶縁電線	600V二種ビニル絶縁電線 (HIV) PF及びCD管内配線 2.0mm	m	C	c ÷ t
600V絶縁電線	600V二種ビニル絶縁電線 (HIV) PF及びCD管内配線 2.6mm	m	D	d ÷ u
600V絶縁電線	600V二種ビニル絶縁電線 (HIV) PF及びCD管内配線 2mm <sup>2</sup>	m	E	e ÷ v
600V絶縁電線	600V二種ビニル絶縁電線 (HIV) PF及びCD管内配線 3.5mm <sup>2</sup>	m	F	f ÷ w
600V絶縁電線	600V二種ビニル絶縁電線 (HIV) PF及びCD管内配線 5.5mm <sup>2</sup>	m	G	g ÷ x
600V絶縁電線	600V二種ビニル絶縁電線 (HIV) PF及びCD管内配線 8mm <sup>2</sup>	m	H	h ÷ y
600V絶縁電線	600V二種ビニル絶縁電線 (HIV) PF及びCD管内配線 14mm <sup>2</sup>	m	I	i ÷ z
600V絶縁電線	600V二種ビニル絶縁電線 (HIV) PF及びCD管内配線 22mm <sup>2</sup>	m	J	j ÷ α
600V絶縁電線	600V二種ビニル絶縁電線 (HIV) PF及びCD管内配線 38mm <sup>2</sup>	m	K	k ÷ β
600V絶縁電線	600V二種ビニル絶縁電線 (HIV) PF及びCD管内配線 60mm <sup>2</sup>	m	L	l ÷ γ
600V絶縁電線	600V二種ビニル絶縁電線 (HIV) PF及びCD管内配線 100mm <sup>2</sup>	m	M	m ÷ δ
600V絶縁電線	600V二種ビニル絶縁電線 (HIV) PF及びCD管内配線 150mm <sup>2</sup>	m	N	n ÷ ε
600V絶縁電線	600V二種ビニル絶縁電線 (HIV) PF及びCD管内配線 200mm <sup>2</sup>	m	O	o ÷ ζ
600V絶縁電線	600V二種ビニル絶縁電線 (HIV) PF及びCD管内配線 250mm <sup>2</sup>	m	P	p ÷ η
600V絶縁電線	600V二種ビニル絶縁電線 (HIV) PF及びCD管内配線 325mm <sup>2</sup>	m	Q	q ÷ θ

\* \* 市場単価及び補正市場単価 \* \*

細 目	摘 要	単位	単価記号
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 1.2mm	m	A
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 1.6mm	m	B
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 2.0mm	m	C
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 2.6mm	m	D
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 2mm <sup>2</sup>	m	E
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 3.5mm <sup>2</sup>	m	F
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 5.5mm <sup>2</sup>	m	G
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 8mm <sup>2</sup>	m	H
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 14mm <sup>2</sup>	m	I
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 22mm <sup>2</sup>	m	J
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 38mm <sup>2</sup>	m	K

\* \* 市場単価及び補正市場単価 \* \*

細 目	摘 要	単位	単価記号	
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 60mm <sup>2</sup>	m	L	
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 100mm <sup>2</sup>	m	M	
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 150mm <sup>2</sup>	m	N	
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 200mm <sup>2</sup>	m	O	
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 250mm <sup>2</sup>	m	P	
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 325mm <sup>2</sup>	m	Q	

\* \* 参考歩掛り \* \*

細 目	摘 要	単位	歩掛り記号	表番号
600V絶縁電線	600V二種ビニル絶縁電線 (HIV) PF及びCD管内配線 1.2mm	m	a	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V二種ビニル絶縁電線 (HIV) PF及びCD管内配線 1.6mm	m	b	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V二種ビニル絶縁電線 (HIV) PF及びCD管内配線 2.0mm	m	c	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V二種ビニル絶縁電線 (HIV) PF及びCD管内配線 2.6mm	m	d	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V二種ビニル絶縁電線 (HIV) PF及びCD管内配線 2mm <sup>2</sup>	m	e	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V二種ビニル絶縁電線 (HIV) PF及びCD管内配線 3.5mm <sup>2</sup>	m	f	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V二種ビニル絶縁電線 (HIV) PF及びCD管内配線 5.5mm <sup>2</sup>	m	g	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V二種ビニル絶縁電線 (HIV) PF及びCD管内配線 8mm <sup>2</sup>	m	h	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V二種ビニル絶縁電線 (HIV) PF及びCD管内配線 14mm <sup>2</sup>	m	i	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V二種ビニル絶縁電線 (HIV) PF及びCD管内配線 22mm <sup>2</sup>	m	j	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V二種ビニル絶縁電線 (HIV) PF及びCD管内配線 38mm <sup>2</sup>	m	k	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V二種ビニル絶縁電線 (HIV) PF及びCD管内配線 60mm <sup>2</sup>	m	l	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V二種ビニル絶縁電線 (HIV) PF及びCD管内配線 100mm <sup>2</sup>	m	m	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V二種ビニル絶縁電線 (HIV) PF及びCD管内配線 150mm <sup>2</sup>	m	n	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V二種ビニル絶縁電線 (HIV) PF及びCD管内配線 200mm <sup>2</sup>	m	o	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V二種ビニル絶縁電線 (HIV) PF及びCD管内配線 250mm <sup>2</sup>	m	p	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V二種ビニル絶縁電線 (HIV) PF及びCD管内配線 325mm <sup>2</sup>	m	q	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 1.2mm	m	r	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 1.6mm	m	s	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 2.0mm	m	t	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 2.6mm	m	u	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 2mm <sup>2</sup>	m	v	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 3.5mm <sup>2</sup>	m	w	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 5.5mm <sup>2</sup>	m	x	表RE-1-10

\* \* 参考歩掛り \* \*

細 目	摘 要	単位	歩掛り記号	表番号
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリエレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 8mm <sup>2</sup>	m	y	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリエレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 14mm <sup>2</sup>	m	z	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリエレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 22mm <sup>2</sup>	m	$\alpha$	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリエレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 38mm <sup>2</sup>	m	$\beta$	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリエレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 60mm <sup>2</sup>	m	$\gamma$	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリエレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 100mm <sup>2</sup>	m	$\delta$	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリエレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 150mm <sup>2</sup>	m	$\varepsilon$	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリエレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 200mm <sup>2</sup>	m	$\zeta$	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリエレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 250mm <sup>2</sup>	m	$\eta$	表RE-1-10
600V絶縁電線	600V耐燃性ホリエレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 325mm <sup>2</sup>	m	$\theta$	表RE-1-10

【配線工事 5】 600V<sup>ホ</sup> リエレン絶縁耐燃性<sup>ホ</sup> リエレンシースケーブル (EM-EEF)

\*\*補正市場単価\*\*

細目	摘要	単位	市場単価	算定式
600V絶縁ケーブル	600V <sup>ホ</sup> リエレン絶縁耐燃性 <sup>ホ</sup> リエレンシースケーブル (EM-EEF) ころがし配線 2.6mm-2C	m	B	c ÷ b
600V絶縁ケーブル	600V <sup>ホ</sup> リエレン絶縁耐燃性 <sup>ホ</sup> リエレンシースケーブル (EM-EEF) ころがし配線 2.6mm-3C	m	D	f ÷ e
600V絶縁ケーブル	600V <sup>ホ</sup> リエレン絶縁耐燃性 <sup>ホ</sup> リエレンシースケーブル (EM-EEF) 木造部分にサドル止め又はステープル止め 1.6mm-2C	m	A	g ÷ a
600V絶縁ケーブル	600V <sup>ホ</sup> リエレン絶縁耐燃性 <sup>ホ</sup> リエレンシースケーブル (EM-EEF) 木造部分にサドル止め又はステープル止め 2.0mm-2C	m	B	h ÷ b
600V絶縁ケーブル	600V <sup>ホ</sup> リエレン絶縁耐燃性 <sup>ホ</sup> リエレンシースケーブル (EM-EEF) 木造部分にサドル止め又はステープル止め 2.6mm-2C	m	B	i ÷ b
600V絶縁ケーブル	600V <sup>ホ</sup> リエレン絶縁耐燃性 <sup>ホ</sup> リエレンシースケーブル (EM-EEF) 木造部分にサドル止め又はステープル止め 1.6mm-3C	m	C	j ÷ d
600V絶縁ケーブル	600V <sup>ホ</sup> リエレン絶縁耐燃性 <sup>ホ</sup> リエレンシースケーブル (EM-EEF) 木造部分にサドル止め又はステープル止め 2.0mm-3C	m	D	k ÷ e
600V絶縁ケーブル	600V <sup>ホ</sup> リエレン絶縁耐燃性 <sup>ホ</sup> リエレンシースケーブル (EM-EEF) 木造部分にサドル止め又はステープル止め 2.6mm-3C	m	D	l ÷ e
600V絶縁ケーブル	600V <sup>ホ</sup> リエレン絶縁耐燃性 <sup>ホ</sup> リエレンシースケーブル (EM-EEF) コンクリート部分にサドル止め (カールフラグ含む) 1.6mm-2C	m	A	m ÷ a
600V絶縁ケーブル	600V <sup>ホ</sup> リエレン絶縁耐燃性 <sup>ホ</sup> リエレンシースケーブル (EM-EEF) コンクリート部分にサドル止め (カールフラグ含む) 2.0mm-2C	m	B	n ÷ b
600V絶縁ケーブル	600V <sup>ホ</sup> リエレン絶縁耐燃性 <sup>ホ</sup> リエレンシースケーブル (EM-EEF) コンクリート部分にサドル止め (カールフラグ含む) 2.6mm-2C	m	B	o ÷ b
600V絶縁ケーブル	600V <sup>ホ</sup> リエレン絶縁耐燃性 <sup>ホ</sup> リエレンシースケーブル (EM-EEF) コンクリート部分にサドル止め (カールフラグ含む) 1.6mm-3C	m	C	p ÷ d
600V絶縁ケーブル	600V <sup>ホ</sup> リエレン絶縁耐燃性 <sup>ホ</sup> リエレンシースケーブル (EM-EEF) コンクリート部分にサドル止め (カールフラグ含む) 2.0mm-3C	m	D	q ÷ e
600V絶縁ケーブル	600V <sup>ホ</sup> リエレン絶縁耐燃性 <sup>ホ</sup> リエレンシースケーブル (EM-EEF) コンクリート部分にサドル止め (カールフラグ含む) 2.6mm-3C	m	D	r ÷ e
600V絶縁ケーブル	600V <sup>ホ</sup> リエレン絶縁耐燃性 <sup>ホ</sup> リエレンシースケーブル (EM-EEF) ケーブルラック内配線 1.6mm-2C	m	A	s ÷ a
600V絶縁ケーブル	600V <sup>ホ</sup> リエレン絶縁耐燃性 <sup>ホ</sup> リエレンシースケーブル (EM-EEF) ケーブルラック内配線 2.0mm-2C	m	B	t ÷ b
600V絶縁ケーブル	600V <sup>ホ</sup> リエレン絶縁耐燃性 <sup>ホ</sup> リエレンシースケーブル (EM-EEF) ケーブルラック内配線 2.6mm-2C	m	B	u ÷ b
600V絶縁ケーブル	600V <sup>ホ</sup> リエレン絶縁耐燃性 <sup>ホ</sup> リエレンシースケーブル (EM-EEF) ケーブルラック内配線 1.6mm-3C	m	C	v ÷ d
600V絶縁ケーブル	600V <sup>ホ</sup> リエレン絶縁耐燃性 <sup>ホ</sup> リエレンシースケーブル (EM-EEF) ケーブルラック内配線 2.0mm-3C	m	D	w ÷ e
600V絶縁ケーブル	600V <sup>ホ</sup> リエレン絶縁耐燃性 <sup>ホ</sup> リエレンシースケーブル (EM-EEF) ケーブルラック内配線 2.6mm-3C	m	D	x ÷ e
600V絶縁ケーブル	600V <sup>ホ</sup> リエレン絶縁耐燃性 <sup>ホ</sup> リエレンシースケーブル (EM-EEF) 管内配線 1.6mm-2C	m	A	y ÷ a
600V絶縁ケーブル	600V <sup>ホ</sup> リエレン絶縁耐燃性 <sup>ホ</sup> リエレンシースケーブル (EM-EEF) 管内配線 2.0mm-2C	m	B	z ÷ b
600V絶縁ケーブル	600V <sup>ホ</sup> リエレン絶縁耐燃性 <sup>ホ</sup> リエレンシースケーブル (EM-EEF) 管内配線 2.6mm-2C	m	B	$\alpha$ ÷ b
600V絶縁ケーブル	600V <sup>ホ</sup> リエレン絶縁耐燃性 <sup>ホ</sup> リエレンシースケーブル (EM-EEF) 管内配線 1.6mm-3C	m	C	$\beta$ ÷ d
600V絶縁ケーブル	600V <sup>ホ</sup> リエレン絶縁耐燃性 <sup>ホ</sup> リエレンシースケーブル (EM-EEF) 管内配線 2.0mm-3C	m	D	$\gamma$ ÷ e
600V絶縁ケーブル	600V <sup>ホ</sup> リエレン絶縁耐燃性 <sup>ホ</sup> リエレンシースケーブル (EM-EEF) 管内配線 2.6mm-3C	m	D	$\delta$ ÷ e
600V絶縁ケーブル	600V <sup>ホ</sup> リエレン絶縁耐燃性 <sup>ホ</sup> リエレンシースケーブル (EM-EEF) PF及びCD管内配線 1.6mm-2C	m	A	$\varepsilon$ ÷ a
600V絶縁ケーブル	600V <sup>ホ</sup> リエレン絶縁耐燃性 <sup>ホ</sup> リエレンシースケーブル (EM-EEF) PF及びCD管内配線 2.0mm-2C	m	B	$\zeta$ ÷ b
600V絶縁ケーブル	600V <sup>ホ</sup> リエレン絶縁耐燃性 <sup>ホ</sup> リエレンシースケーブル (EM-EEF) PF及びCD管内配線 2.6mm-2C	m	B	$\eta$ ÷ b
600V絶縁ケーブル	600V <sup>ホ</sup> リエレン絶縁耐燃性 <sup>ホ</sup> リエレンシースケーブル (EM-EEF) PF及びCD管内配線 1.6mm-3C	m	C	$\theta$ ÷ d
600V絶縁ケーブル	600V <sup>ホ</sup> リエレン絶縁耐燃性 <sup>ホ</sup> リエレンシースケーブル (EM-EEF) PF及びCD管内配線 2.0mm-3C	m	D	$\iota$ ÷ e

\* \* 補正市場単価 \* \*

細 目	摘 要	単位	市場単価	算定式
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケーブル (EM-EEF) PF及びCD管内配線 2.6mm-3C	m	D	$\kappa \div e$

\* \* 市場単価 \* \*

細 目	摘 要	単位	単価記号	
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケーブル (EM-EEF) ころがし配線 1.6mm-2C	m	A	
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケーブル (EM-EEF) ころがし配線 2.0mm-2C	m	B	
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケーブル (EM-EEF) ころがし配線 1.6mm-3C	m	C	
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケーブル (EM-EEF) ころがし配線 2.0mm-3C	m	D	

\* \* 参考歩掛り \* \*

細 目	摘 要	単位	歩掛り記号	表番号
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケーブル (EM-EEF) ころがし配線 1.6mm-2C	m	a	表RE-1-12
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケーブル (EM-EEF) ころがし配線 2.0mm-2C	m	b	表RE-1-12
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケーブル (EM-EEF) ころがし配線 2.6mm-2C	m	c	表RE-1-12
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケーブル (EM-EEF) ころがし配線 1.6mm-3C	m	d	表RE-1-12
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケーブル (EM-EEF) ころがし配線 2.0mm-3C	m	e	表RE-1-12
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケーブル (EM-EEF) ころがし配線 2.6mm-3C	m	f	表RE-1-12
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケーブル (EM-EEF) 木造部分にサドル止め又はステープル止め 1.6mm-2C	m	g	表RE-1-12
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケーブル (EM-EEF) 木造部分にサドル止め又はステープル止め 2.0mm-2C	m	h	表RE-1-12
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケーブル (EM-EEF) 木造部分にサドル止め又はステープル止め 2.6mm-2C	m	i	表RE-1-12
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケーブル (EM-EEF) 木造部分にサドル止め又はステープル止め 1.6mm-3C	m	j	表RE-1-12
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケーブル (EM-EEF) 木造部分にサドル止め又はステープル止め 2.0mm-3C	m	k	表RE-1-12
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケーブル (EM-EEF) 木造部分にサドル止め又はステープル止め 2.6mm-3C	m	l	表RE-1-12
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケーブル (EM-EEF) コンクリート部分にサドル止め (カールフラグ含む) 1.6mm-2C	m	m	表RE-1-12
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケーブル (EM-EEF) コンクリート部分にサドル止め (カールフラグ含む) 2.0mm-2C	m	n	表RE-1-12
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケーブル (EM-EEF) コンクリート部分にサドル止め (カールフラグ含む) 2.6mm-2C	m	o	表RE-1-12
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケーブル (EM-EEF) コンクリート部分にサドル止め (カールフラグ含む) 1.6mm-3C	m	p	表RE-1-12
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケーブル (EM-EEF) コンクリート部分にサドル止め (カールフラグ含む) 2.0mm-3C	m	q	表RE-1-12
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケーブル (EM-EEF) コンクリート部分にサドル止め (カールフラグ含む) 2.6mm-3C	m	r	表RE-1-12
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケーブル (EM-EEF) ケーブルラック内配線 1.6mm-2C	m	s	表RE-1-12
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケーブル (EM-EEF) ケーブルラック内配線 2.0mm-2C	m	t	表RE-1-12
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケーブル (EM-EEF) ケーブルラック内配線 2.6mm-2C	m	u	表RE-1-12
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケーブル (EM-EEF) ケーブルラック内配線 1.6mm-3C	m	v	表RE-1-12
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケーブル (EM-EEF) ケーブルラック内配線 2.0mm-3C	m	w	表RE-1-12

\* \* 参考歩掛り \* \*

細 目	摘 要	単位	歩掛り記号	表番号
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケーブル (EM-EEF) ケーブルラック内配線 2. 6mm-3C	m	x	表RE-1-12
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケーブル (EM-EEF) 管内配線 1. 6mm-2C	m	y	表RE-1-12
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケーブル (EM-EEF) 管内配線 2. 0mm-2C	m	z	表RE-1-12
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケーブル (EM-EEF) 管内配線 2. 6mm-2C	m	$\alpha$	表RE-1-12
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケーブル (EM-EEF) 管内配線 1. 6mm-3C	m	$\beta$	表RE-1-12
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケーブル (EM-EEF) 管内配線 2. 0mm-3C	m	$\gamma$	表RE-1-12
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケーブル (EM-EEF) 管内配線 2. 6mm-3C	m	$\delta$	表RE-1-12
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケーブル (EM-EEF) PF及びCD管内配線 1. 6mm-2C	m	$\varepsilon$	表RE-1-12
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケーブル (EM-EEF) PF及びCD管内配線 2. 0mm-2C	m	$\zeta$	表RE-1-12
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケーブル (EM-EEF) PF及びCD管内配線 2. 6mm-2C	m	$\eta$	表RE-1-12
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケーブル (EM-EEF) PF及びCD管内配線 1. 6mm-3C	m	$\theta$	表RE-1-12
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケーブル (EM-EEF) PF及びCD管内配線 2. 0mm-3C	m	$\iota$	表RE-1-12
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケーブル (EM-EEF) PF及びCD管内配線 2. 6mm-3C	m	$\kappa$	表RE-1-12

## 【配線工事 6】 アース線付600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケーブル (EM-EEFG)

\* \* 補正市場単価 \* \*

細 目	摘 要	単位	市場単価	算定式
アース線付600V絶縁ケーブル	アース線付600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケーブル (EM-EEFG) ころがし配線 2.0mm-2C+1.6-1C	m	A	a ÷ m
アース線付600V絶縁ケーブル	アース線付600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケーブル (EM-EEFG) ころがし配線 2.6mm-2C+1.6-1C	m	B	b ÷ n
アース線付600V絶縁ケーブル	アース線付600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケーブル (EM-EEFG) 木造部分にサドル止め又はスチーブル止め 2.0mm-2C+1.6-1C	m	A	c ÷ m
アース線付600V絶縁ケーブル	アース線付600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケーブル (EM-EEFG) 木造部分にサドル止め又はスチーブル止め 2.6mm-2C+1.6-1C	m	B	d ÷ n
アース線付600V絶縁ケーブル	アース線付600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケーブル (EM-EEFG) コンクリート部分にサドル止め (カーブラグ含む) 2.0mm-2C+1.6-1C	m	A	e ÷ m
アース線付600V絶縁ケーブル	アース線付600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケーブル (EM-EEFG) コンクリート部分にサドル止め (カーブラグ含む) 2.6mm-2C+1.6-1C	m	B	f ÷ n
アース線付600V絶縁ケーブル	アース線付600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケーブル (EM-EEFG) ケーブルラック内配線 2.0mm-2C+1.6-1C	m	A	g ÷ m
アース線付600V絶縁ケーブル	アース線付600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケーブル (EM-EEFG) ケーブルラック内配線 2.6mm-2C+1.6-1C	m	B	h ÷ n
アース線付600V絶縁ケーブル	アース線付600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケーブル (EM-EEFG) 管内配線 2.0mm-2C+1.6-1C	m	A	i ÷ m
アース線付600V絶縁ケーブル	アース線付600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケーブル (EM-EEFG) 管内配線 2.6mm-2C+1.6-1C	m	B	j ÷ n
アース線付600V絶縁ケーブル	アース線付600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケーブル (EM-EEFG) PF及びCD管内配線 2.0mm-2C+1.6-1C	m	A	k ÷ m
アース線付600V絶縁ケーブル	アース線付600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケーブル (EM-EEFG) PF及びCD管内配線 2.6mm-2C+1.6-1C	m	B	l ÷ n

\* \* 市場単価及び補正市場単価 \* \*

細 目	摘 要	単位	単価記号	
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケーブル (EM-EEF) ころがし配線 2.0mm-3C	m	A	
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケーブル (EM-EEF) ころがし配線 2.6mm-3C	m	B	

\* \* 参考歩掛り \* \*

細 目	摘 要	単位	歩掛り記号	表番号
アース線付600V絶縁ケーブル	アース線付600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケーブル (EM-EEFG) ころがし配線 2.0mm-2C+1.6-1C	m	a	表RE-1-12 (2.0mm-3C)
アース線付600V絶縁ケーブル	アース線付600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケーブル (EM-EEFG) ころがし配線 2.6mm-2C+1.6-1C	m	b	表RE-1-12 (2.6mm-3C)
アース線付600V絶縁ケーブル	アース線付600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケーブル (EM-EEFG) 木造部分にサドル止め又はステップ止め 2.0mm-2C+1.6-1C	m	c	表RE-1-12 (2.0mm-3C)
アース線付600V絶縁ケーブル	アース線付600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケーブル (EM-EEFG) 木造部分にサドル止め又はステップ止め 2.6mm-2C+1.6-1C	m	d	表RE-1-12 (2.6mm-3C)
アース線付600V絶縁ケーブル	アース線付600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケーブル (EM-EEFG) コンクリート部分にサドル止め (カールフーラグ含む) 2.0mm-2C+1.6-1C	m	e	表RE-1-12 (2.0mm-3C)
アース線付600V絶縁ケーブル	アース線付600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケーブル (EM-EEFG) コンクリート部分にサドル止め (カールフーラグ含む) 2.6mm-2C+1.6-1C	m	f	表RE-1-12 (2.6mm-3C)
アース線付600V絶縁ケーブル	アース線付600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケーブル (EM-EEFG) ケーブルラック内配線 2.0mm-2C+1.6-1C	m	g	表RE-1-12 (2.0mm-3C)
アース線付600V絶縁ケーブル	アース線付600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケーブル (EM-EEFG) ケーブルラック内配線 2.6mm-2C+1.6-1C	m	h	表RE-1-12 (2.6mm-3C)
アース線付600V絶縁ケーブル	アース線付600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケーブル (EM-EEFG) 管内配線 2.0mm-2C+1.6-1C	m	i	表RE-1-12 (2.0mm-3C)
アース線付600V絶縁ケーブル	アース線付600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケーブル (EM-EEFG) 管内配線 2.6mm-2C+1.6-1C	m	j	表RE-1-12 (2.6mm-3C)
アース線付600V絶縁ケーブル	アース線付600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケーブル (EM-EEFG) PF及びCD管内配線 2.0mm-2C+1.6-1C	m	k	表RE-1-12 (2.0mm-3C)
アース線付600V絶縁ケーブル	アース線付600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケーブル (EM-EEFG) PF及びCD管内配線 2.6mm-2C+1.6-1C	m	l	表RE-1-12 (2.6mm-3C)
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケーブル (EM-EEF) ころがし配線 2.0mm-3C	m	m	表RE-1-12
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケーブル (EM-EEF) ころがし配線 2.6mm-3C	m	n	表RE-1-12

## 【保温工事（配管）】

\*\*市場単価\*\* (グラスウール)

項目	摘要	単位	単価記号	備考
給水管、排水管、給湯管及び温水管（膨張管を含む。）	屋内露出（一般居室、廊下）	合成樹脂製カバー1	m A①	
		合成樹脂製カバー2	m A②	
	機械室、書庫、倉庫	アルミガラスクロス	m B	
	天井内、パイプシャフト内及び空隙壁中	アルミガラスクロス化粧保温筒	m C	
	暗渠内（ピット内を含む。）	着色アルミガラスクロス	m D	
	屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。）、浴室及び厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない。）	ステンレス鋼板	m E	
冷水・冷温水管（膨張管を含む。）	屋内露出（一般居室、廊下）	合成樹脂製カバー1	m F①	
		合成樹脂製カバー2	m F②	
	機械室、書庫、倉庫	アルミガラスクロス	m G	
	天井内、パイプシャフト内及び空隙壁中	アルミガラスクロス	m H	
	暗渠内（ピット内を含む。）	着色アルミガラスクロス	m I	
	屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。）、浴室及び厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない。）	ステンレス鋼板	m J	
蒸気管（低圧（0.1MPa未満）の蒸気）	屋内露出（一般居室、廊下）	合成樹脂製カバー1	m K①	
		合成樹脂製カバー2	m K②	
	機械室、書庫、倉庫	アルミガラスクロス	m L	
	天井内、パイプシャフト内及び空隙壁中	アルミガラスクロス化粧保温筒	m M	
	暗渠内（ピット内を含む。）	着色アルミガラスクロス	m N	
	屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。）、浴室及び厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない。）	ステンレス鋼板	m O	

(注) 補正市場単価は、附表M 5～附表M 7による。

## 【保温工事（配管）】

\*\*参考歩掛り\*\*（グラスウール）

項目	摘要	単位	歩掛り記号	表番号
給水管、排水管、 給湯管及び温水管 (膨張管を含む。)	屋内露出(一般居室、廊下)	合成樹脂製カバー1 合成樹脂製カバー2	m m	A①g A②g
	機械室、書庫、倉庫	アルミガラスクロス アルミガラス化粧原紙	m m	B①g B②g
	天井内、パイプシャフト内及び 空隙壁中	アルミガラスクロス	m	C①g
		アルミガラスクロス化粧保温筒	m	C②g
	暗渠内(ピット内を含む。)	着色アルミガラスクロス	m	Dg
	屋外露出(バルコニー、開放 廊下を含む。)、浴室及び厨房 等の多湿箇所(厨房の天井内 は含まない。)	カラーアルミ鉛板	m	E①g
		溶融アルミニウム-アルミ鉛板	m	E②g
		ステンレス鋼板	m	E③g
冷水・冷温水管 (膨張管を含む。) 及び冷媒管	屋内露出(一般居室、廊下)	合成樹脂製カバー1 合成樹脂製カバー2	m m	F①g F②g
	機械室、書庫、倉庫	アルミガラスクロス	m	G①g
		アルミガラス化粧原紙	m	G②g
	天井内、パイプシャフト内及び 空隙壁中	アルミガラスクロス	m	Hg
		着色アルミガラスクロス	m	Ig
	屋外露出(バルコニー、開放 廊下を含む。)、浴室及び厨房 等の多湿箇所(厨房の天井内 は含まない。)	カラーアルミ鉛板	m	J①g
		溶融アルミニウム-アルミ鉛板	m	J②g
		ステンレス鋼板	m	J③g
蒸気管 (低圧(0.1MPa未 満)の蒸気)	屋内露出(一般居室、廊下)	合成樹脂製カバー1 合成樹脂製カバー2	m m	K①g K②g
	機械室、書庫、倉庫	アルミガラスクロス	m	L①g
		アルミガラス化粧原紙	m	L②g
	天井内、パイプシャフト内及び 空隙壁中	アルミガラスクロス	m	M①g
		アルミガラスクロス化粧保温筒	m	M②g
	暗渠内(ピット内を含む。)	着色アルミガラスクロス	m	Ng
	屋外露出(バルコニー、開放 廊下を含む。)、浴室及び厨房 等の多湿箇所(厨房の天井内 は含まない。)	カラーアルミ鉛板	m	O①g
		溶融アルミニウム-アルミ鉛板	m	O②g
		ステンレス鋼板	m	O③g

表RM-1-11

表RM-1-12

表RM-1-13

## 【保温工事（配管）】

\*\*参考歩掛り\*\*（ロックウール）

項目	摘要	単位	歩掛り記号	表番号
給水管、排水管、 給湯管及び温水管 (膨張管を含む。)	屋内露出(一般居室、廊下)	合成樹脂製カバー1 合成樹脂製カバー2	m m	A①r A②r
	機械室、書庫、倉庫	アルミガラスクロス アルミガラス化粧原紙	m m	B①r B②r
	天井内、パイプシャフト内及び 空隙壁中	アルミガラスクロス	m	C①r
		アルミガラスクロス化粧保温筒	m	C②r
	暗渠内(ピット内を含む。)	着色アルミガラスクロス	m	Dr
	屋外露出(バルコニー、開放 廊下を含む。)、浴室及び厨房 等の多湿箇所(厨房の天井内 は含まない。)	カラーアルミ鉛鉄板	m	E①r
		溶融アルミニウム-アルミ鉛鉄板	m	E②r
		ステンレス鋼板	m	E③r
冷水・冷温水管 (膨張管を含む。) 及び冷媒管	屋内露出(一般居室、廊下)	合成樹脂製カバー1 合成樹脂製カバー2	m m	F①r F②r
	機械室、書庫、倉庫	アルミガラスクロス	m	G①r
		アルミガラス化粧原紙	m	G②r
	天井内、パイプシャフト内及び 空隙壁中	アルミガラスクロス	m	Hr
	暗渠内(ピット内を含む。)	着色アルミガラスクロス	m	Ir
	屋外露出(バルコニー、開放 廊下を含む。)、浴室及び厨房 等の多湿箇所(厨房の天井内 は含まない。)	カラーアルミ鉛鉄板	m	J①r
		溶融アルミニウム-アルミ鉛鉄板	m	J②r
		ステンレス鋼板	m	J③r
蒸気管 (低圧(0.1MPa未 満)の蒸気)	屋内露出(一般居室、廊下)	合成樹脂製カバー1 合成樹脂製カバー2	m m	K①r K②r
	機械室、書庫、倉庫	アルミガラスクロス	m	L①r
		アルミガラス化粧原紙	m	L②r
	天井内、パイプシャフト内及び 空隙壁中	アルミガラスクロス	m	M①r
		アルミガラスクロス化粧保温筒	m	M②r
	暗渠内(ピット内を含む。)	着色アルミガラスクロス	m	Nr
	屋外露出(バルコニー、開放 廊下を含む。)、浴室及び厨房 等の多湿箇所(厨房の天井内 は含まない。)	カラーアルミ鉛鉄板	m	O①r
		溶融アルミニウム-アルミ鉛鉄板	m	O②r
		ステンレス鋼板	m	O③r

表RM-1-8

表RM-1-9

表RM-1-10

## 【保温工事（配管）】

\*\*参考歩掛り\*\*（ポリスチレンフォーム）

項目	摘要	単位	歩掛り記号	表番号
給水管、排水管	屋内露出（一般居室、廊下）	合成樹脂製カバー1	m	A①p
		合成樹脂製カバー2	m	A②p
	機械室、書庫、倉庫	アルミガラスクロス	m	Bp
		アルミガラスクロス	m	C①p
	天井内、パイプシャフト内及び空隙壁中	アルミガラスクロス化粧保温筒	m	C②p
	暗渠内（ピット内を含む。）	着色アルミガラスクロス	m	Dp
	屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。）、浴室及び厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない。）	カラ一亜鉛鉄板	m	E①p
		溶融アルミニウム一亜鉛鉄板	m	E②p
		ステンレス鋼板	m	E③p
冷水・冷温水管 (膨張管を含む。)	屋内露出（一般居室、廊下）	合成樹脂製カバー1	m	F①p
		合成樹脂製カバー2	m	F②p
	機械室、書庫、倉庫	アルミガラスクロス	m	Gp
		アルミガラスクロス	m	Hp
	暗渠内（ピット内を含む。）	着色アルミガラスクロス	m	Ip
	屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。）、浴室及び厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない。）	カラ一亜鉛鉄板	m	J①p
		溶融アルミニウム一亜鉛鉄板	m	J②p
		ステンレス鋼板	m	J③p
冷水管 (冷水温度2~4°C)	機械室、書庫、倉庫	アルミガラスクロス	m	Pp
ブライン管	屋内露出（一般居室、廊下）	合成樹脂製カバー1	m	Q①p
		合成樹脂製カバー2	m	Q②p
	機械室、書庫、倉庫	アルミガラスクロス	m	Rp
		アルミガラスクロス	m	Sp
	暗渠内（ピット内を含む。）	着色アルミガラスクロス	m	Tp
	屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。）、浴室及び厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない。）	カラ一亜鉛鉄板	m	U①p
		溶融アルミニウム一亜鉛鉄板	m	U②p
		ステンレス鋼板	m	U③p

表RM-1-4

表RM-1-5

表RM-1-7

## 【保温工事（配管）】

\*\*補正市場単価\*\*（グラスウール）

項目	摘要	単位	単価記号	市場単価	算定式
給水管、排水管、 給湯管及び温水管 (膨張管を含む。)	機械室、書庫、倉庫	アルミガラス化粧原紙	m	-	B
	天井内、パイプシャフト 内及び空隙壁中	アルミガラスクロス	m	-	C
	屋外露出（バルコニー、 開放廊下を含む。）、浴 室及び厨房等の多湿 箇所（厨房の天井内は 含まない。）	カラー亜鉛鉄板	m	-	E
		溶融アルミニウム —亜鉛鉄板	m	-	E
冷水・冷温水管 (膨張管を含む。)	機械室、書庫、倉庫	アルミガラス化粧原紙	m	-	G
	屋外露出（バルコニー、 開放廊下を含む。）、浴 室及び厨房等の多湿 箇所（厨房の天井内は 含まない。）	カラー亜鉛鉄板	m	-	J
		溶融アルミニウム —亜鉛鉄板	m	-	J
蒸気管 (低圧(0.1MPa未 満)の蒸気)	機械室、書庫、倉庫	アルミガラス化粧原紙	m	-	L
	天井内、パイプシャフト 内及び空隙壁中	アルミガラスクロス	m	-	M
	屋外露出（バルコニー、 開放廊下を含む。）、浴 室及び厨房等の多湿 箇所（厨房の天井内は 含まない。）	カラー亜鉛鉄板	m	-	O
		溶融アルミニウム —亜鉛鉄板	m	-	O
冷媒管	屋内露出（一般居室、廊下）	合成樹脂製カバー1	m	-	F①
		合成樹脂製カバー2	m	-	F②
	機械室、書庫、倉庫	アルミガラスクロス	m	-	G
	天井内、パイプシャフト 内及び空隙壁中	アルミガラスクロス	m	-	H
	暗渠内（ピット内を含 む。）	着色アルミガラスクロス	m	-	I
	屋外露出（バルコニー、 開放廊下を含む。）、浴 室及び厨房等の多湿 箇所（厨房の天井内は 含まない。）	ステンレス鋼板	m	-	J
	機械室、書庫、倉庫	アルミガラス化粧原紙	m	-	G
	屋外露出（バルコニー、 開放廊下を含む。）、浴 室及び厨房等の多湿 箇所（厨房の天井内は 含まない。）	カラー亜鉛鉄板	m	-	J
		溶融アルミニウム —亜鉛鉄板	m	-	J

## 【保温工事（配管）】

## \*\*補正市場単価\*\*（ロックウール）

項目	摘要	単位	単価記号	市場単価	算定式
給水管、排水管、 給湯管及び温水管 (膨張管を含む。)	屋内露出(一般居室、廊下)	合成樹脂製カバー1 合成樹脂製カバー2	m m	- -	A① A②
	機械室、書庫、倉庫	アルミガラスクロス	m	rB	B
		アルミガラス化粧原紙	m	-	rB
	天井内、パイプシャフト 内及び空隙壁中	アルミガラスクロス	m	-	rC
		アルミガラスクロス 化粧保温筒	m	rC	C
	暗渠内(ピット内を含む。)	着色アルミガラスクロス	m	-	D
	屋外露出(バルコニー、 開放廊下を含む。)、浴 室及び厨房等の多湿 箇所(厨房の天井内は 含まない。)	カラー亜鉛鉄板	m	-	rE
		溶融アルミニウム -亜鉛鉄板	m	-	rE
		ステンレス鋼板	m	rE	E
冷水・冷温水管 (膨張管を含む。)	屋内露出(一般居室、廊下)	合成樹脂製カバー1 合成樹脂製カバー2	m m	- -	F① F②
	機械室、書庫、倉庫	アルミガラスクロス	m	rG	G
		アルミガラス化粧原紙	m	-	rG
	天井内、パイプシャフト 内及び空隙壁中	アルミガラスクロス	m	-	H
	暗渠内(ピット内を含む。)	着色アルミガラスクロス	m	-	I
	屋外露出(バルコニー、 開放廊下を含む。)、浴 室及び厨房等の多湿 箇所(厨房の天井内は 含まない。)	カラー亜鉛鉄板	m	-	rJ
		溶融アルミニウム -亜鉛鉄板	m	-	rJ
		ステンレス鋼板	m	rJ	J
蒸気管 (低圧(0.1MPa未 満)の蒸気)	屋内露出(一般居室、廊下)	合成樹脂製カバー1 合成樹脂製カバー2	m m	- -	K① K②
	機械室、書庫、倉庫	アルミガラスクロス	m	rL	L
		アルミガラス化粧原紙	m	-	rL
	天井内、パイプシャフト 内及び空隙壁中	アルミガラスクロス	m	-	rM
		アルミガラスクロス 化粧保温筒	m	rM	M
	暗渠内(ピット内を含む。)	着色アルミガラスクロス	m	-	N
	屋外露出(バルコニー、 開放廊下を含む。)、浴 室及び厨房等の多湿 箇所(厨房の天井内は 含まない。)	カラー亜鉛鉄板	m	-	rO
		溶融アルミニウム -亜鉛鉄板	m	-	rO
		ステンレス鋼板	m	rO	O
冷媒管	屋内露出(一般居室、廊下)	合成樹脂製カバー1 合成樹脂製カバー2	m m	- -	F① F②
	機械室、書庫、倉庫	アルミガラスクロス	m	rG	G
		アルミガラス化粧原紙	m	-	rG
	天井内、パイプシャフト 内及び空隙壁中	アルミガラスクロス	m	-	H
	暗渠内(ピット内を含む。)	着色アルミガラスクロス	m	-	I
	屋外露出(バルコニー、 開放廊下を含む。)、浴 室及び厨房等の多湿 箇所(厨房の天井内は 含まない。)	カラー亜鉛鉄板	m	-	rJ
		溶融アルミニウム -亜鉛鉄板	m	-	rJ
		ステンレス鋼板	m	rJ	J

## 【 保温工事 (配管) 】

\*\*補正市場単価\*\* (ポリスチレンフォーム)

項目	摘要	単位	単価記号	市場単価	算定式
給水管、排水管	屋内露出(一般居室、廊下)	合成樹脂製カバー1	m	-	A①
		合成樹脂製カバー2	m	-	A②
	機械室、書庫、倉庫	アルミガラスクロス	m	-	B
		アルミガラスクロス	m	-	pC
		アルミガラスクロス 化粧保温筒	m	pC	C
	天井内、パイプシャフト 内及び空隙壁中	着色アルミガラスクロス	m	-	D
		カラー亜鉛鉄板	m	-	pE
		溶融アルミニウム -亜鉛鉄板	m	-	pE
	暗渠内(ピット内を含む。) 屋外露出(バルコニー、 開放廊下を含む。)、浴 室及び厨房等の多湿 箇所(厨房の天井内は 含まない。)	ステンレス鋼板	m	pE	E
		合成樹脂製カバー1	m	pF①	F①
		合成樹脂製カバー2	m	pF②	F②
冷水・冷温水管 (膨張管を含む。)	機械室、書庫、倉庫	アルミガラスクロス	m	pG	G
		アルミガラスクロス	m	pH	H
	天井内、パイプシャフト 内及び空隙壁中	着色アルミガラスクロス	m	pI	I
		カラー亜鉛鉄板	m	-	pJ
		溶融アルミニウム -亜鉛鉄板	m	-	pJ
	暗渠内(ピット内を含む。) 屋外露出(バルコニー、 開放廊下を含む。)、浴 室及び厨房等の多湿 箇所(厨房の天井内は 含まない。)	ステンレス鋼板	m	pJ	J
冷水管 (冷水温度2~4°C)	機械室、書庫、倉庫	アルミガラスクロス	m	-	pG
ブライン管	屋内露出(一般居室、廊下)	合成樹脂製カバー1	m	-	pF①
		合成樹脂製カバー2	m	-	pF②
	機械室、書庫、倉庫	アルミガラスクロス	m	-	pG
		アルミガラスクロス	m	-	pH
	天井内、パイプシャフト 内及び空隙壁中	着色アルミガラスクロス	m	-	pI
		カラー亜鉛鉄板	m	-	pJ
	暗渠内(ピット内を含む。) 屋外露出(バルコニー、 開放廊下を含む。)、浴 室及び厨房等の多湿 箇所(厨房の天井内は 含まない。)	溶融アルミニウム -亜鉛鉄板	m	-	pJ
		ステンレス鋼板	m	-	pJ
		合成樹脂製カバー1	m	-	U①

【機械設備工事】

【ダクト設備】

\*\*市場単価\*\*

細 目	摘 要	単位	単価記号	
アングルフランジ工法ダクト	低圧ダクト(インサート取付費別途、A+Bシール無し)	m <sup>2</sup>	A	
アングルフランジ工法ダクト	排煙ダクト(インサート取付費別途、A+Bシール無し)	m <sup>2</sup>	B	
共板フランジ工法ダクト	(インサート取付費別途、A+Bシール無し)	m <sup>2</sup>	C	
スパイラルダクト	低圧ダクト(インサート取付費別途)	m	D	
チャンバー	低圧用(インサート取付費別途、シール無し)	m <sup>2</sup>	E	
組立チャンバー	低圧用(インサート取付費別途、シール無し)	m <sup>2</sup>	F	
ボックス	低圧用(インサート取付費別途、シール無し)	m <sup>2</sup>	G	
線状吹出口用ボックス	低圧用(インサート取付費別途、シール無し)	m <sup>2</sup>	H	

\*\*補正市場単価\*\*

細 目	摘 要	単位	単価記号	補正係数
アングルフランジ工法ダクト	低圧ダクト(インサート取付費含む、A+Bシール無し)	m <sup>2</sup>	A	1.03
アングルフランジ工法ダクト	排煙ダクト(インサート取付費含む、A+Bシール無し)	m <sup>2</sup>	B	1.03
共板フランジ工法ダクト	(インサート取付費含む、A+Bシール無し)	m <sup>2</sup>	C	1.04
スパイラルダクト	低圧ダクト(インサート取付費含む)	m	D	1.03
アングルフランジ工法ダクト	低圧ダクト(インサート取付費含む、A+Bシール共)	m <sup>2</sup>	A	1.05
共板フランジ工法ダクト	(インサート取付費含む、A+Bシール共)	m <sup>2</sup>	C	1.06
チャンバー	低圧用(インサート取付費別途、シール共)	m <sup>2</sup>	E	1.03
チャンバー	高压1ダクト用及び高压2ダクト用、排煙ダクト用 (インサート取付費別途、シール無し)	m <sup>2</sup>	E	1.03
組立チャンバー	低圧用(インサート取付費別途、シール共)	m <sup>2</sup>	F	1.03
ボックス	低圧用(インサート取付費別途、シール共)	m <sup>2</sup>	G	1.03
線状吹出口用ボックス	低圧用(インサート取付費別途、シール共)	m <sup>2</sup>	H	1.03

【機械設備工事】

【衛生器具設備】

\*\*市場単価\*\*

細　　目	摘　　要	単位	単価記号	
大便器 取付	洗净弁式、温水洗净便座	組	A	
普通便座 取付	温水洗净便座に対する差額分	組	B	

\*\*参考歩掛り\*\*

細　　目	摘　　要	単位	単価記号	表　番　号
大便器	洗净弁式	組	Aw	
和風便器	洗净弁式	組	A①j	表RM-4-1
	タンク式(ロータンク)	組	A②j	
和風便器耐火カバー		個	A③j	

\*\*補正市場単価\*\*

項　　目	摘　　要	単位	単価記号	市場単価	算定式
和風便器	洗净弁式	組	—	A - B	$A①j \div Aw$
	タンク式(ロータンク)	組	—	A - B	$A②j \div Aw$
和風便器 耐火カバー		個	—	A - B	$A③j \div Aw$

## 附表2 補正単位施工単価算出方法

### 【 鉄筋 】

＊＊補正単位施工単価＊＊

細 目	摘 要	単位	補正式
鉄筋加工組立	S造 床版	t	$A \times 0.93$
鉄筋加工組立	小型構造物	t	$A \times 1.92$

＊＊上表の補正式の記号は次表による＊＊

細 目	摘 要	単位	単価記号	備 考
鉄筋加工組立	RCラーメン構造 階高3.5～4.0m程度 形状単純	t	A	

### 【 鉄筋（耐震改修） 】

＊＊補正単位施工単価＊＊

細 目	摘 要	単位	補正式
鉄筋加工組立	耐震改修用	t	$A \times 1.55$

＊＊上表の補正式の記号は次表による＊＊

細 目	摘 要	単位	単価記号	備 考
鉄筋加工組立	RCラーメン構造 階高3.5～4.0m程度 形状単純	t	A	

【 型枠 】

\*\*補正単位施工単価\*\*

細　目	摘　　要	単位	補正式
普通合板型枠	壁式構造 基礎部	m <sup>2</sup>	A
打放し合板型枠	ラーメン構造・壁式構造 基礎部 B種	m <sup>2</sup>	A×E÷D
打放し合板型枠	ラーメン構造・壁式構造 基礎部 C種	m <sup>2</sup>	A×F÷D
打放し合板型枠	ラーメン構造 地下軸部 A種 階高 5.0m程度	m <sup>2</sup>	B×(E×1.11)÷D
打放し合板型枠	ラーメン構造 地下軸部 B種 階高 5.0m程度	m <sup>2</sup>	B×E÷D
打放し合板型枠	ラーメン構造 地下軸部 C種 階高 5.0m程度	m <sup>2</sup>	B×F÷D
打放し合板型枠	ラーメン構造 地上軸部 A種 階高 3.5～4.0m程度	m <sup>2</sup>	E×1.11
打放し合板型枠	壁式構造 地上軸部 A種 階高 2.8m程度	m <sup>2</sup>	H×1.11
小型構造物型枠	擁壁、囲障の基礎等	m <sup>2</sup>	A×1.12

\*\*上表の補正式の記号は次表による\*\*

細　目	摘　　要	単位	単価記号	備　考
普通合板型枠	基礎部	m <sup>2</sup>	A	
普通合板型枠	地下軸部 階高5.0m程度	m <sup>2</sup>	B	
普通合板型枠	ラーメン構造 地上軸部 階高2.8m程度	m <sup>2</sup>	C	
普通合板型枠	ラーメン構造 地上軸部 階高3.5～4.0m程度	m <sup>2</sup>	D	
打放し合板型枠	ラーメン構造 地上軸部B種 階高3.5～4.0m程度	m <sup>2</sup>	E	
打放し合板型枠	ラーメン構造 地上軸部C種 階高3.5～4.0m程度	m <sup>2</sup>	F	
普通合板型枠	壁式構造 地上軸部 階高2.8m程度	m <sup>2</sup>	G	
打放し合板型枠	壁式構造 地上軸部B種 階高2.8m程度	m <sup>2</sup>	H	
打放し合板型枠	壁式構造 地上軸部C種 階高2.8m程度	m <sup>2</sup>	I	
型枠運搬費	型枠運搬費 4t車 基準距離30km以内	m <sup>2</sup>	J	
型枠運搬費	型枠運搬費 10t車 基準距離30km以内	m <sup>2</sup>	K	

【 型枠（耐震改修） 】

\*\*補正単位施工単価\*\*

細　目	摘　　要	単位	補正式
普通合板型枠	耐震改修用 地下軸部	m <sup>2</sup>	B×1.15
普通合板型枠	耐震改修用 地上軸部	m <sup>2</sup>	D×1.15
打放し合板型枠	耐震改修用 地下軸部 A種	m <sup>2</sup>	B×1.35
打放し合板型枠	耐震改修用 地下軸部 B種	m <sup>2</sup>	B×1.2
打放し合板型枠	耐震改修用 地下軸部 C種	m <sup>2</sup>	B×1.2
打放し合板型枠	耐震改修用 地上軸部 A種	m <sup>2</sup>	E×1.3
打放し合板型枠	耐震改修用 地上軸部 B種	m <sup>2</sup>	E×1.15
打放し合板型枠	耐震改修用 地上軸部 C種	m <sup>2</sup>	F×1.15

\*\*上表の補正式の記号は次表による\*\*

細　目	摘　　要	単位	単価記号	備　考
普通合板型枠	地下軸部 階高5.0m程度	m <sup>2</sup>	B	
普通合板型枠	ラーメン構造 地上軸部 階高3.5～4.0m程度	m <sup>2</sup>	D	
打放し合板型枠	ラーメン構造 地上軸部B種 階高3.5～4.0m程度	m <sup>2</sup>	E	
打放し合板型枠	ラーメン構造 地上軸部C種 階高3.5～4.0m程度	m <sup>2</sup>	F	